

---

---

# 仙 台 市

## 地 域 経 済 動 向 調 査 報 告

( 35 )

---

---

平成 19 年 7 月 ~ 9 月 期 ( 今 期 ) 実 績

平成 19 年 10 月 ~ 12 月 期 ( 来 期 ) 見 通 し

平成 20 年 1 月 ~ 3 月 期 ( 来 々 期 ) 見 通 し

平成 19 年 10 月

仙 台 市 経 済 局

# 目次

1 . 調査の概要.....	1
2 . 調査結果の総括.....	2
< 仙台市企業経営動向調査 ( D I ) 結果の総括表 > .....	2
< 業況判断 ( 事業所の景気 ) D I の動向 >      仙台市における業種別業況判断の動向.....	3
< 業況判断 ( 事業所の景気 ) D I の動向 >      仙台市・東北・全国の業況判断 D I の比較.....	4
3 . 企業経営動向調査 ( D I ) 結果の概要.....	5
設問 1 - 1 市内の景気.....	5
設問 1 - 2 自社の属する業界の景気.....	6
設問 1 - 3 自社 ( 事業所 ) の景気.....	7
設問 2 - 1 生産・売上.....	8
設問 2 - 2 経常利益.....	9
設問 3 - 1 設備投資.....	10
設問 4 - 1 雇用人員.....	11
設問 4 - 2 製 ( 商 ) 品在庫.....	12
設問 4 - 3 製 ( 商 ) 品価格.....	13
設問 4 - 4 原材料 ( 仕入 ) 価格.....	14
設問 4 - 5 資金繰り.....	15
設問 4 - 6 労働時間.....	16
設問 5 経営上の課題.....	17
4 . 業界ヒアリング調査結果.....	18
資料編.....	25
( 1 ) 企業経営動向調査 ( D I ) 結果の詳細	
規模別 D I .....	27
業種別 D I .....	31
経営の課題.....	43
( 2 ) 東北、全国の調査結果	
東北.....	44
全国.....	46
( 3 ) 主要経済指標	
主要経済指標グラフ.....	48
主要経済指標一覧表.....	52
( 4 ) 調査票.....	58

## 企業経営動向調査 ( D I ) 結果の用語について

D I = 「上昇 ( 増加 ) 」と答えた事業所の割合 ( % ) - 「下降 ( 減少 ) 」と答えた事業所の割合 ( % )  
 値が小さいほど業況判断は悪いということになる。

今期 ( 平成 19 年 7 月 ~ 9 月期 ) 実績 = 平成 19 年 4 月 ~ 6 月期実績と比較した実績。

来期 ( 平成 19 年 10 月 ~ 12 月期 ) 見通し = 平成 19 年 7 月 ~ 9 月期実績と比較した見通し。

来々期 ( 平成 20 年 1 月 ~ 3 月期 ) 見通し = 平成 19 年 10 月 ~ 12 月期見通しと比較した見通し。

事業所の規模については、指標の連続性に配慮して、改正前の中小企業基本法の基準に準じて、業種毎に、従業者数をもとに、下表のように区分している。

業種 規模	建設業、製造業、 運輸・通信業	卸売業	小売業、飲食店、 不動産業、サービス業
大規模事業所	300 人以上	100 人以上	50 人以上
中規模事業所	20 人 ~ 299 人	5 ~ 99 人	5 ~ 49 人
小規模事業所	20 人未満	5 人未満	5 人未満

# 1. 調査の概要

## (1) 調査目的

仙台市の経済動向を把握し、適切かつ効果的な施策を推進するための基礎的な資料とするため、仙台市が調査を実施する。

また、調査結果については、各関係機関に対し、本市経済の動向を把握する基礎資料として提供する。

## (2) 調査時期

本調査は、企業経営動向調査、業界ヒアリング調査、主要経済指標の動向調査により構成しており、四半期毎に実施している。今回の調査は平成 19 年 9 月に実施した。

## (3) 調査方法

### 企業経営動向調査 (D I)

事業所・企業統計調査対象事業所名簿から、業種や規模別に無作為に抽出した仙台市内の事業所 1,000 社に対して、郵送によりアンケート調査を実施した。

(調査期間：平成 19 年 9 月 1 日～19 年 9 月 26 日)

有効回収数		(単位：件)		
業種	大規模	中規模	小規模	全規模計
製造業	3	45	28	76
非製造業計	90	322	130	542
建設業	3	45	32	80
運輸・通信業	3	47	18	68
卸売業	8	67	10	85
小売業	25	44	16	85
飲食店	3	40	14	57
不動産業	5	38	27	70
サービス業	43	41	13	97
全業種計	93	367	158	618
(有効回収率：%)	53.8	63.3	64.0	61.8

### 業界ヒアリング調査

仙台市内の主な業種毎の事業所 30 社に対し、景気動向の現状や、各事業所における課題等について仙台市職員及び(財)仙台市産業振興事業団職員が聞き取りを行った。調査は、平成 19 年 9 月 18 日～10 月 10 日にかけて実施した。

### 主要経済指標の動向調査

仙台市の産業関連資料、国、県、金融機関等の経済関係資料を集約し、本市域の経済活動の推移をみるための資料として、グラフと一覧表にまとめた。

## 2. 調査結果の総括

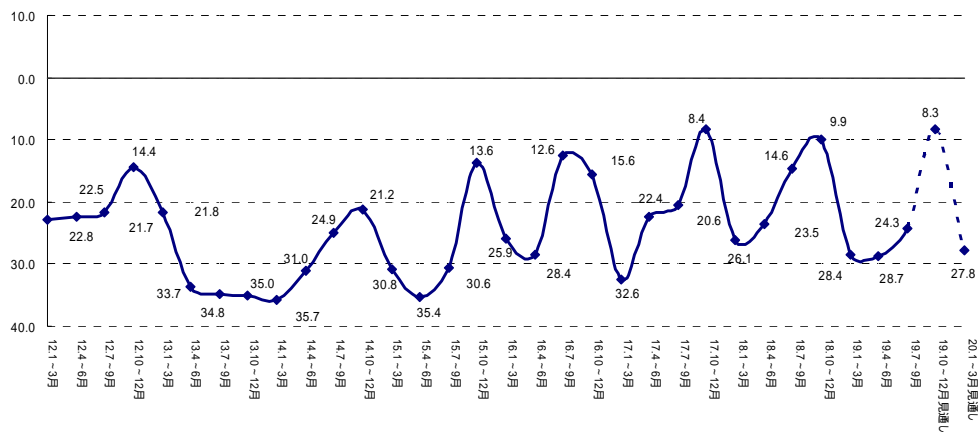
市内事業所の業況判断は、全体では前期に比べ改善した。業種別では、建設業など4業種で改善、小売業など3業種で悪化している。来期見通しでは、すべての業種で改善が見込まれるなど、回復傾向が見られる。

### < 仙台市企業経営動向調査 (DI) 結果の総括表 >

市内事業所を対象とした経営動向調査の今期(平成19年7~9月期)実績では、市内の景気ではほぼ横ばい、業界の景気、事業所の景気でDI値が上昇した。

来期見通しについては、市内の景気、業界の景気、事業所の景気のいずれも、改善するものと見込まれる。

業況判断(事業所の景気)DIの推移



DI項目	今期実績 (前期実績との比較)		来期見通し (今期実績との比較)	
	状況	アイコン	状況	アイコン
市内の景気	ほぼ横ばい	⊖	上昇する見通し	⊕
業界の景気	上昇している	⊕	上昇する見通し	⊕
事業所の景気	上昇している	⊕	上昇する見通し	⊕
生産・売上	上昇している	⊕	上昇する見通し	⊕
経常利益	上昇している	⊕	上昇する見通し	⊕
設備投資	上昇している	⊕	ほぼ横ばいの見通し	⊖
雇用人員	下降している	⊖	下降する見通し	⊖
製(商)品在庫	ほぼ横ばい	⊖	下降する見通し	⊕
製(商)品価格	下降している	⊖	上昇する見通し	⊕
原材料(仕入)価格	上昇している	⊖	下降する見通し	⊕
資金繰り	下降している	⊖	上昇する見通し	⊕
労働時間	上昇している	⊕	上昇する見通し	⊕

⊕ 改善状況にある    ⊖ ほぼ変化はない    ⊖ 悪化状況にある

DI = 「上昇」「増加」「過剰」「改善」と答えた事業所の割合(%)  
 - 「下降」「減少」「不足」「悪化」と答えた事業所の割合(%)

表中の前期はH19年4~6月、今期はH19年7~9月、来期はH19年10~12月をあらわす。

調査結果の詳細についてはP5~P17、P25~P43参照

## ＜業況判断（事業所の景気）DIの動向＞

～ 仙台市企業経営動向調査（DI）結果より ～

### 仙台市における業種別業況判断（DI）の動向

業種	状況	今期実績 （前期実績 との比較）	来期見通し （今期実績 との比較）
製造業	今期のDI値は 19.7と、前期に比べて0.9ポイント下降とほぼ横ばいであった。来期見通しでは5.3と、今期に比べて25.0ポイントと大幅に上昇し、改善傾向が予想される。	→	↗
建設業	今期のDI値は 10.0と、前期に比べて36.4ポイントと大幅に上昇した。来期見通しでは3.7と、今期に比べ13.7ポイント上昇し、改善傾向が予想される。	↗	↗
運輸・通信業	今期のDI値は 23.6と、前期に比べて10.6ポイント上昇した。来期見通しでは 13.4と、今期に比べて10.2ポイント上昇し、改善傾向が予想される。	↗	↗
卸売業	今期のDI値は 18.8と、前期に比べて3.5ポイントとやや下降した。来期見通しでは 4.7と、今期に比べて14.1ポイント上昇し、改善傾向が予想される。	↘	↗
小売業	今期のDI値は 34.9と、前期に比べて14.9ポイント下降した。来期見通しでは 4.8と、今期に比べ30.1ポイントと大幅に上昇し、改善傾向が予想される。	↘	↗
飲食店	今期のDI値は 36.4と、前期に比べて8.3ポイント上昇した。来期見通しでは 30.9と、今期に比べて5.5ポイント上昇し、改善傾向が予想される。	↗	↗
不動産業	今期のDI値は 22.8と、前期に比べて2.8ポイントとやや下降した。来期見通しでは 18.6と、今期に比べて4.2ポイントとやや上昇し、改善傾向が予想される。	↘	↗
サービス業	今期のDI値は 29.9と、前期に比べて3.5ポイントとやや上昇した。来期見通しでは 11.3と、今期に比べて18.6ポイント上昇し、改善傾向が予想される。	↗	↗

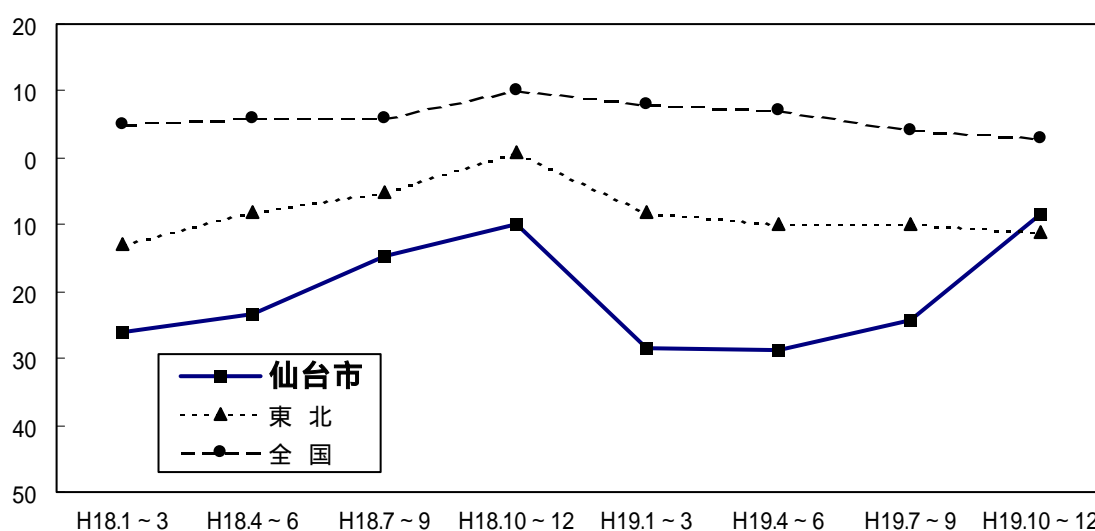
改善状況にある  
 ほぼ変化はない  
 悪化状況にある

DI = 「上昇」と答えた事業所の割合（％） - 「下降」と答えた事業所の割合（％）  
 表中の前期はH19年4～6月、今期はH19年7～9月、来期はH19年10～12月をあらわす。

## 仙台市、東北、全国の業況判断DIの比較

仙台市の業況判断DIは、今期（平成19年7～9月）については、前期（平成19年4～6月）に比べ、やや上昇している。来期（平成19年10～12月）の見通しは、全国・東北ではともにやや下降し、仙台市では上昇すると捉えられている。

仙台市、東北、全国の業況判断DI比較（全業種）



H19.10～12については見通し

全国地域別の業況判断DI

全業種		18/6月	18/9月	18/12月	19/3月	19/6月	19/9月		19/12月
							19/6月比 ポイント差	予測	
	仙台市	24	15	10	28	29	24	4	8
	東北	8	5	1	8	10	10	0	11
	全国	6	6	10	8	7	4	3	3

DI = 「上昇」と答えた企業の割合(%) - 「下降」と答えた企業の割合(%)  
 値が小さいほど、業況判断は悪いということになる。 はマイナスを表す。

仙台市については本調査における**事業所の景気DI値**（P7参照）

東北については、日銀仙台支店発表によるDI値。

全国については、日銀全国企業短観調査（平成19年9月）におけるDI値。

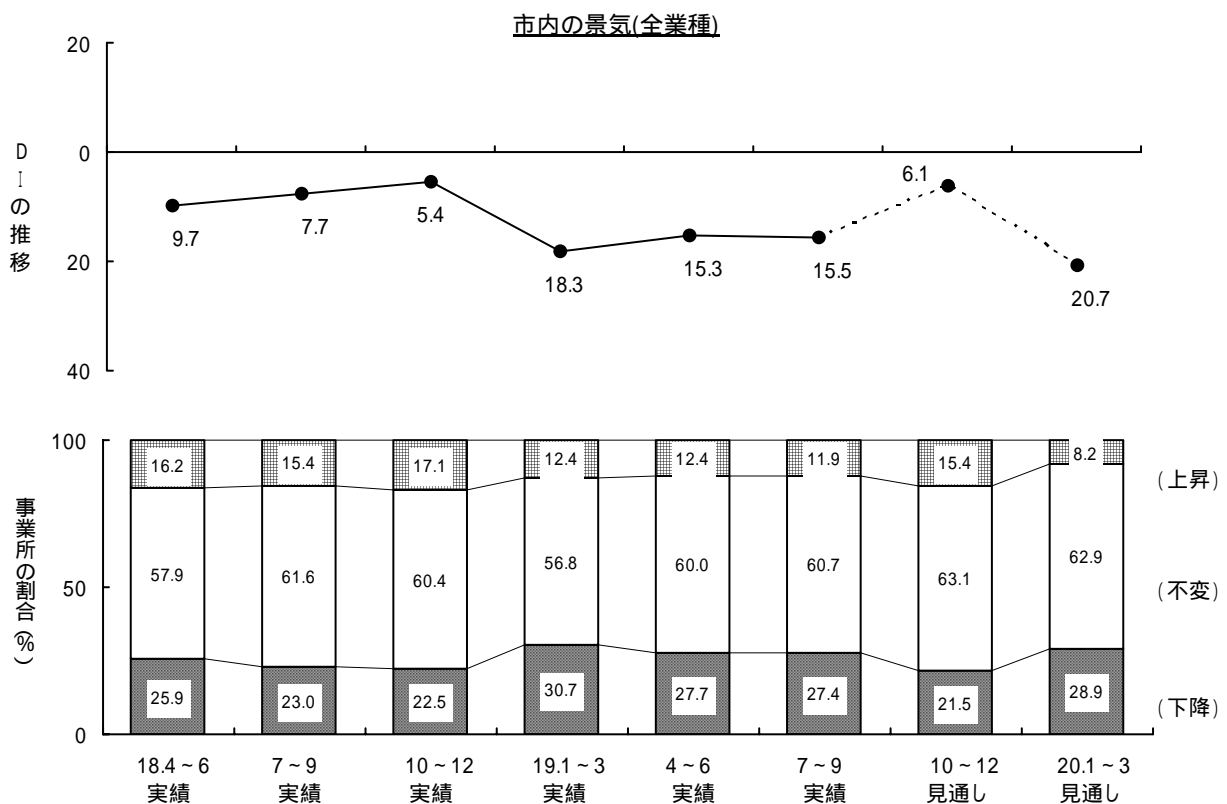
### 3. 企業経営動向調査 (DI) 結果の概要

用語の説明については目次下参照

#### 設問 1 - 1 市内の景気

市内の景気のDIは 15.5 (前期比 0.2) とほぼ横ばいであった。来期は市内の景気のDIは上昇すると見込まれる。業種別で見ると、製造業、建設業、運輸・通信業、サービス業で上昇、これら以外の業種では市内の景気のDIは下降した。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP27、P31参照



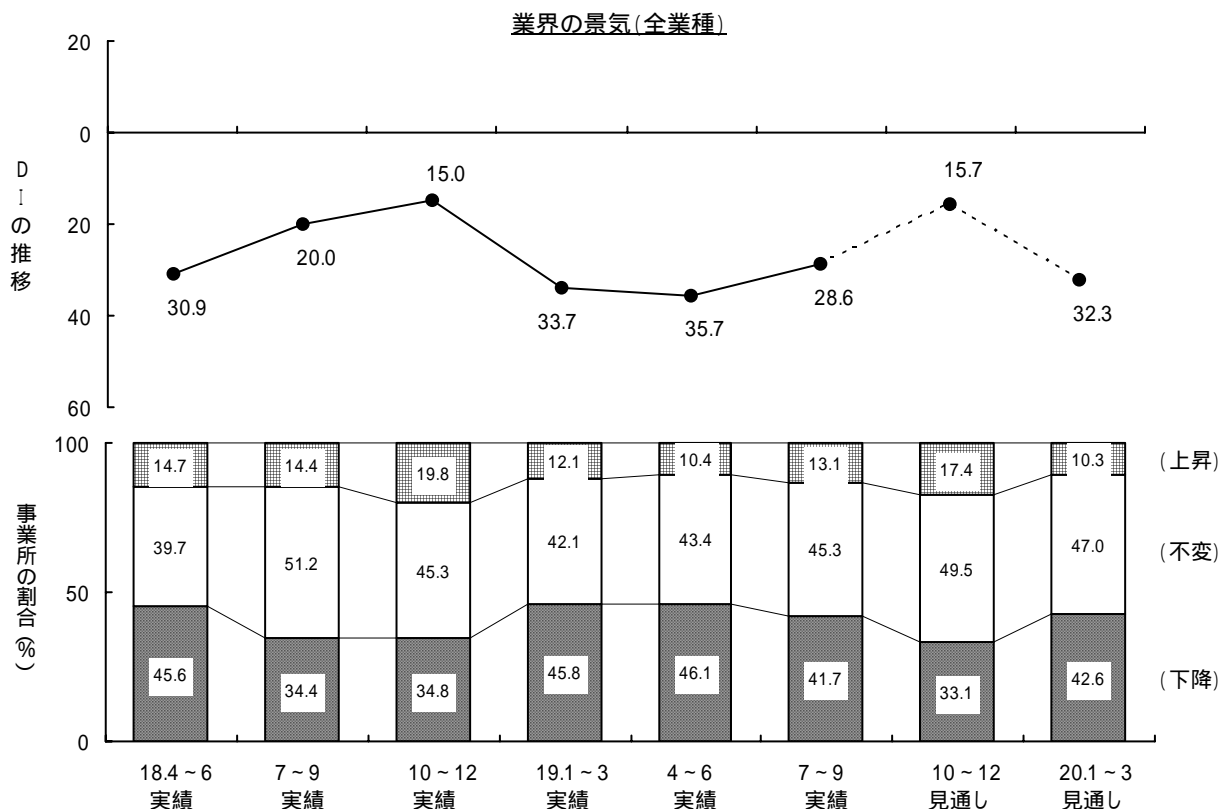
市内の景気のDI(「上昇」と答えた事業所の割合 - 「下降」と答えた事業所の割合)は今期実績で 15.5 と、平成 19 年 6 月調査(以下、前回調査)時の 4 月~6 月期実績(以下、前期実績)DIの 15.3 と比べほぼ横ばいであった。前回調査時の平成 19 年 7 月~9 月期見通し(以下、今期見通し)DIが 0.5 であったことから、市内の景気のDIは、予想に反し、ほぼ横ばいであった。

今後の見通しは、来期見通しで 6.1 と上昇し、来々期見通しでは 20.7 と下降するものと見込まれる。

設問 1 - 2 自社の属する業界の景気

業界の景気のDIは 28.6（前期比+7.1）と上昇した。来期も、業界の景気のDIは上昇すると見込まれる。業種別で見ると、製造業、建設業、運輸・通信業、飲食店、サービス業で上昇、これら以外の業種では業界の景気のDIは下降した。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP27、P32参照



自社が属する業界の景気のDI（「上昇」と答えた事業所の割合 - 「下降」と答えた事業所の割合）は、今期実績で 28.6 と、前期実績DIの 35.7 と比べ上昇した。前回調査時の今期見通しDIが 20.1 であったことから、業界の景気のDIは予想ほどではないが上昇した。

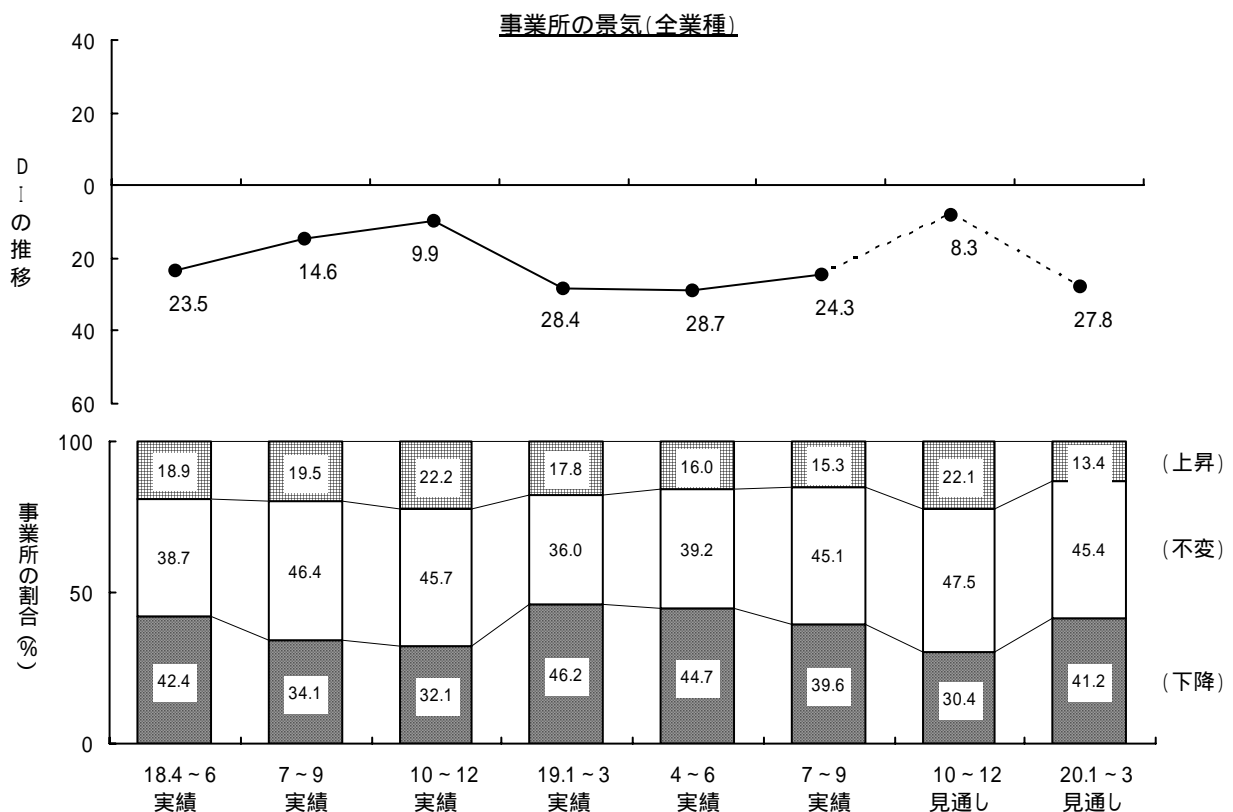
今後の見通しは、来期見通しで 15.7 と上昇し、来々期見通しでは 32.3 と下降するものと見込まれる。



設問 1 - 3 自社（事業所）の景気

事業所の景気のDIは 24.3（前期比+4.4）とやや上昇した。来期も事業所の景気のDIは上昇すると見込まれる。業種別で見ると、建設業、運輸・通信業、飲食店、サービス業で上昇、製造業でほぼ横ばい、これら以外の業種では、事業所の景気のDIが下降した。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP27、P33参照



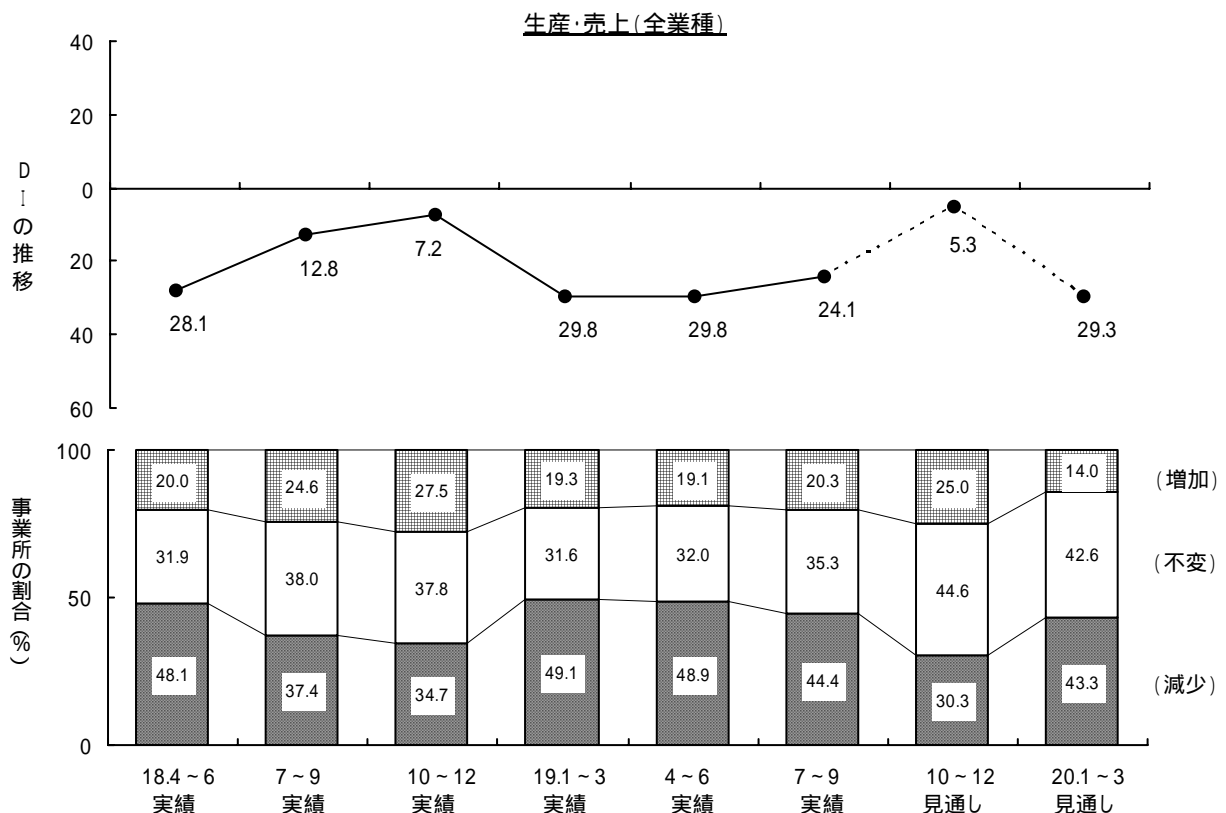
自社（事業所）の景気のDI（「上昇」と答えた事業所の割合 - 「下降」と答えた事業所の割合）は、今期実績で 24.3 と、前期実績DIの 28.7 と比べやや上昇した。前回調査時の今期見通しDIが 15.5 であったことから、事業所の景気のDIは、予想ほどではないが上昇した。

今後の見通しは、来期見通しで 8.3 と上昇し、来々期見通しでは 27.8 と下降するものと見込まれる。

設問 2 - 1 生産・売上

生産・売上のDIは 24.1（前期比+5.7）と上昇した。来期も生産・売上のDIは上昇すると見込まれる。業種別で見ると、製造業、建設業、運輸・通信業、サービス業で上昇、これら以外の業種では、生産・売上のDIが下降した。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれ P28、P34 参照



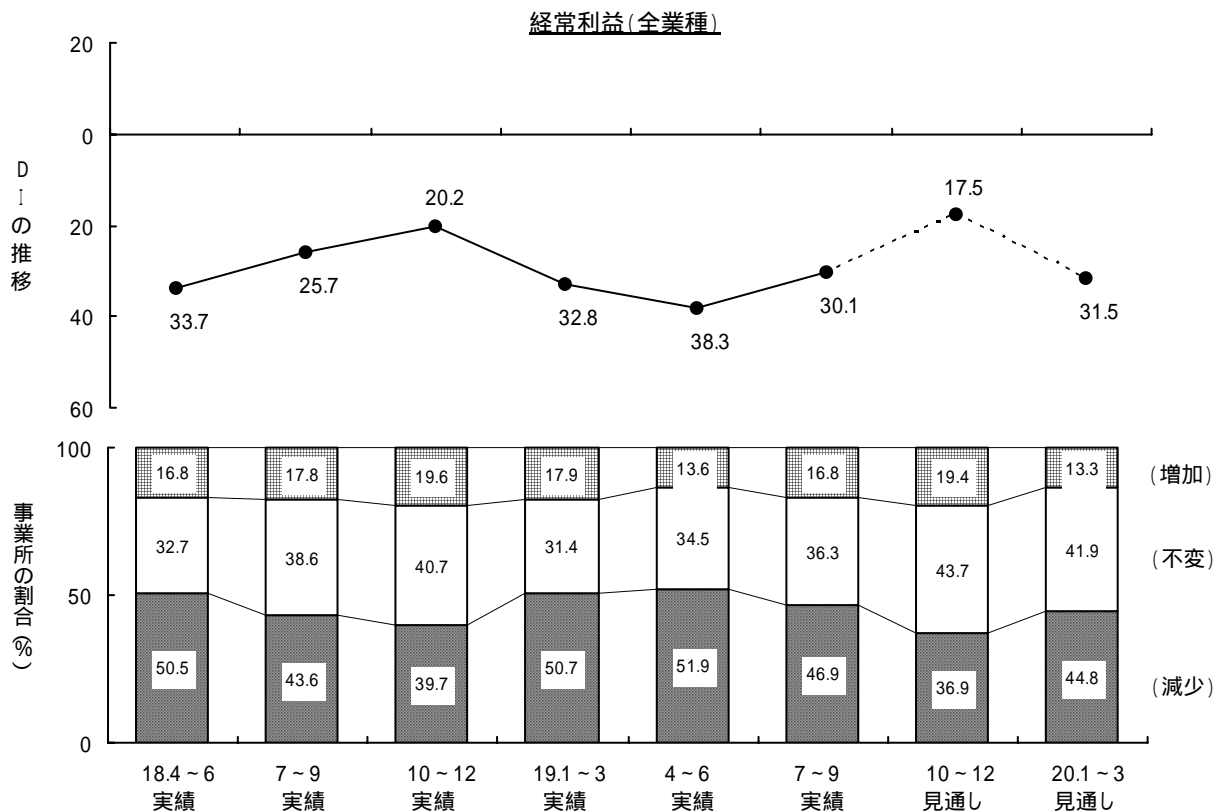
生産や売上のDI（「増加」と答えた事業所の割合 - 「減少」と答えた事業所の割合）は、今期実績で 24.1 と、前期実績DIの 29.8 と比べ上昇した。前回調査時の今期見通しDIが 11.6 であったことから、生産・売上のDIは、予想ほどではないが上昇した。

今後の見通しは、来期見通しで 5.3 と上昇し、来々期見通しでは 29.3 と大幅に下降するものと見込まれる。

設問 2 - 2 経常利益

経常利益のDIは 30.1 (前期比+8.2)と上昇した。来期も経常利益のDIは上昇すると見込まれる。業種別で見ると、卸売業、飲食店、不動産業では横ばい、小売業で下降、これら以外の業種では経常利益のDIが上昇した。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP28、P35参照



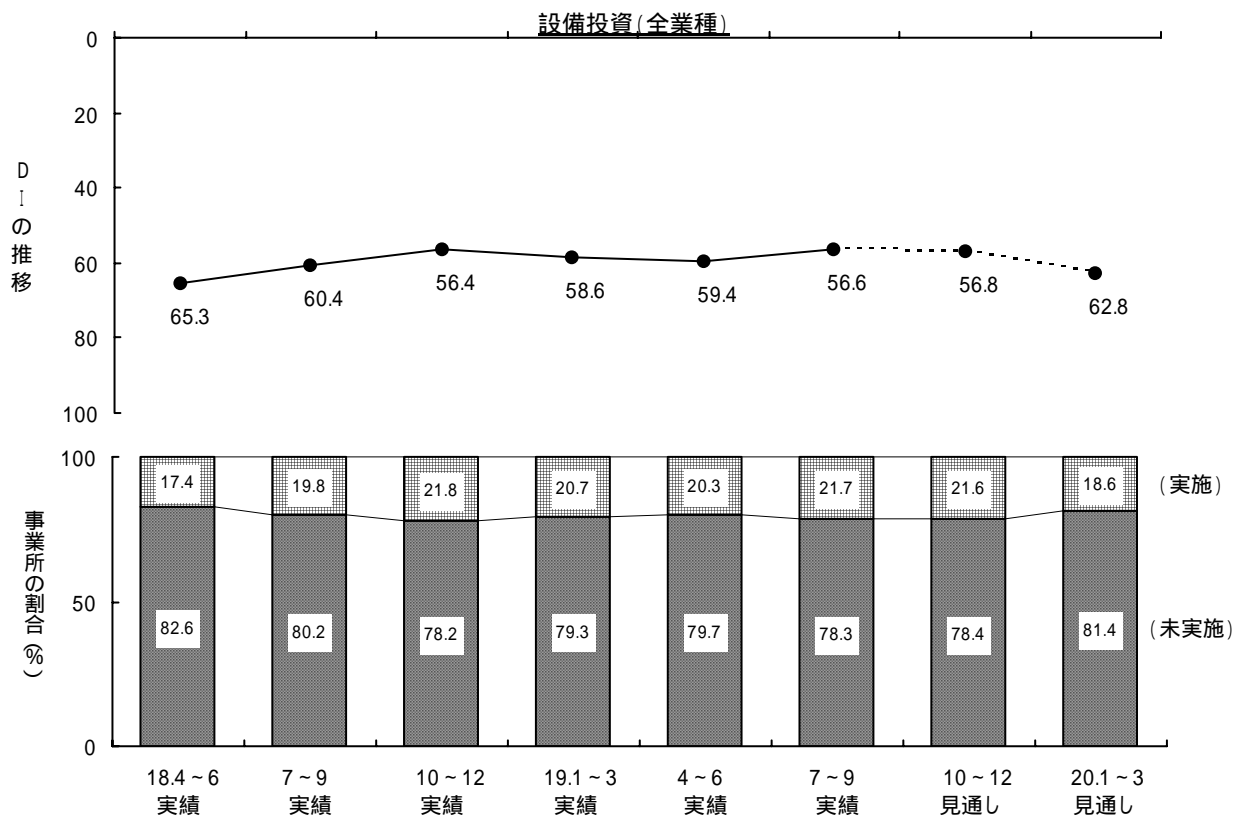
経常利益DI(「増加」と答えた事業所の割合 - 「減少」と答えた事業所の割合)は、今期実績で 30.1 と、前期実績DIの 38.3 と比べ上昇している。前回調査時の今期見通しDIが 23.4 であったことから、経常利益のDIは予想ほどではないが上昇した。

今後の見通しは、来期見通しで 17.5 と上昇し、来々期見通しでは 31.5 と下降するものと見込まれる。

### 設問 3 - 1 設備投資

設備投資を実施している事業所は 21.7% (前期比 + 1.4) とやや増加した。来期は、設備投資を計画している事業所は今期と比べてほぼ横ばいと見込まれる。業種別で見ると、製造業、建設業、飲食店、サービス業で増加、卸売業でほぼ横ばい、これら以外の業種では設備投資が減少している。

規模別、業種別 DI の詳細については、それぞれ P28、P36 参照



設備投資DIは「実施」と答えた事業所の割合 - 「未実施」と答えた事業所の割合

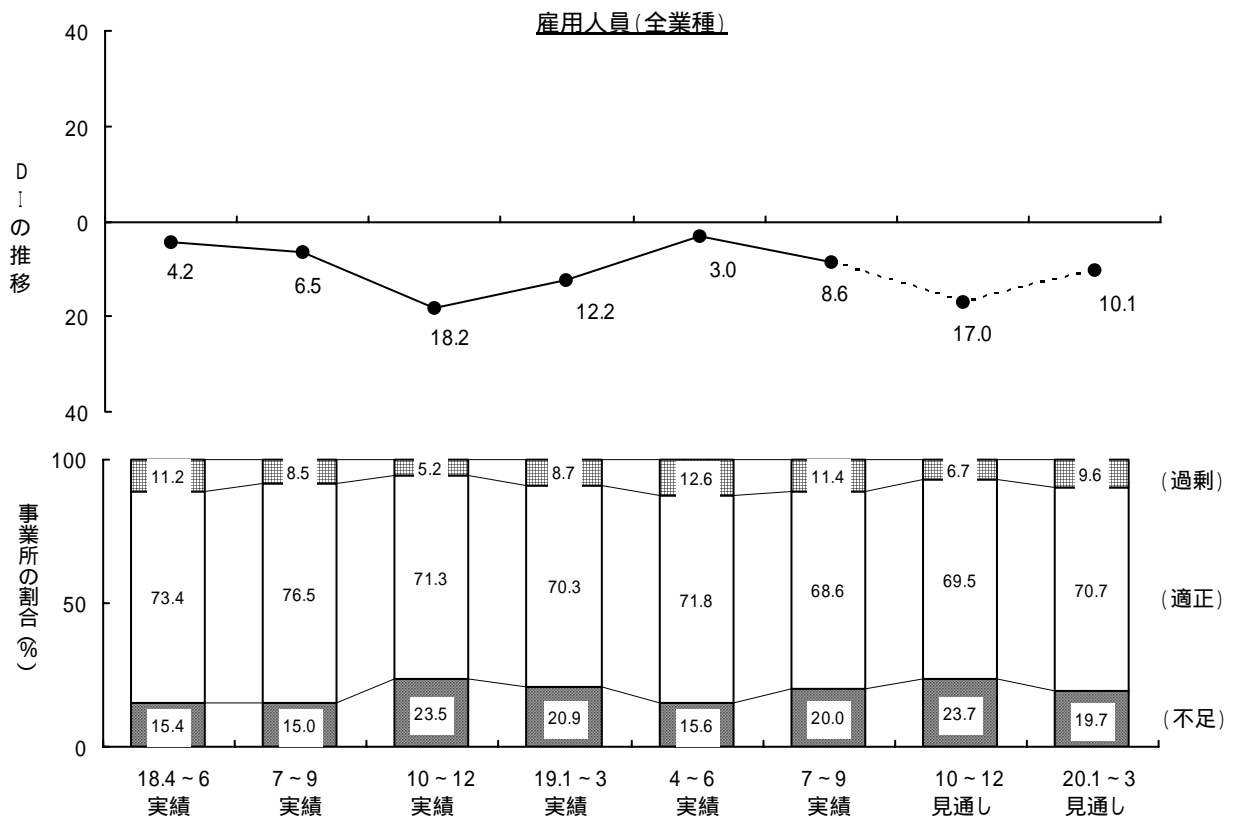
各事業所の設備投資の実施状況や計画をみると、今期実績で 21.7% の事業所が何らかの設備投資を実施している。前回調査では、今期設備投資を計画していた事業所が 16.3% であったことから、今期実際に設備投資を実施した事業所の割合は、予想に反し、減少しなかった。

今後の見通しは、何らかの設備投資を計画している事業所は、来期見通しで 21.6% とほぼ横ばい、来々期見通しでは 18.6% とやや減少すると見込まれる。

設問 4 - 1 雇用人員

雇用人員のDIは8.6(前期比5.6)と下降した。来期も雇用人員のDIは下降すると見込まれる。業種別で見ると、製造業、建設業、飲食店、不動産業、サービス業で下降、卸売業でほぼ横ばい、運輸・通信業、小売業で雇用人員のDIは上昇した。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP29、P37参照



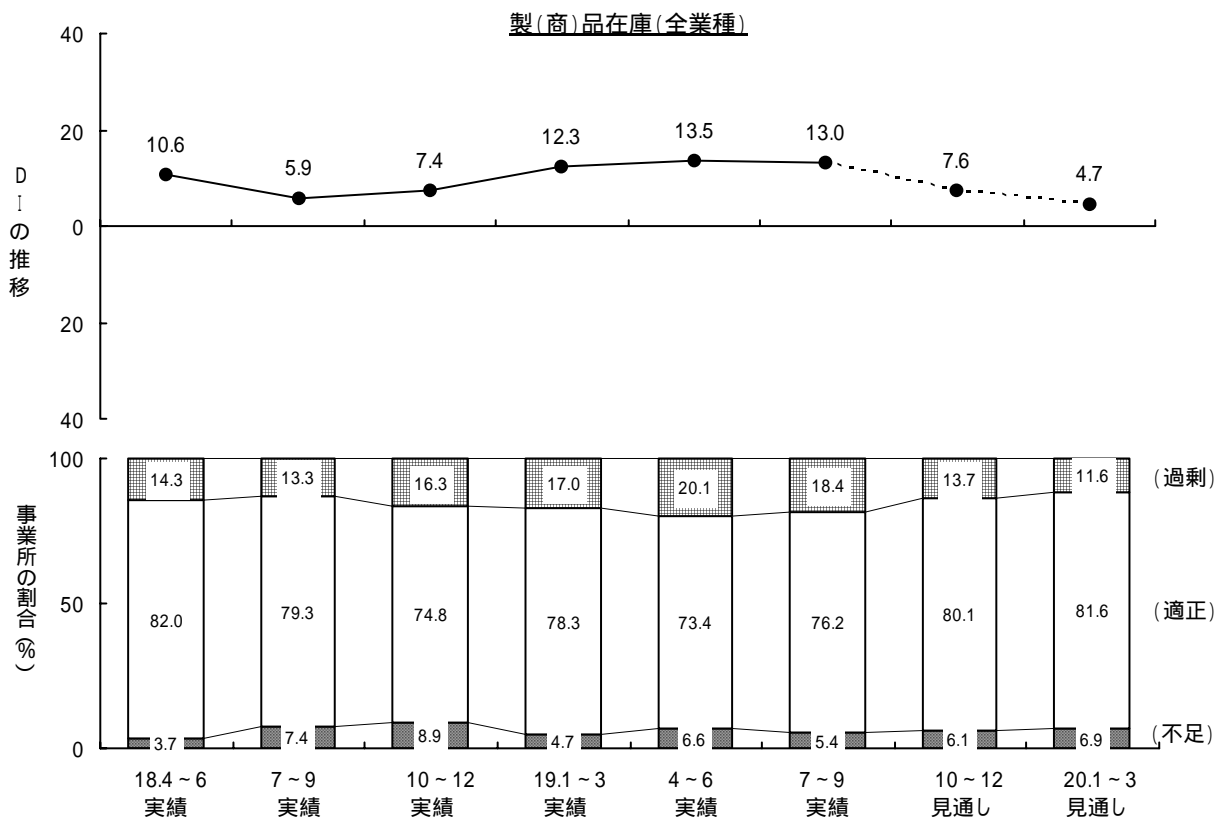
雇用人員のDI(「過剰」と答えた事業所の割合 - 「不足」と答えた事業所の割合)は、今期実績で8.6と前期実績DIの3.0と比べ下降している。前回調査時の今期見通しDIが9.7であったことから、雇用人員のDIは予想ほどではないが下降した。

今後の見通しは、グラフのとおり、来期は適正と答えた事業所の割合はほぼ横ばいで推移し、来々期は適正と答えた事業所の割合はやや増加すると見込まれる。

設問 4 - 2 製(商)品在庫

製(商)品在庫のDIは13.0(前期比 0.5)とほぼ横ばいであった。来期は製(商)品在庫のDIは下降するものと見込まれる。業種別でみると、運輸・通信業、卸売業、不動産業で上昇、サービス業でほぼ横ばい、これら以外の業種では製(商)品在庫のDIは下降した。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP29、P38参照



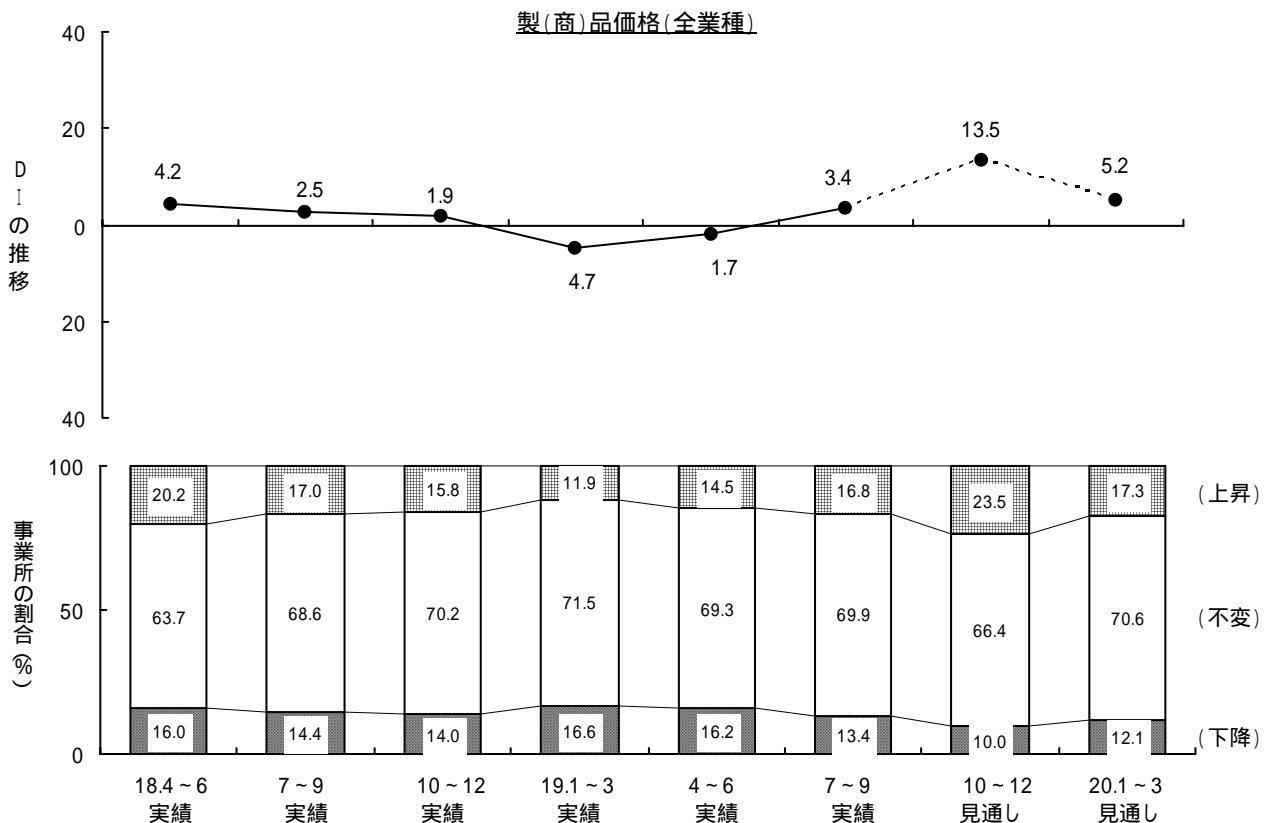
製(商)品在庫のDI(「過剰」と答えた事業所の割合 - 「不足」と答えた事業所の割合)は、今期実績で13.0と、前期実績DIの13.5と比べほぼ横ばいとなっている。前回調査時の今期見通しDIが6.2であったことから、製(商)品在庫のDIは予想に反し下降せず、ほぼ横ばいであった。

今後の見通しは、グラフのとおり、来期は適正と答えた事業所の割合がやや高まり、来々期も適正と答えた事業所の割合がさらにやや高まるものと見込まれる。

設問 4 - 3 製(商)品価格

製(商)品価格のDIは3.4(前期比+5.1)と上昇した。来期も製(商)品価格のDIは上昇すると見込まれる。業種別に見ると製造業、運輸・通信業、卸売業、飲食店、不動産業で上昇、それ以外の業種では、製(商)品価格のDIは下降した。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP29、P39参照



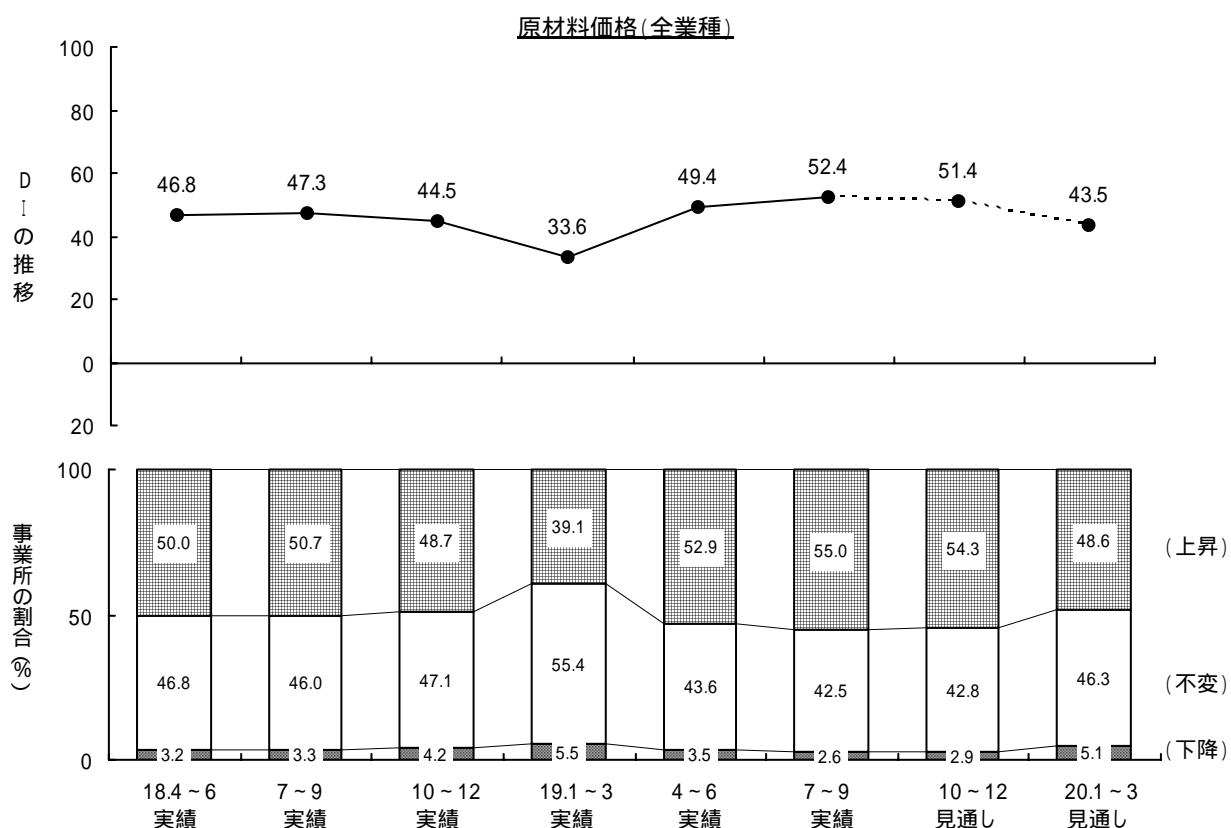
製(商)品価格のDI(「上昇」と答えた事業所の割合 - 「下降」と答えた事業所の割合)は、今期実績で3.4と、前期実績DIの1.7に比べ、上昇している。前回調査時の今期見通しDIが1.1であったことから、製(商)品価格のDIは、予想以上に上昇した。

今後の見通しは、来期見通しで13.5と上昇し、来々期見通しでは5.2と下降するものと見込まれる。

設問 4 - 4 原材料(仕入)価格

原材料(仕入)価格のDIは52.4(前期比+3.0)とやや上昇した。来期は原材料(仕入)価格のDIはやや下降すると見込まれる。業種別で見ると、製造業、卸売業、小売業、飲食店で上昇、これら以外の業種では、原材料(仕入)価格のDIは下降した。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP30、P40参照



原材料(仕入)価格のDI(「上昇」と答えた事業所の割合 - 「下降」と答えた事業所の割合)は、今期実績で52.4と、前期実績DIの49.4と比べやや上昇した。前回調査時の今期見通しDIが45.1であったことから、原材料(仕入)価格のDIについては、予想に反してやや上昇した。

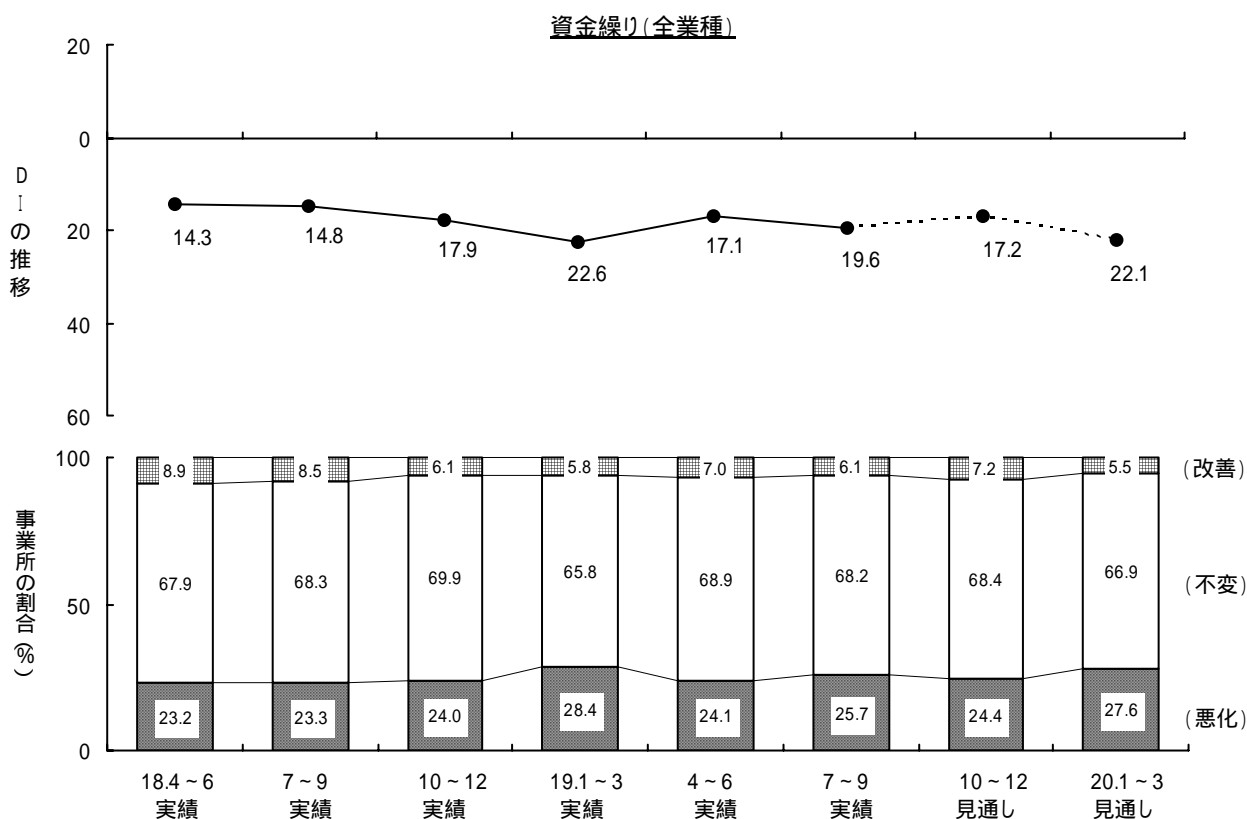
今後の見通しは、来期見通しで51.4とやや下降し、来々期見通しは43.5とさらに下降するものと見込まれる。



設問 4 - 5 資金繰り

資金繰りのDIは 19.6（前期比 2.5）とやや下降した。来期は資金繰りのDIはやや上昇すると見込まれる。業種別で見ると、製造業、運輸・通信業、卸売業、小売業、サービス業で下降し、これら以外の業種では、資金繰りのDIは上昇した。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれ P30、P41 参照



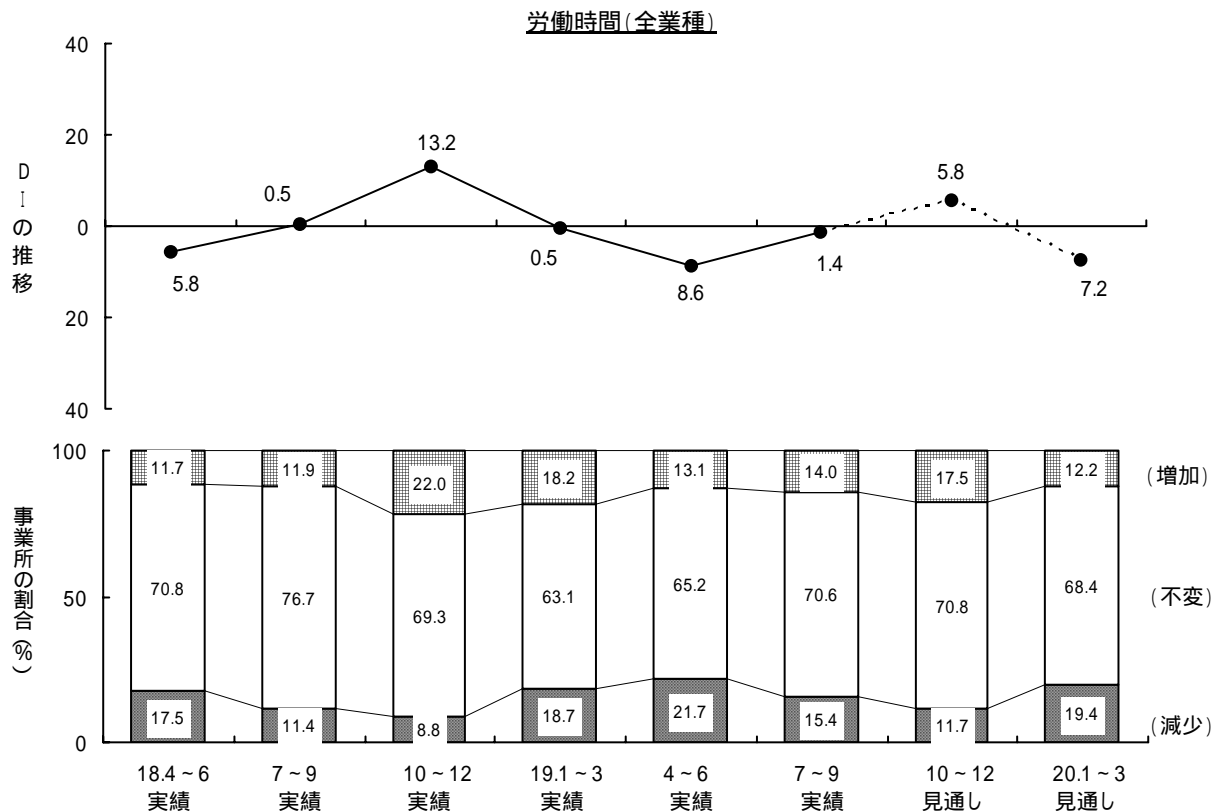
資金繰りのDI（「改善」と答えた事業所の割合 - 「悪化」と答えた事業所の割合）は、今期実績で 19.6 と、前期実績DIの 17.1 と比べ、やや下降している。前回調査時の今期見通しDIが 18.5 であったことから、資金繰りのDIについては、予想以上に下降した。

今後の見通しは、来期見通しで 17.2 とやや上昇し、来々期見通しでは 22.1 と、やや下降するものと見込まれる。

設問 4 - 6 労働時間

労働時間のDIは 1.4(前期比+7.2)と上昇した。来期も労働時間のDIは上昇すると見込まれる。業種別で見ると労働時間のDIは、不動産業、サービス業で下降、小売業でほぼ横ばい、これら以外の業種では、労働時間のDIは上昇した。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれ P30、P42 参照



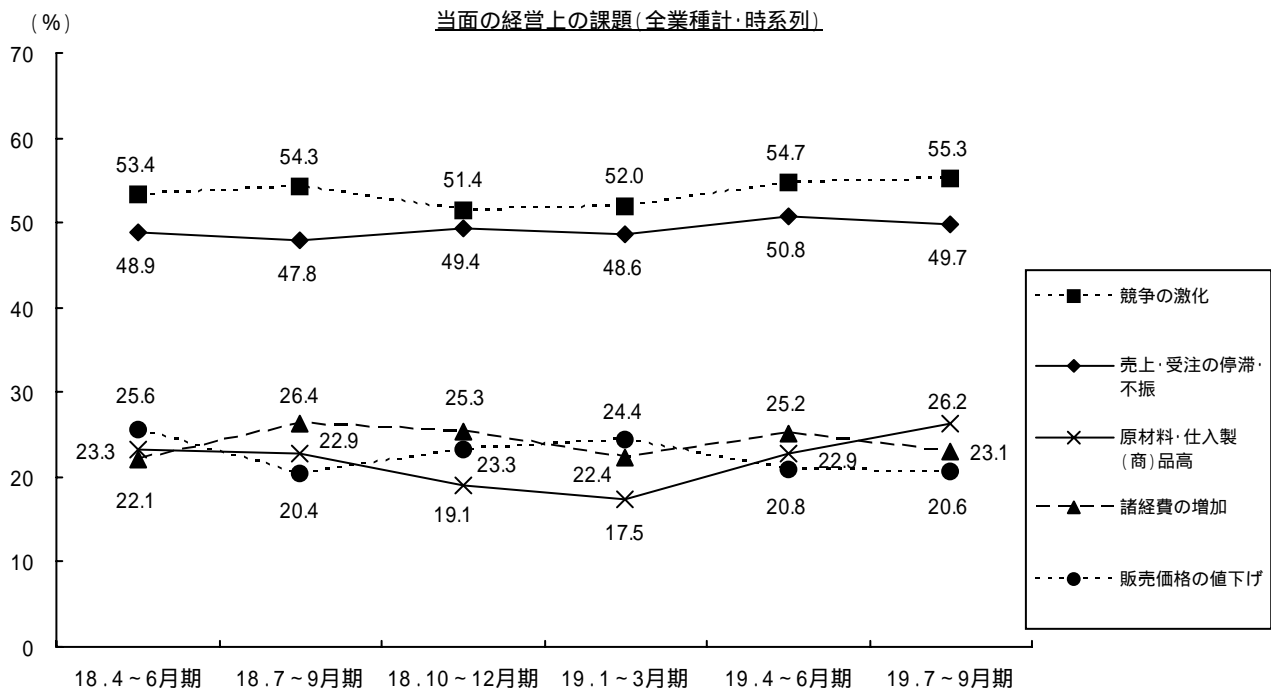
労働時間のDI(「増加」と答えた事業所の割合 - 「減少」と答えた事業所の割合)は、今期実績で 1.4 と、前期実績DIの 8.6 と比べ上昇した。前回調査時の今期見通しDIが 1.1であったことから、労働時間のDIは、ほぼ予想通りに上昇した。

今後の見通しは、来期見通しで5.8と上昇し、来々期見通しでは 7.2 と下降するものと見込まれる。

## 設問5 経営上の課題

経営上の課題としては、「競争の激化」「売上・受注の停滞・不振」が上位にランクされており、5割前後の事業所に挙げられている。

規模別、業種別DIの詳細については、それぞれP43参照



当面の経営上の課題を3つまで選んでもらったところ、全業種では、前期同様「競争の激化(55.3%)」「売上・受注の停滞・不振(49.7%)」の2つを5割前後の事業所が挙げている。以下、「原材料・仕入製(商)品高(26.2%)」「諸経費の増加(23.1%)」「販売価格の値下げ(20.6%)」と続いている。

中でも、「原材料・仕入製(商)品高」については、3期連続で増加しており、今期調査においては第3位となっている。

## 4. 業界ヒアリング調査結果

調査期間：平成 19 年 9 月 18 日～10 月 10 日  
調査対象：仙台市内の主な事業所 30 社  
調査方法：仙台市職員及び(財)仙台市産業振興  
事業団職員の面接による聞き取り

### [製造業]

製造業の景気(自業界)DI は、平成 19 年 4 月～6 月期実績(以下、前期実績)の 30.4 から、平成 19 年 7 月～9 月期実績(以下、今期実績)は 25.3 に改善した。生産・売上 DI、経常利益 DI、設備投資 DI、製(商)品価格 DI は上昇し改善した。原材料価格 DI は上昇し悪化した。資金繰り DI は下降し悪化した。製(商)品在庫 DI は下降し過剰感が弱まった。雇用人員 DI は下降し不足感が強まった。労働時間 DI は上昇し減少傾向が弱まった。

印刷業 名刺やはがき、チラシ・カレンダーのほか、各種事務用印刷物の作製を行うこの事業所では、景気は良くないと捉えている。パソコンの普及により、簡単なチラシなどは一般に自分で作る傾向にあるため、印刷の注文は減少してきている。また、原油価格高騰の影響を受け、印刷に使う紙の価格が前年度と比較して 2 割弱も上昇しているためコストが上昇している。原材料の値上がり分を価格に転嫁したいが、顧客からの理解が得難いのが現状である。このような中において、この事業所では、新たに機密文書の回収処理事業を行うなど、印刷事業の低迷を補う工夫をしている。

その他の化学工業 食品用、医療用のほか、写真用、工業用のゼラチンを製造販売するこの事業所では、景気は改善してきていると捉えている。食品用ゼラチンは、夏前とクリスマス前に売上が伸びる。近年は写真フィルム用ゼラチンの需要が減少しているものの、ゼラチンから精製されるコラーゲンの需要が急速に高まってきている。この事業所では、ここ数年の売上が伸びていることに加え、原材料の調達にかかるコストダウンにより収益率を高めている。

陶磁器・同関連製品製造業 セラミックスの電気特性を活かした各種電気・電子部品等の、技術開発や製造販売を行うこの事業所では、景気は良いと捉えている。現在の主力商品は、電子部品、機械部品、及び骨や歯などのバイオセラミックスであるが、この事業所では、マーケットのニーズを掴むことに力を入れており、現在はニーズのある製品だけを販売している。また、顧客のリクエストに応え、付加価値の高い特注品の開発を行っている。高価格で、生産規模的には高収益であるが、数が出ない点で苦労がある。この他、今後の課題としては、人材の確保であると考えている。

製鉄業 ぐず鉄を電気炉で溶解し、鉄筋コンクリート用棒鋼の製造を行うこの事業所では、景気に大きな変化はないと捉えている。民間のマンション建設が一昨年ほど前から活況を呈しているものの、公共事業の落ち込みで、景気は、総合的には低めに横ばいで推移している。中国などの経済発展に伴う需要増の影響により、原料となるぐず鉄の価格も上昇している。生産・売上は高水準で推移しているものの、原料の高騰により収益は高くない。このような中、この事業所では、製造の合理化のための設備投資により、収益の向上を図っている。

金属製品製造業 主に、ステンレス鋼の加工を行うこの事業所では、原材料価格の高騰により景気は厳しい状況にあると捉えている。宮城県は他地域と比べ同業者が多いため価格競争が激しく、この事業所でも地元では受注しにくいのが現状である。このような中においてこの事業所では、同業他社との差別化のため、生産効率の向上や、より厚みのあるステンレス等の加工による製品の高付加価値化を目指し、設備増強を図っている。

電子部品・デバイス製造業 プリント配線板の回路設計と製造を行うこの事業所では、景気に大きな変化はないと捉えている。この事業所では、同業他社で取扱いのない独自の商品を取扱うことや、付加価値を高めた商品を取扱うことで、差別化を図っている。また、取引先を一社に偏らせないことで、世間の景気変動による売上への影響を受けないよう配慮している。原材料価格の高騰によりコストが上昇しているものの、価格への転嫁はしにくいのが現状であり、損出分は雇用面で調整してきた。今後の人材確保が課題と考えている。

#### [建設業]

建設業の景気(自業界)DIは、前期実績の 50.6 から今期実績では 32.5 と改善した。生産・売上DI、経常利益DI、設備投資DI、資金繰りDIは上昇し改善した。製(商)品価格DIは下降し悪化した。原材料価格DIは下降し改善した。製(商)品在庫DIは下降した。雇用人員DIは下降し、労働時間DIは上昇した。

とび・土木・コンクリート工事業 とび、コンクリート工事の業務下請けや、主に市が発注する土木工事を請負うこの事業所では、景気は非常に厳しいと捉えている。落札率が低下している上に、競争相手が多く、受注案件が少ないため、収益は低い。このような中、事業所では工事作業員の労働日数を確保する努力をしている。また、高価な重機類は、稼働率が高ければ自社で購入したほうが良いが、フル稼働させることが困難な現状では、経済性を考え、購入ではなくリースで対応するなど、事業所として、経費節減のための工夫を行っている。

機械器具設置工事業 大規模小売店等の冷蔵・冷凍庫、工業用クリーンルームなど、断熱・抗菌・遮音等のための各種パネルシステムの設置を行うこの事業所では、10年程前からの競争の激化により、景気は厳しい状況にあると捉えている。主な取引先であるスーパーマーケット等のチェーン化が進み、冷蔵庫等の発注先も、チェーンの本社で決められてしまうことが多い。差別化の図りにくい業界ではあるものの、事業所では、きめ細かい設計対応、接客対応による受注増や、写真業・印刷業等での新たな需要掘り起こしを図っている。

#### [運輸・通信業]

運輸・通信業の景気(自業界)DIは、前期実績の 46.6 から今期実績では 23.5 と改善した。生産・売上DI、経常利益DI、製(商)品価格は上昇し改善した。原材料価格DIは下降し改善した。設備投資DI、資金繰りDIは下降し悪化した。製(商)品在庫DIは上昇した。雇用人員DI、労働時間DIは上昇した。

一般乗用旅客自動車運送業 個人タクシー業務を行うこの事業所では、景気は良くないと捉えている。一日の平均稼働状況は、5～10件であるが、年々減少してきている。市内のタクシー台数が、10年前と比べて約4割も増加していることや、ガソリンの価格が高騰していることから、今後の見通しは明るくはないと考えている。また、乗客の利用距離も、以前と比べると短くなっており、収益はほとんど見込めない。この事業所では、以前は4年に1回くらい車を買替えていたが、現在の車は既に10年程使用している。

一般貨物自動車運送業 貨物の運送業務を行うこの事業所では、景気に大きな変化はないと捉えている。貨物の場合は、旅客運送と異なり他動的な要素が強く、どの時期に物が動くのか予想が難しいため、見通しもたてにくい。この事業所では、団塊世代の退職で人員不足が生じている。技術継承の必要もあり、新規採用の募集を行っているが、地元就労志向の高まりや、他企業にも見られる全体的な求人数増加のためか、事業所が希望する人数を採用できていないのが現状である。

#### [卸売業]

卸売業の景気(自業界)DIは、前期実績の 26.2 から今期実績では 31.0 と悪化した。生産・売上DI、資金繰りDIは下降し悪化した。経常利益DI、設備投資DIは横ばいであった。製(商)品価格DIは上昇し改善した。原材料価格DIは上昇し悪化した。製(商)品在庫DIは上昇した。雇用人員DIは横ばいであった。労働時間DIは上昇した。

繊維・衣服等卸売業 繊維製品、インテリア用品の卸売・小売を行うこの事業所では、景気は悪いと捉えている。7月から9月にかけては、天候の影響で夏物・秋物衣類の売上が伸びず、経常利益も減少している。同業他社との競争は激しくはないが、業界全体の業態が変化しつつあり、メーカーが店舗を出して消費者に直接小売りするケースや、インターネット販売を行うケースが増加している。この事業所においても、中心地商店街での小売販売を行うほか、ネットショップを開設するなど、新しい業態への転換を図っている。

一般機械器具卸売業 製氷機、業務用冷凍冷蔵庫、業務用厨房機器の卸売及びメンテナンスを行うこの事業所では、景気に変化はないと捉えている。県内においては、地元資本の企業が少ないだけでなく、新規の出店数そのものが少ない。売上を維持するには、限られた既存店が顧客となるため、この事業所では、営業活動を中心としたローサービス展開など、既存顧客へのアプローチを工夫し、常にニーズの掘り起こしを行っている。なお、製品に使われるステンレスや銅の価格高騰により、製品原価が上昇しているものの、現在のところ販売価格への転嫁には至っていない。今後も現状価格を維持したいが、近い将来には値上げ検討の必要が出てくるものと考えている。

電気機械器具卸売業 非常用電源の卸売、及び設置のための設計や保守業務を行うこの事業所では、景気は良くなってきていると捉えている。今年度に入り業務案件が増加している。市内の新規ビル建設等に伴い、電源設備の需要が伸びたことが要因と考えられる。競争の激しい業界であるが、この事業所においては、無理な低価格入札を行わないこと、既存納入品の保守業務を継続してきたことなどにより、売上を維持してきた。業務案件の増加により、人手が不足してきており、今後は、機械・電気の両方に詳しい人材の確保が必要である。5年以上の実務経験が必要なことから、若い人材の育成を重要視している。

#### [小売業]

小売業の景気(自業界)DIは、前期実績の 30.0 から、今期実績では 39.3 と悪化した。生産・売上DI、経常利益DI、設備投資DI、製(商)品価格DI、資金繰りDIは下降し悪化した。原材料価格DIは上昇し悪化した。製(商)在庫DIは下降した。雇用人員DIは上昇した。労働時間DIは横ばいであった。

百貨店・総合スーパー 生活雑貨を専門に扱うこの事業所では、景気は良いと捉えている。小売業界全体が、景気の良くない現状において、この事業所においては、例年売上が落ちる夏場においても、今年は売上の落ち込みが見られなかった。入店者数は減少しているものの、客単価が増加したため、売上が上昇している。今後、クリスマス、正月に向けて、売上は上昇するものと見込んでいる。雇用の面については、長く働きたいという従業員が多いため、これまでの短期雇用を止め、繁忙期においても現在の従業員の労働時間を増やすことで対応していく予定である。

呉服・服地・寝具小売業 布地やその他各種繊維製品の販売を行うこの事業所では、景気はやや下降気味であると捉えている。理由としては、近年の郊外型大型ショッピングセンターの進出により市内中心地商店街の集客力が相対的に落ちていること、繊維製品業界の市場自体が縮小傾向にあることが挙げられる。

10 年程前と比較すると、洋裁の需要が減少し、手芸の需要が増加している。この変化に対応するため、事業所では、個人向けの手芸体験イベント等を開催し、顧客開拓の取り組みを行っている。なお、商品仕入価格については、原油価格の高騰により上昇している。この上昇分は、自社では吸収しきれないため、価格に転嫁している。売上は、事業所がイベントを開催する時期は伸びるものの、イベント開催のない7月から9月期落ち込むという傾向がある。

各種食料品小売業 酒・たばこの販売を中心とした食料品等の販売を行うこの事業所では、景気は厳しい状況にあると捉えている。自動販売機による販売と、店内販売の両方を行っているが、店内販売の売上は低下している。自動販売機は、たばことジュースの販売機だけを、自店舗前だけに設置している。昭和30年代から現所在地にて店を構えているが、新道路が通ったこと、近隣に大型ショッピングセンターが出店したことが売上に大きく影響している。また、酒類は、価格や品揃えではディスカウントストアとは勝負にならない。このような中であってこの事業所では、食品類の販売のほかに、クリーニングのチェーンストアとして、受付業務を平行して行うなど、売上増加のための工夫を行っている。

各種食料品小売業 生鮮食品・日用品等を扱うスーパーマーケットを運営するこの事業所では、年末商戦を控え、景気は悪くはないと捉えている。仕入価格は、一部上昇しているものもあるが、平均すれば変化はない。商品によっては、価格は据え置き、量を少なくして販売しているものもある。近年、スーパー業界は競争が激しくなっているが、同業他社は、大型店を出店させる傾向にある。このような中、この事業所のような中小規模のスーパーマーケットでは、広い店舗を敬遠する高齢者等の顧客を獲得していこうと考えている。

自転車小売業 自転車の販売及び修理、原付バイクの修理を行うこの事業所では、景気は回復基調にあると捉えている。事業所の売上の回復要因としては、世間の景気回復のほかにも、消費者の間に、量販店の廉価品ではなく、「安全で長持ちするメーカー品を購入する」ことにメリットを感じる傾向がでてきたものと考えられる。しかし、この事業所では販売よりも修理による収益が大半を占めている。最近では修理を行う店が少なくなっていることもあり、近隣はもちろん、評判を聞いての来店客も多く、多い日には40件もの修理依頼を受ける。この事業所では、ほかにも、バイクのタイヤ保管サービスを行うなど、顧客の確保に努めている。

#### [飲食店]

飲食店の景気(自業界)DIは、前期実績の48.2から、今期実績では31.4と改善した。設備投資DI、製(商)品価格DI、資金繰りDIは上昇し改善した。経常利益DIは横ばいであった。生産・売上DIは下降し悪化した。原材料価格DIは上昇し悪化した。製(商)品在庫DIは下降した。雇用人員DI、労働時間DIは下降した。

食堂、レストラン 公共施設内で軽食の提供を行っているこの事業所では、景気については、施設で開催されるイベントの数や規模に左右されることが大きいと考えている。売上は、レストランでの軽食提供に加え、イベント関係者、会議出席者への弁当や仕出し料理などによるものである。この事業所では、アイドルタイムでもパートタイム従業員でつなぐことができないため、人件費割合が大きい。公共施設内のレストランは価格が安いとのイメージからも、値上げは困難である。また、施設利用客以外の外部客を確保することも困難であることから、今後、この事業所では、イベント関係者へのセールスにより売上を増加させたいと考えている。

喫茶店 コーヒーや軽食等の提供を行うこの事業所では、景気は低迷状態にあると捉えている。この事業所は、大型スーパーの店内に併設されている。スーパーの店舗改装により、改装前と比べ客層が若年化した。このことで、来客数が減少したが、これは、コーヒー等を趣向する年齢層が、スーパーの顧客年齢層よりも高いためと考えている。また、以前は個人タクシー業の方も来店していたが、最近ではタクシー業界の景気が全

体的に低迷しているためか、来店客数は少なくなってきている。原材料の仕入れについては、バイオエネルギー流行の影響で、小麦や食用油の価格が上昇している。

酒場・ビヤホール 居酒屋のほか、パチンコ店内のそばコーナーを運営するこの事業所では、景気は良くないと捉えている。売上の減少に比例して、経常利益も減少している。飲酒運転の厳罰化の影響もあるのではないかと推測している。この事業所では、他の飲食店よりも多くの正社員を雇用している。調理場には職人(正社員)を置くことにより、安心して美味しい商品を提供するためである。また、中央卸売市場からの食材の直接仕入れ、グループ店での食材共有などにより、仕入れ価格を安定させ、安定した価格で料理を提供する等、工夫を行っている。

#### [不動産業]

不動産業の景気(自業界)DIは、前期実績の 14.7 から、今期実績では 17.2 と悪化した。製(商)品価格DI、資金繰りDIは上昇して改善した。経常利益DIは横ばいであった。生産・売上DI、設備投資DIは下降し悪化した。原材料価格DIは下降して改善した。製(商)品在庫DIは上昇した。雇用人員DI、労働時間DIは下降した。

不動産代理業・仲介業 賃貸物件の管理・仲介、売買、及び土地活用の相談や土地加工売買を行うこの事業所では、景気に大きな変化はないと捉えている。市中心部では、再開発の流れの影響を受けている事業所もあるようだが、もともと地元の物件を扱っている事業所には、この流れとの結びつきは小さい。この事業所では、仲介と管理を主たる業務としている。売買のほうが売上金額は大きい。仲介業務は、管理業務につながる可能性があるため、事業所としては仲介業務を重視している。また、この事業所では、数年前から、企業に代わって社宅に関する契約・家賃支払い業務を行う「社宅代行サービス」を導入し、安定した仲介料収入を得る工夫をしている。

不動産賃貸業 飲食店を対象に貸しビル業務を行うこの事業所では、景気は下降していると捉えている。事業所だけでなく、地域全体でも相当数の空きテナントがあるようである。事業所で扱うビルには、入居可能店舗数の半分以上しか入居しておらず、以前と比べると、家賃も半額程度になっている。買い手市場であり、テナント側が相場を決めている状況である。収入は落ちているにもかかわらず、ビルの維持費はかかるので、経営は楽ではない。地域でも、地域全体に見られる建物の老朽化や、風俗店の出店等による雰囲気の変化が問題と捉えられており、今後のまちづくりについて検討が始まっている。

不動産賃貸業 オフィスを対象とした貸しビル業務を行うこの事業所では、景気は順調と捉えている。数年前の景気低迷期には、テナントの退去が相次いだ。が、昨夏頃より再び入居が進んでいる。ただ、現在のオフィスビル建築は経済波及効果は大きいと思われるものの、今後、支店撤退などの需要低下を生む要因の出現によっては、供給過剰となることを心配している。賃貸料については、借主から値下げ交渉されることもあり、貸主側では柔軟に対応することが多い。資金繰りは概ね順調であり、収入の範囲内で修繕等を行うようにしている。通常の配電設備のメンテナンスやエレベーター交換に加え、耐震補強を行った。

#### [サービス業]

サービス業の景気(自業界)DIは、前期実績の 40.9 から、今期実績では 26.8 と改善した。生産・売上DI、経常利益DI、設備投資DIは上昇し改善した。製(商)品価格DI、資金繰りDIは下降し悪化した。原材料価格DIは下降し改善した。製(商)品在庫DIは横ばいであった。雇用人員DI、労働時間DIは下降した。



旅館・ホテル シティーホテルとして各種サービスを提供するこの事業所では、景気は良くはないと捉えている。今年の七夕まつりでも、満室にはならず、外国人宿泊客も昨年より少ないと感じている。しかし、これからの紅葉シーズンや結婚式での利用客増に期待している。仙台は、新規のホテル建設が盛んである。競争が激化する中で、交通の利便性や設備の新しさというところだけでは競争に勝つことが難しいため、この事業所では、ソフト面のサービスで差別化を図っていく必要があると考えている。

旅行・ホテル 温泉リゾートホテルとして各種サービスを提供するこの事業所では、景気は悪くないと捉えている。繁忙期と閑散期の売上の差がはっきりしているものの、今年は伸びる見込みである。要因としては、低料金システムにより仙台市内からの家族連れ客が増加していることが挙げられる。リピーターも多い。また、露天風呂の拡張により、日帰り客が増加している。これらはテレビコマーシャルの効果が出ていると考えられる。今後の課題として、地域内での競争の激化が挙げられるため、事業所としては、宿泊者からアンケートをとり、業務の参考にしている。

病院 主に脳血管障害、頭部外傷などの治療を行うこの事業所では、病院であるため景気が直接業績に影響することはない。しかしながら、長期的な景気の変動による患者の医療費負担増が、業績に影響することは考えられる。業績に影響することが考えられる外部要因としては他に、平成 18 年の診療報酬に関する法改正が大きかった。配置できる看護師の人数がこれによって変わってしまうためである。一般に、看護師の業務は過酷労働と捉えられがちだが、この病院では、マネジメントに注力することにより、時間外労働を殆ど無くすようにしている。なお、公的な病院と異なり、補助を頼れないことから、資金繰りには苦慮している。

他に分類されない生活関連サービス業 主に医療用写真現像・焼付けの他、関連する商品販売を行うこの事業所では、景気に大きな変化はないと捉えている。医療機関が撮影する内視鏡写真や診療用フィルムの現像・焼付けを行うため、世間の景気変動との関連は薄く、むしろ高齢化や検査の高度化などの背景から、業務量の増加が予想されている。しかし、業務量は増加しても、収益的には伸び悩むと考えている。現像液の価格など、原材料価格は上昇している。そこで、この事業所では、医療用以外の分野の業務として、デジタル写真の出力やデータ作成を行っているほか、他の商品販売などで、商品取扱いの多角化に取り組んでいる。

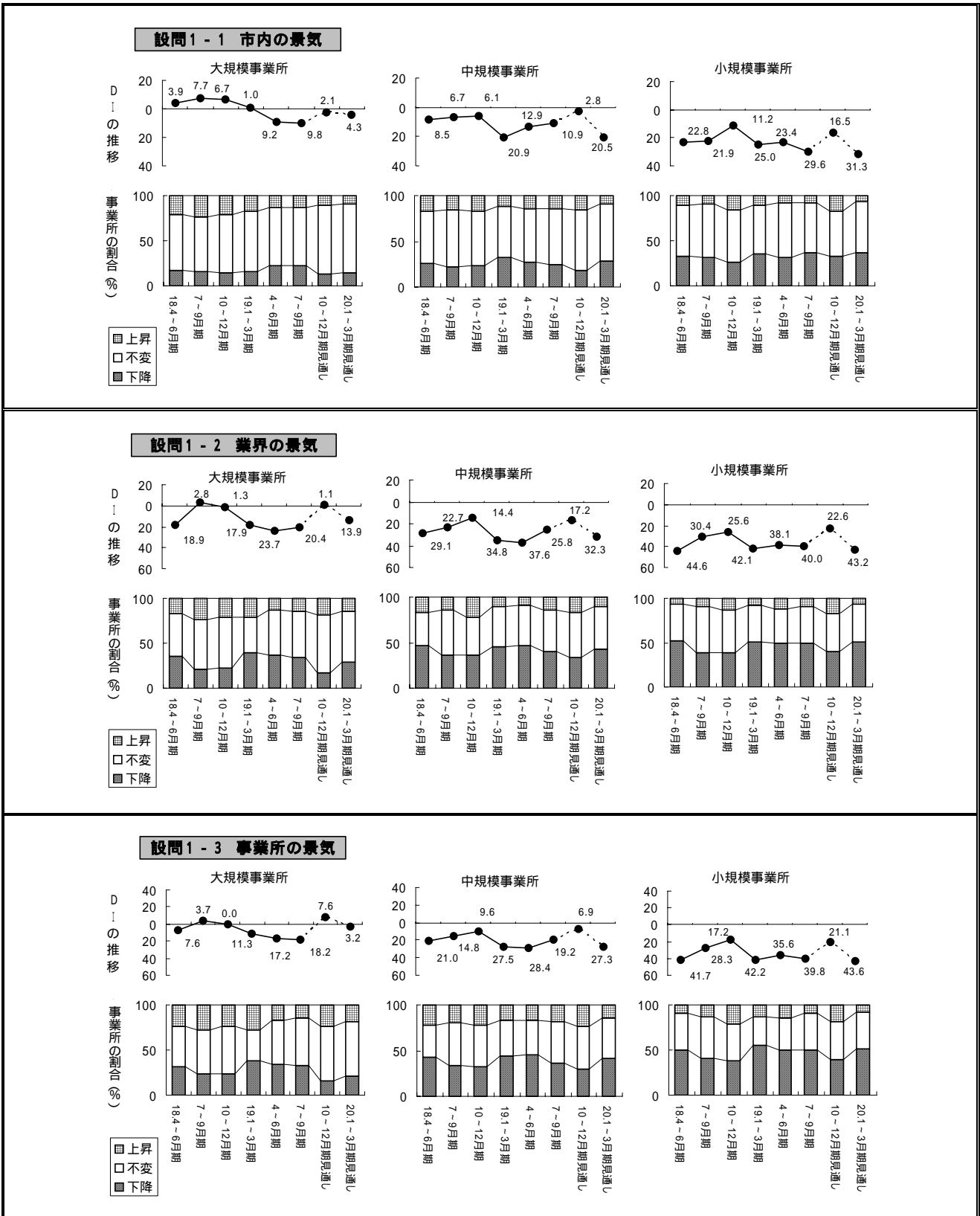
遊技場 パチンコ、ゲームセンター、カラオケ、ネットカフェなどアミューズメント施設を経営するこの事業所では、景気は上向きであると捉えている。要因としては、良い人材の確保ができていること、10年以上前から現所在地で営業しており固定客がついていること、などが挙げられる。良い人材とは、頑張ろうという意思がある人材である。この事業所では、従業員が整備しやすい機械をメーカーに要求するなどしているが、それでも、従業員の労働時間が増加しており、事業所としては人手不足を感じている。人材募集については、以前は有料求人誌で募集していたが、最近フリーペーパーで仕事探しをする人が増えたことから、事業所でも最近、主要なフリーペーパーに求人を出すなど、人材を集めるための工夫を行っている。

建物サービス業 ビル警備業務を行うこの事業所では、景気について、現時点が底とみているため、今後上昇するとの期待感を持っている。性質上、4月受注の業務が多く、その後、売上が計上される時期も集中している。そのため、この集中時期以外は売上は不変であり、ピーク時と比べると減少している。従業員数については、常時不足しており、ハローワーク等を通して募集するが、応募はほとんどない。特に若年者は少なく、高齢者の採用が中心である。この事業所は、社会保険保有率 100%で、定着率が高い。理由として、高齢者は社会保険を重要視しているためであろうと思われる。

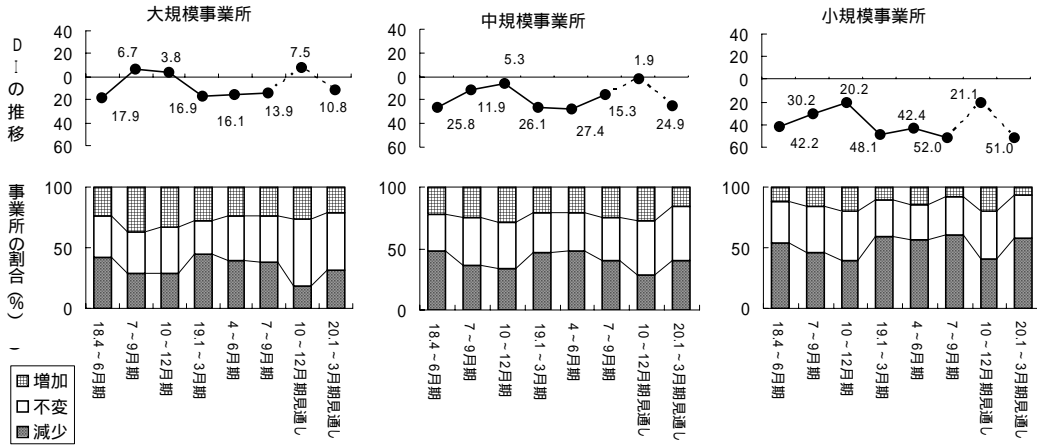
# 資料編

(1) 企業経営動向調査(DI)結果の詳細  
規模別DI

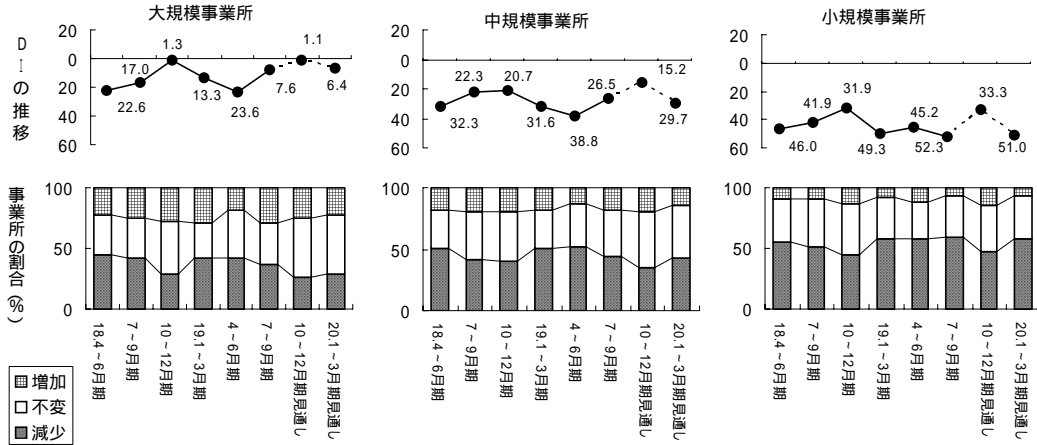
用語の説明については目次下参照



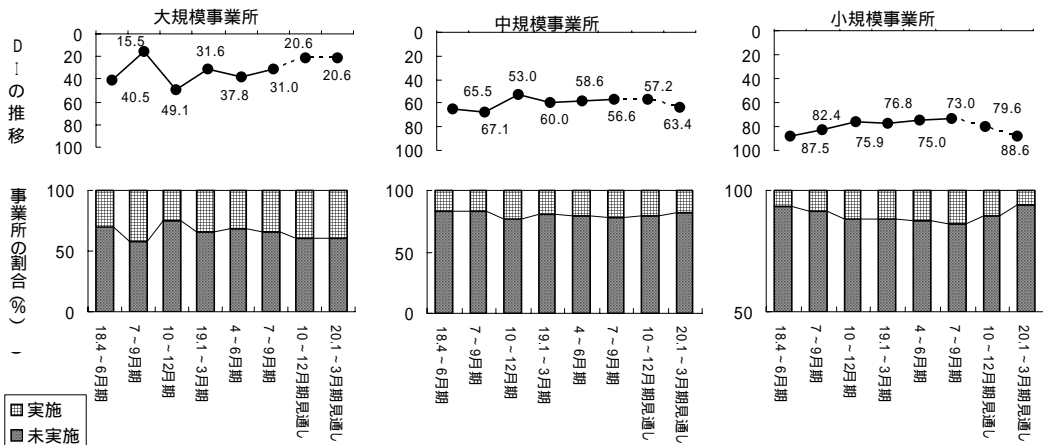
設問2-1 生産・売上



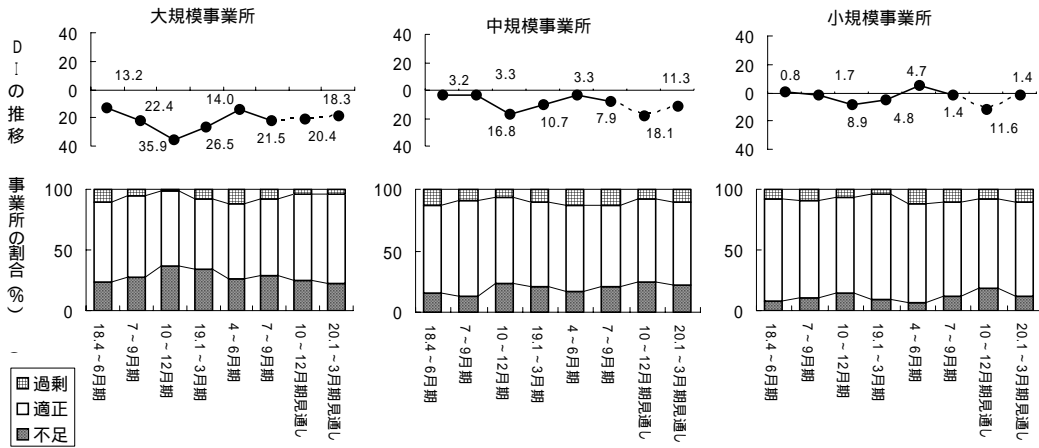
設問2-2 経常利益



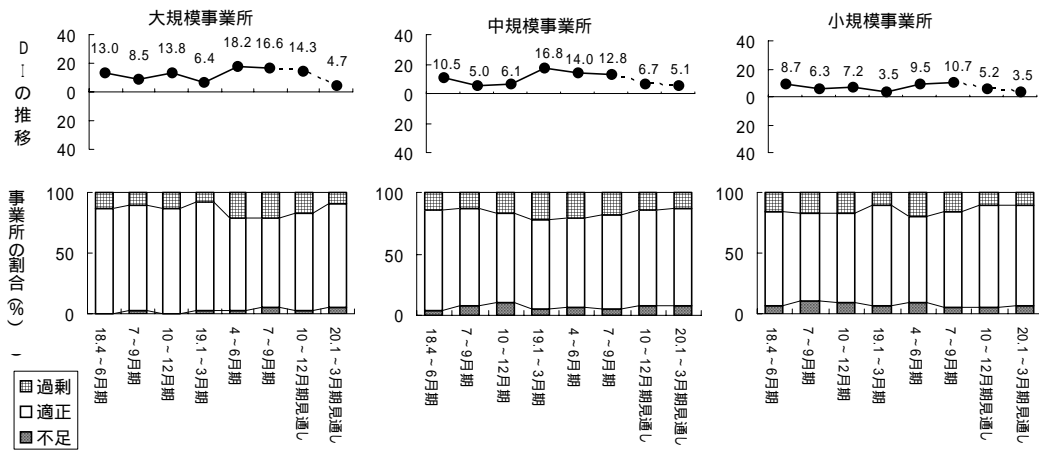
設問3-1 設備投資



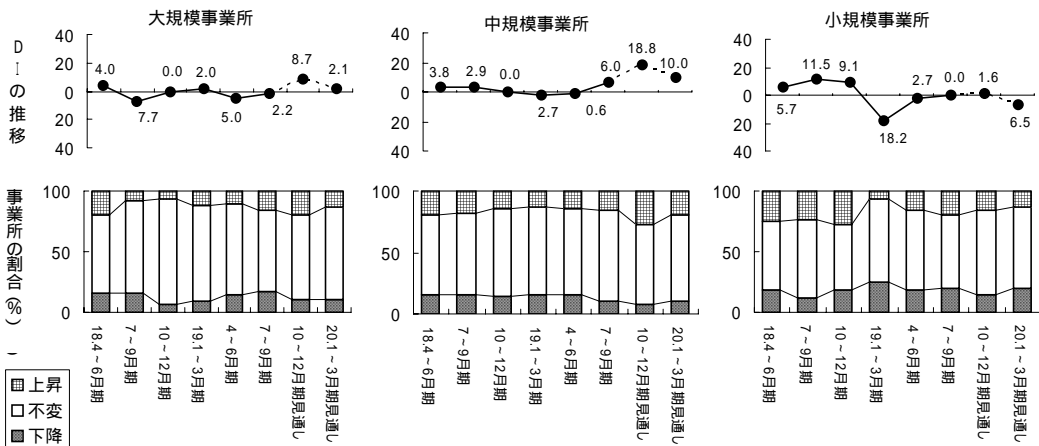
設問4-1 雇用人員



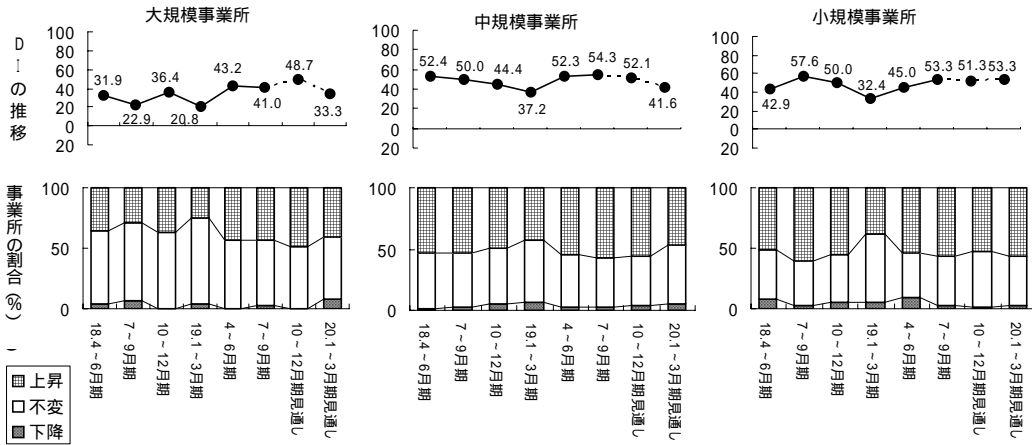
設問4-2 製(商)品在庫



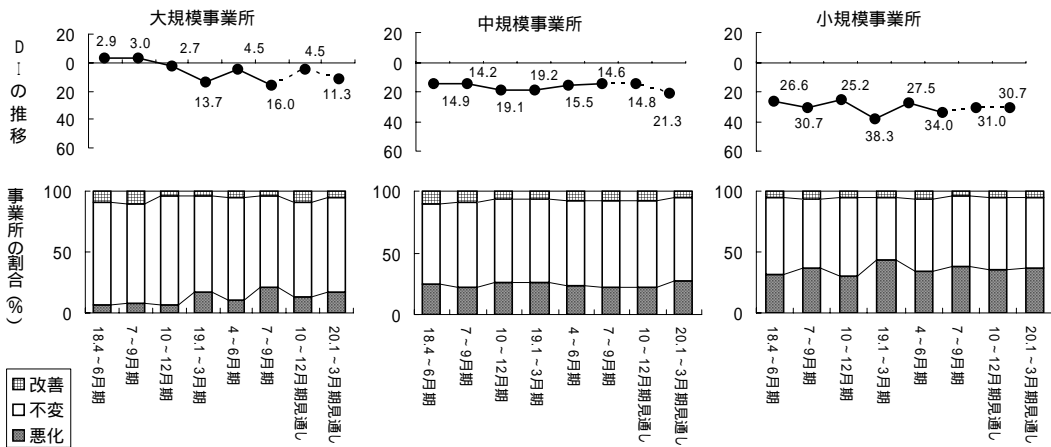
設問4-3 製(商)品価格



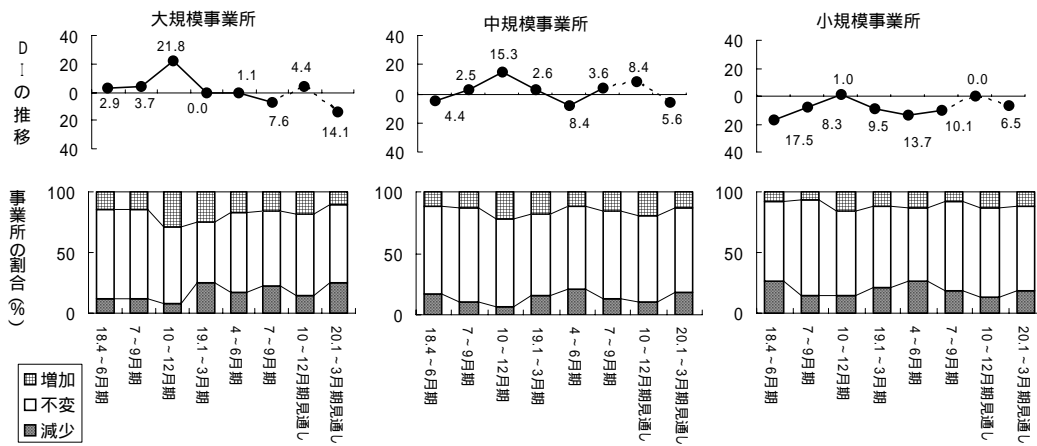
### 設問4-4 原材料価格



### 設問4-5 資金繰り

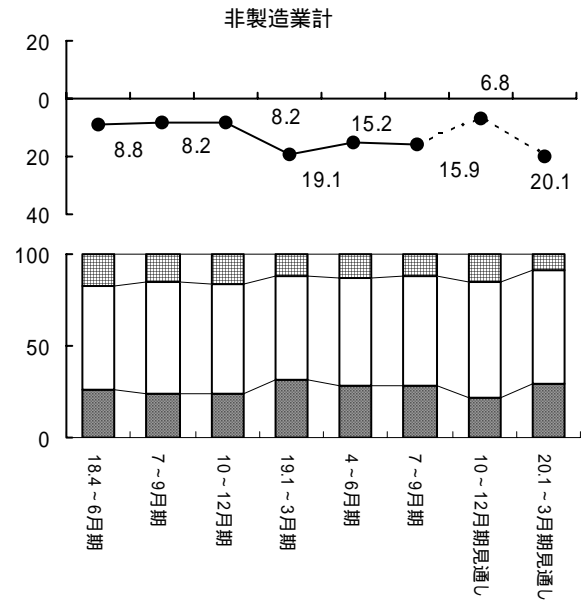
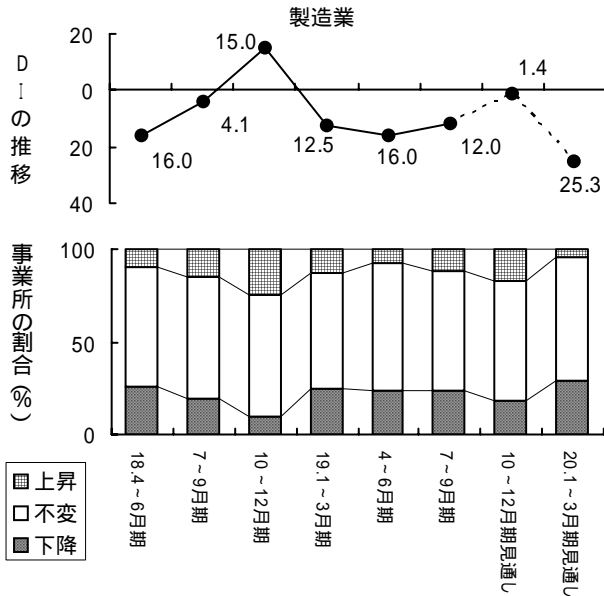


### 設問4-6 労働時間

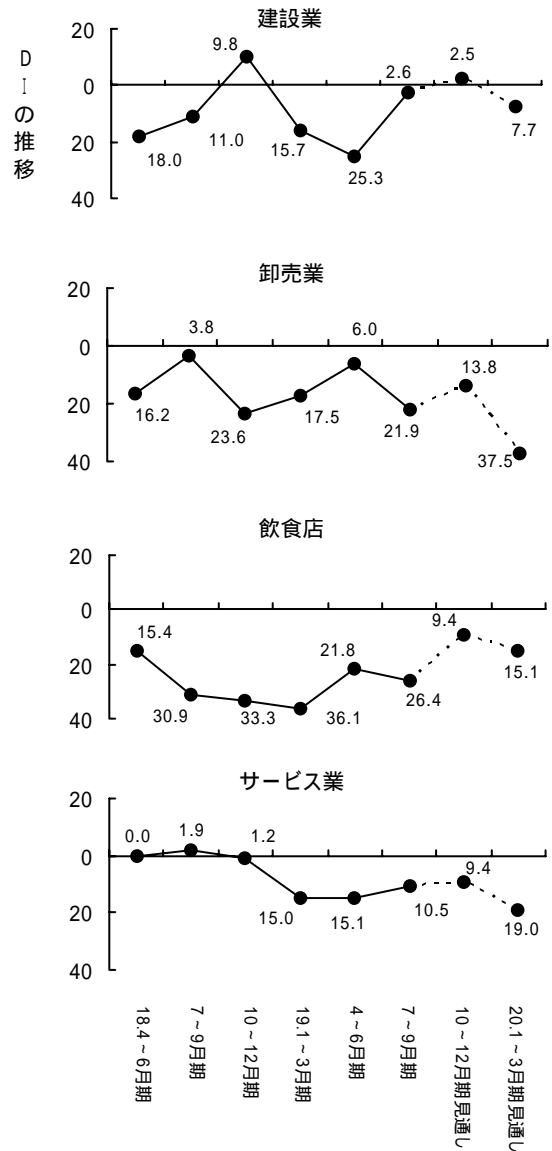
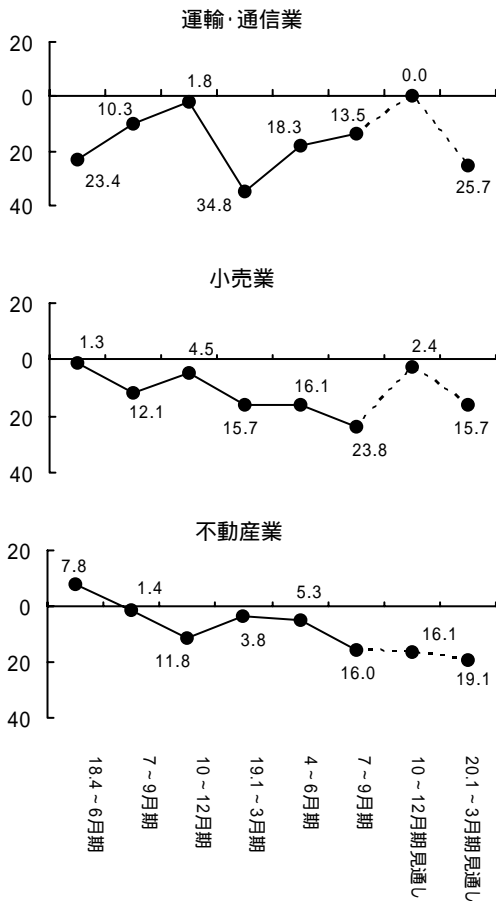


業種別 D I

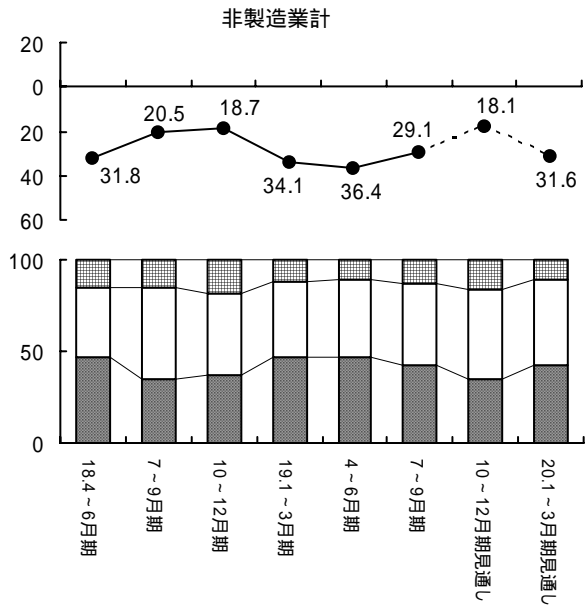
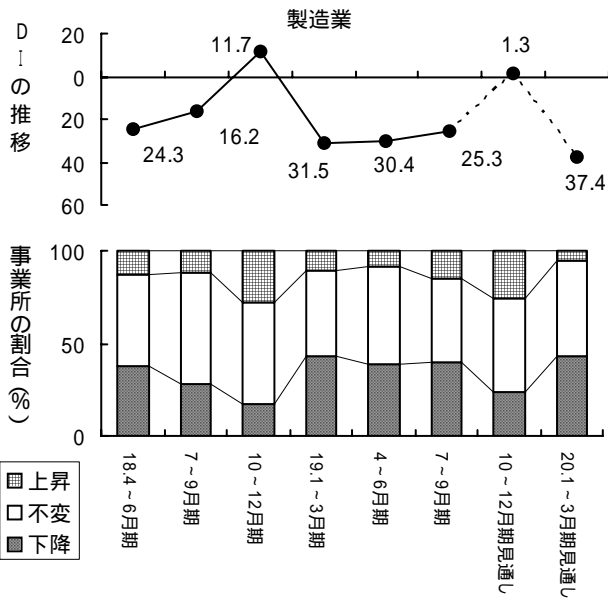
設問 1 - 1 市内の景気



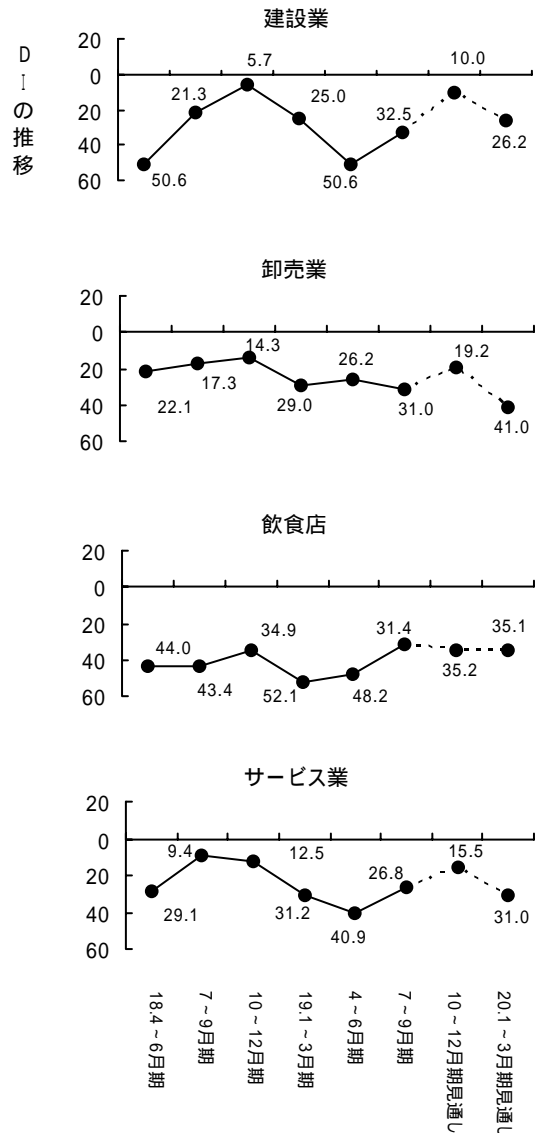
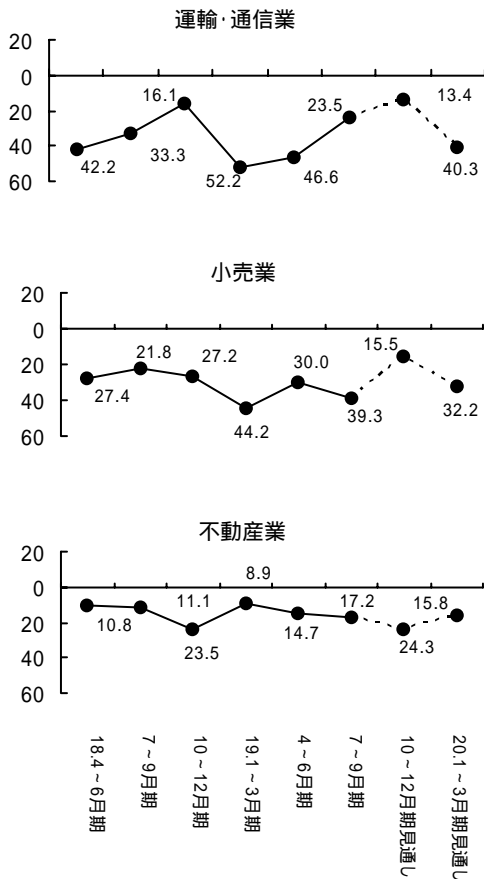
非製造業の内訳



### 設問1-2 業界の景気

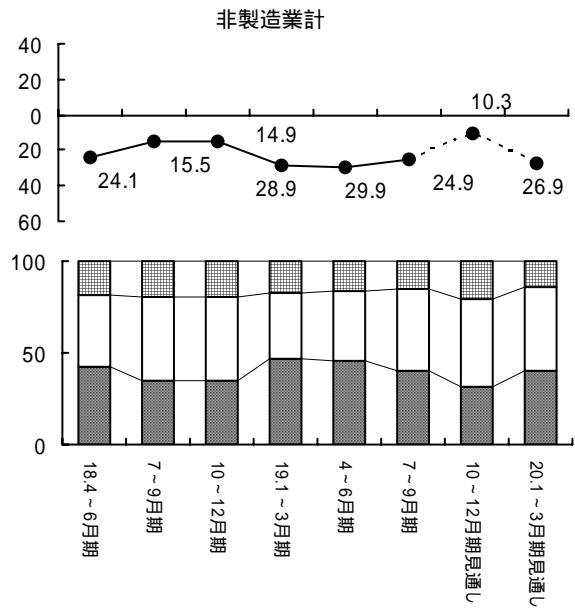
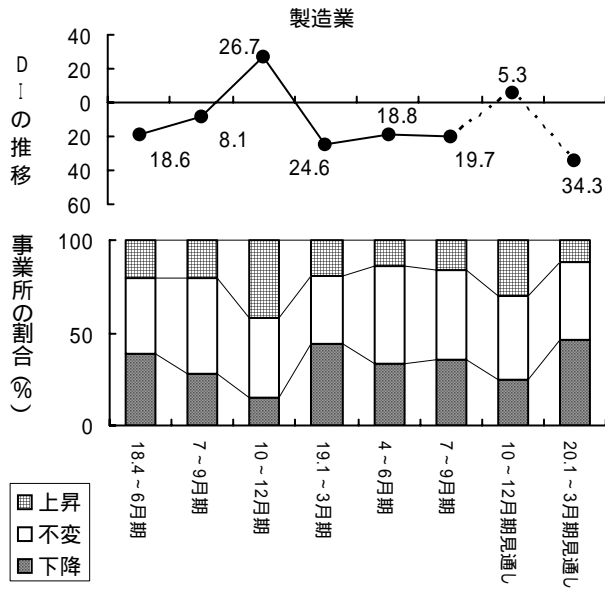


### 非製造業の内訳

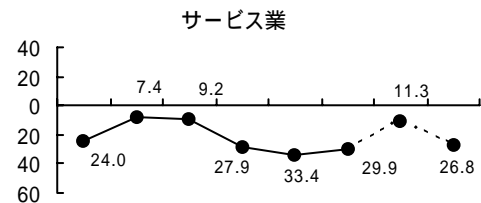
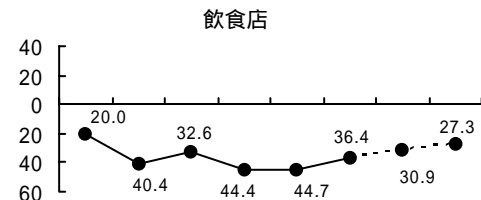
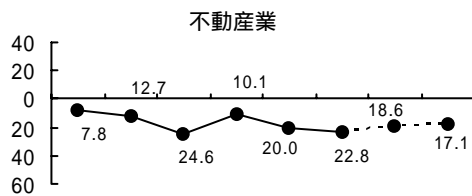
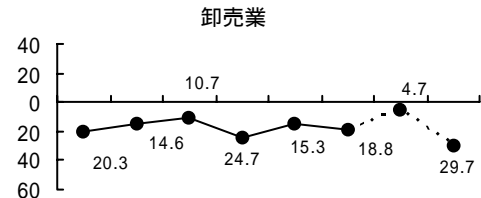
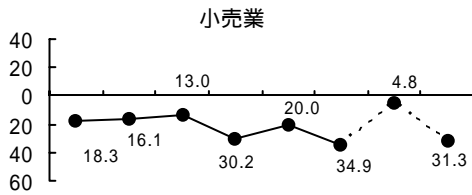
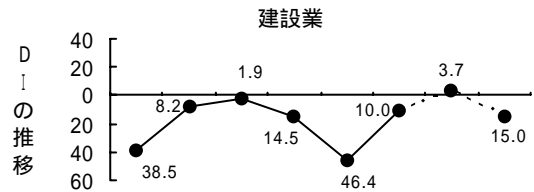
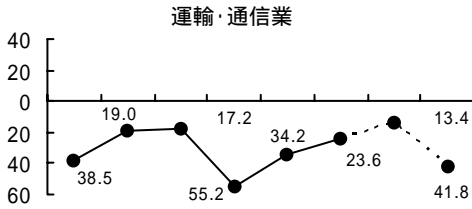




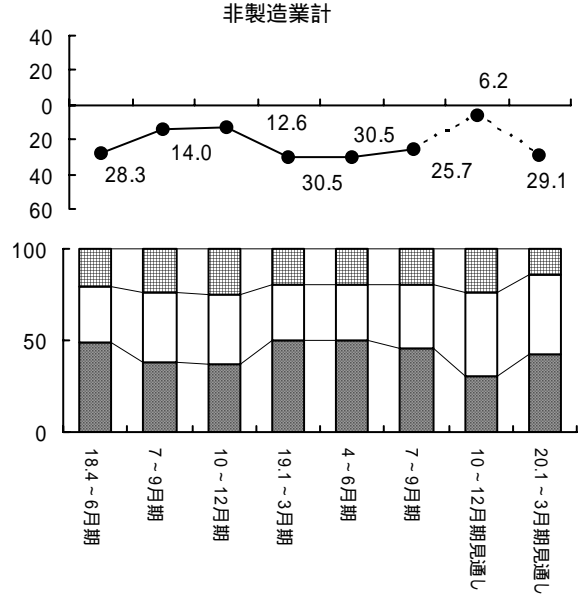
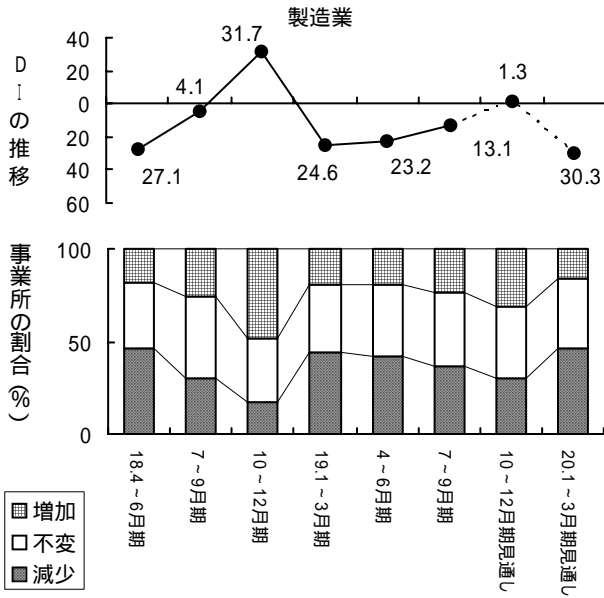
設問1-3 事業所の景気



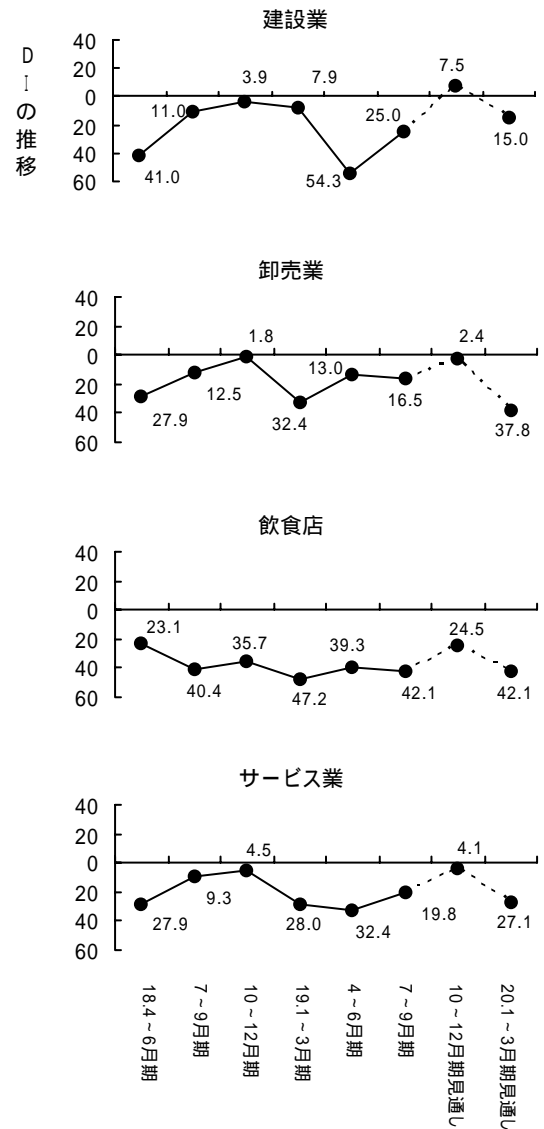
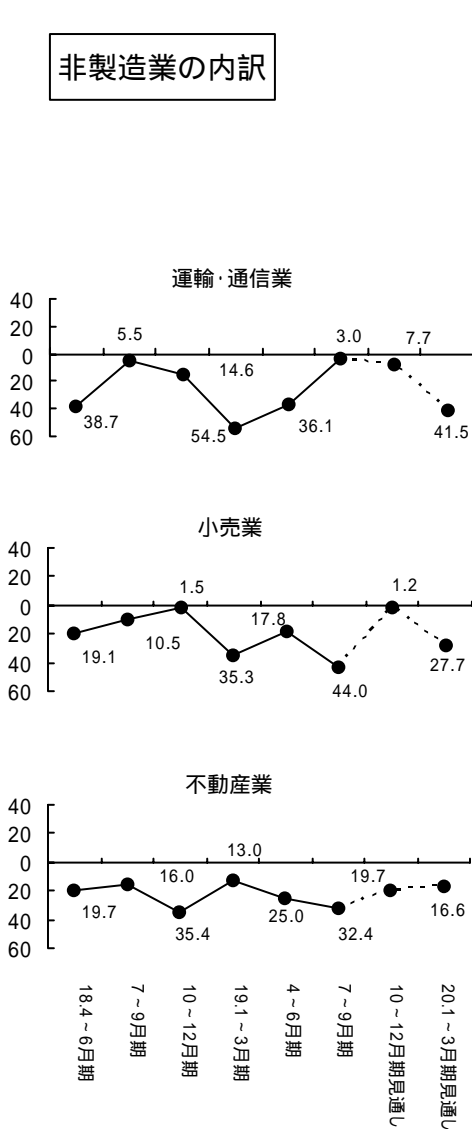
非製造業の内訳



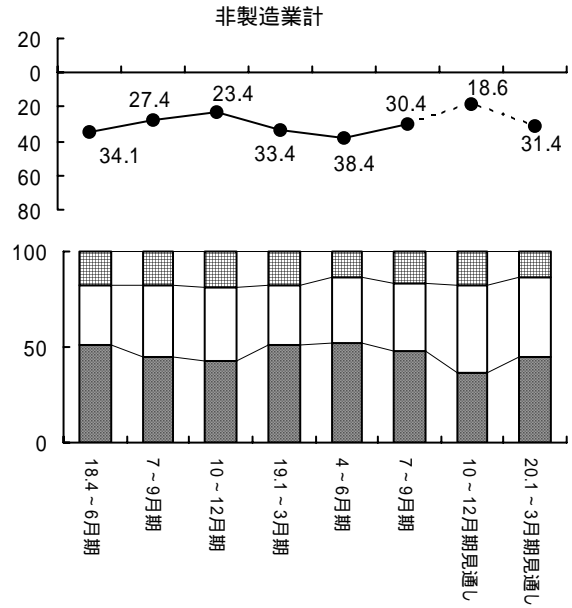
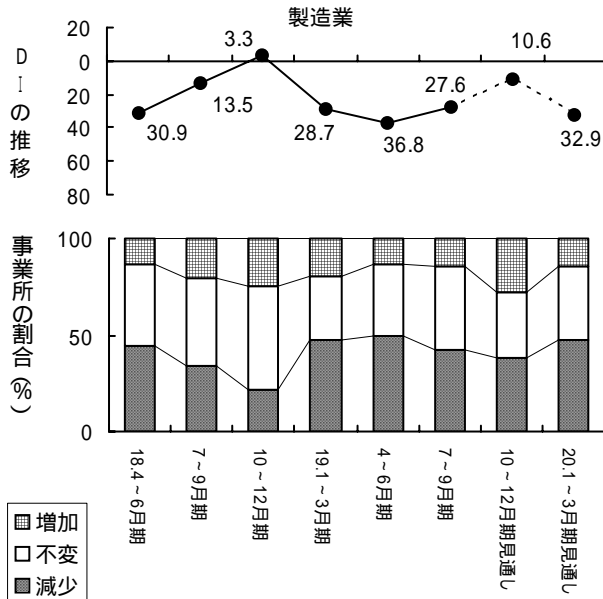
設問2 - 1 生産・売上



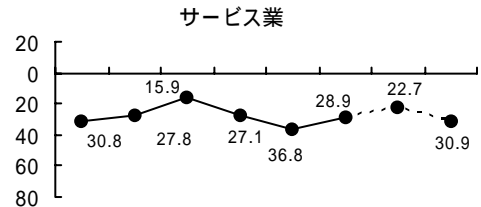
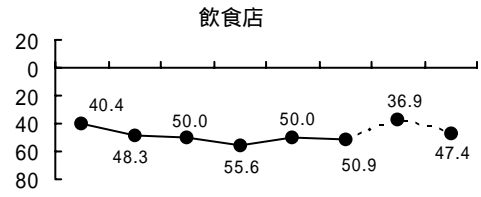
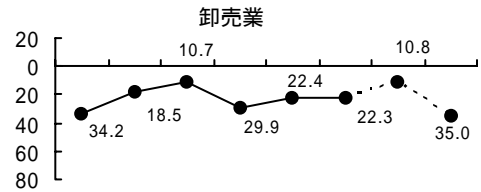
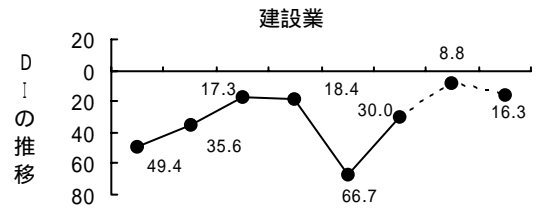
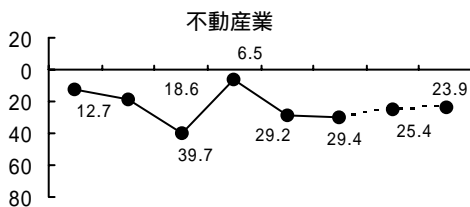
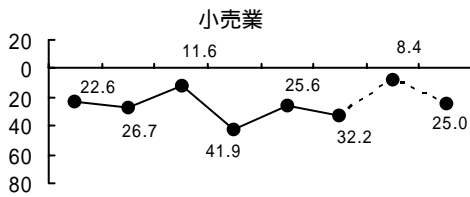
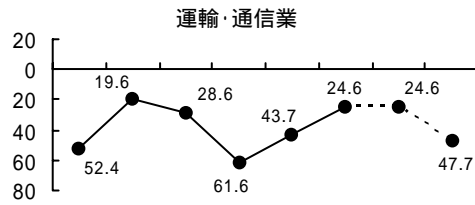
非製造業の内訳



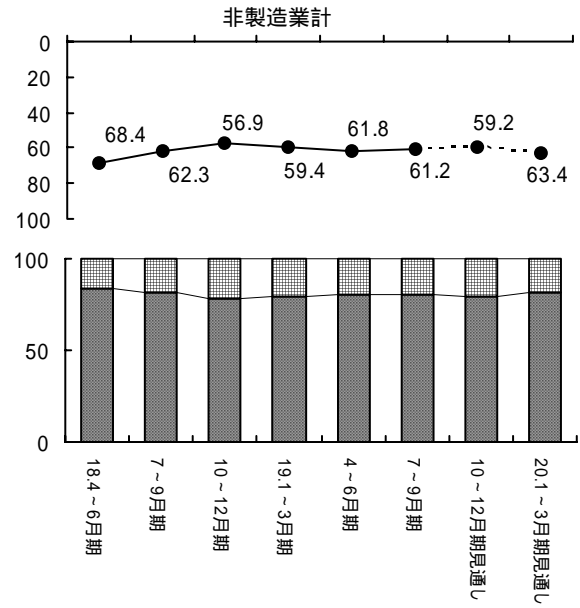
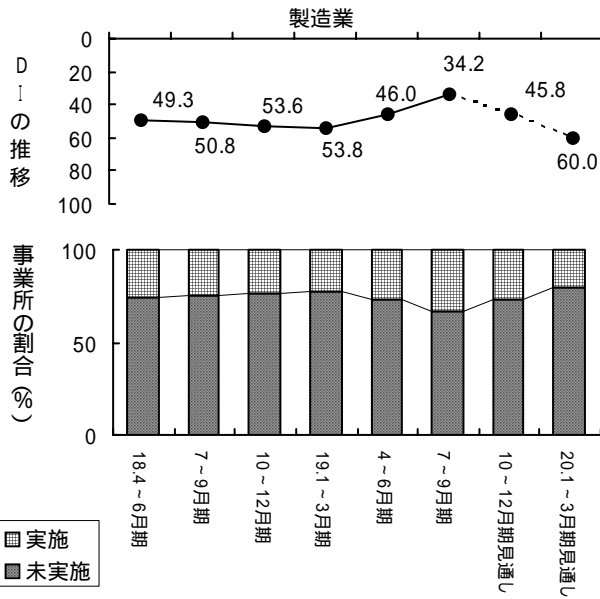
## 設問2 - 2 経常利益



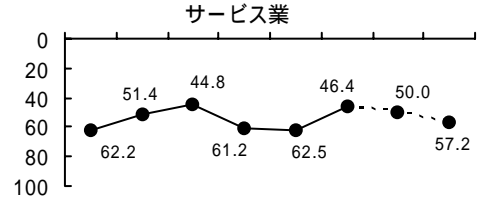
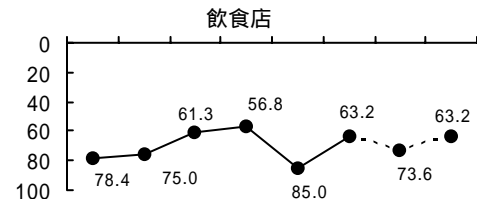
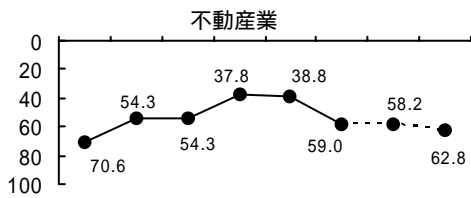
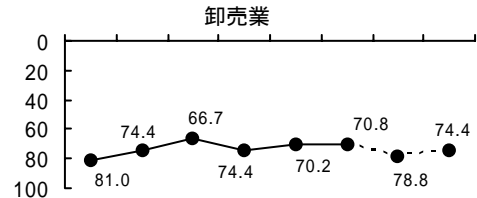
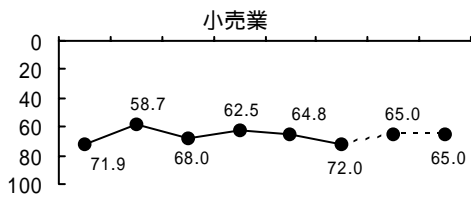
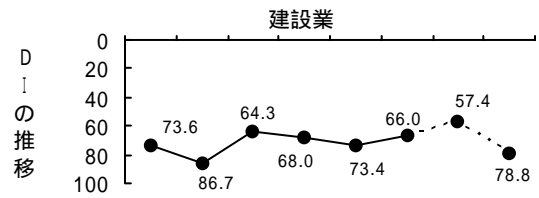
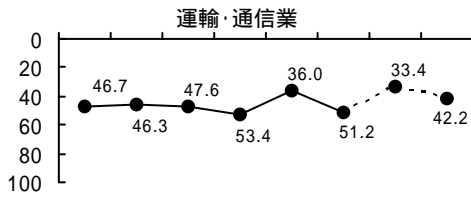
### 非製造業の内訳



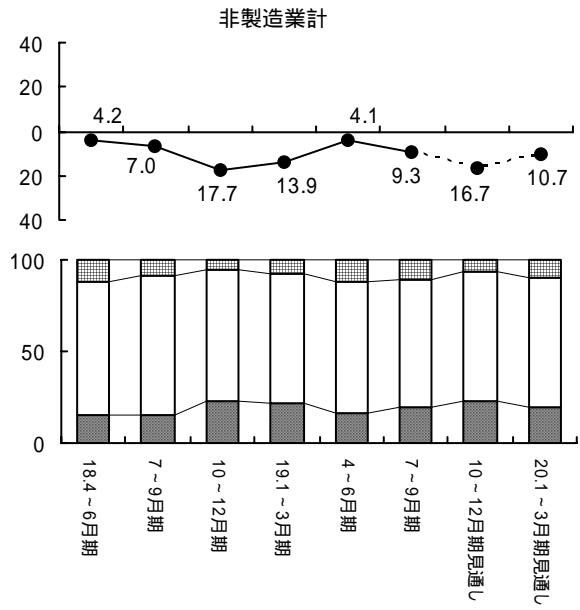
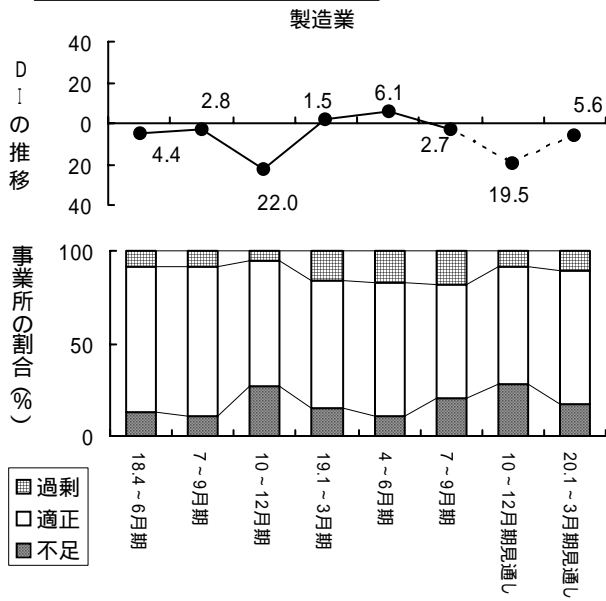
### 設問3 - 1 設備投資



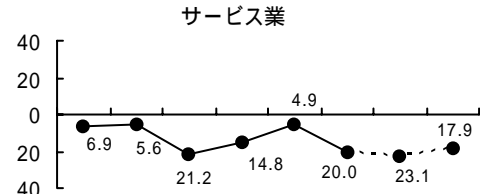
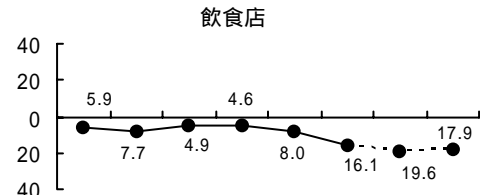
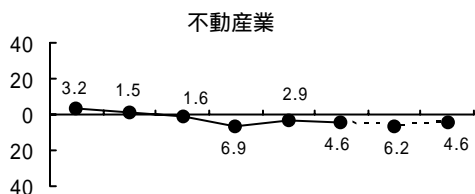
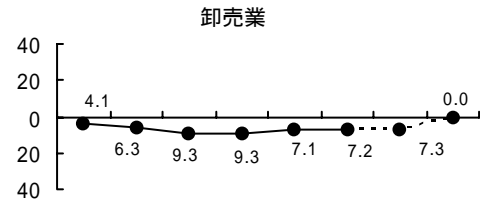
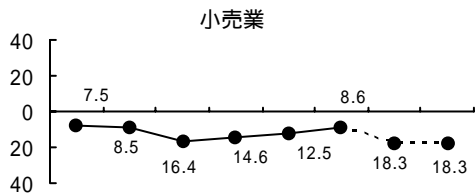
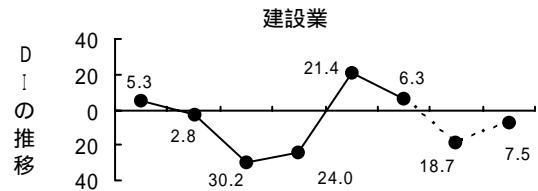
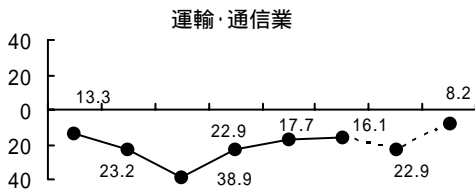
### 非製造業の内訳



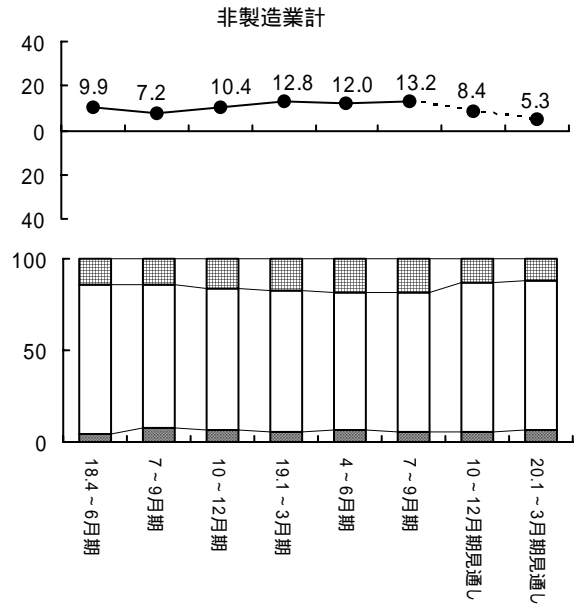
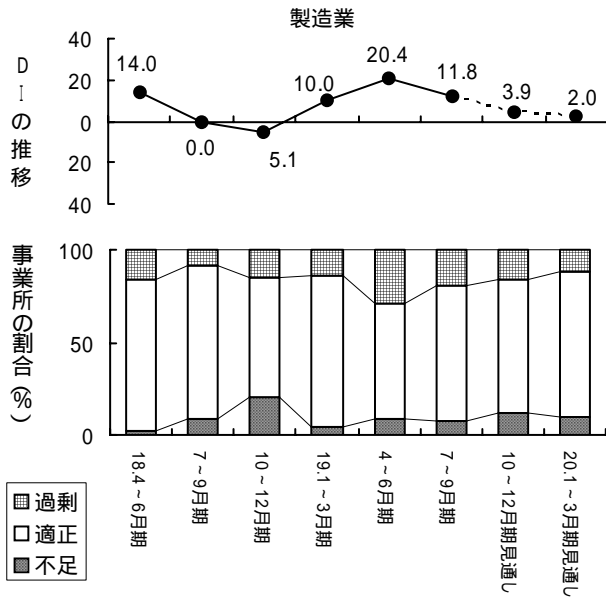
### 設問4-1 雇用人員



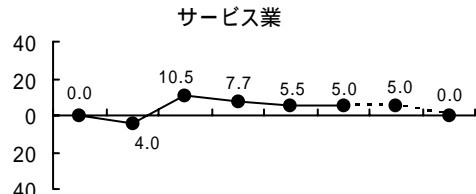
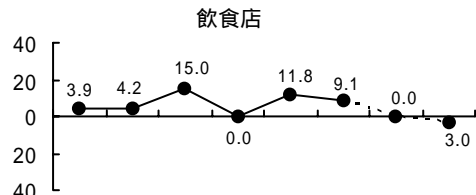
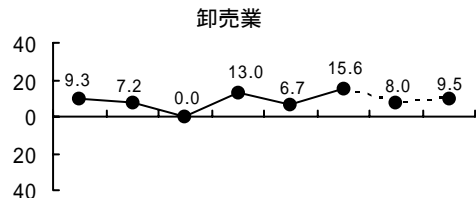
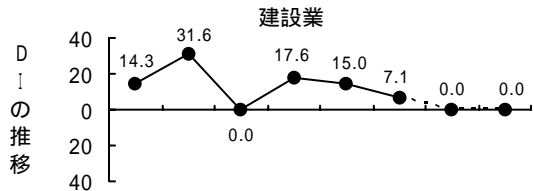
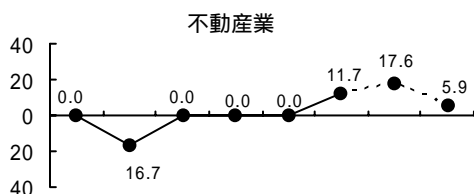
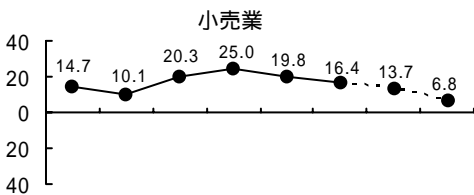
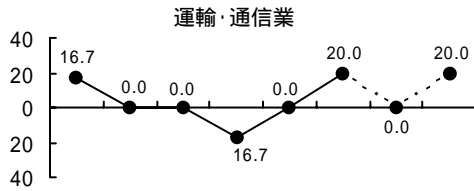
### 非製造業の内訳



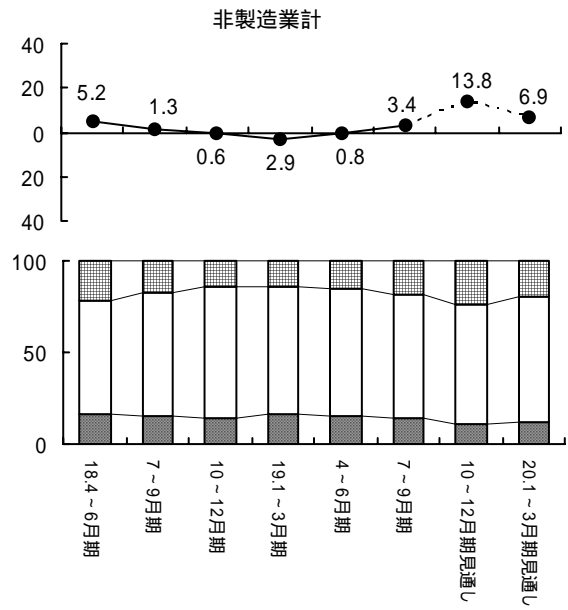
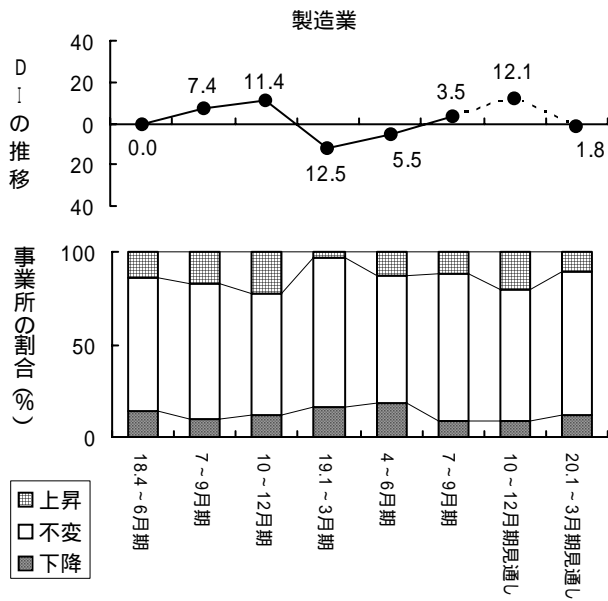
設問4 - 2 製(商)品在庫



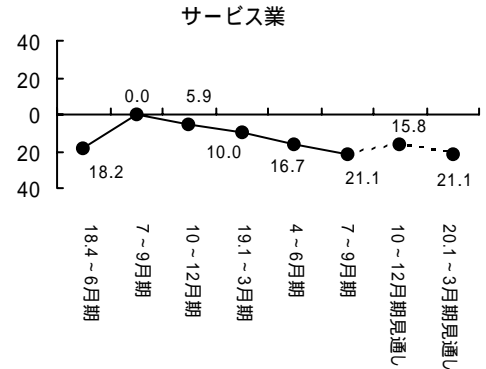
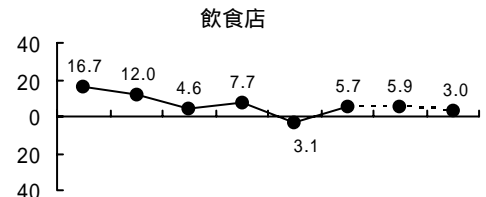
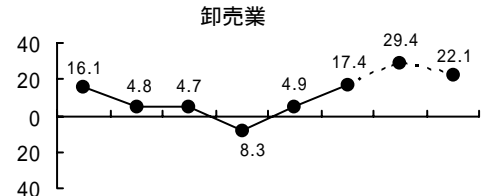
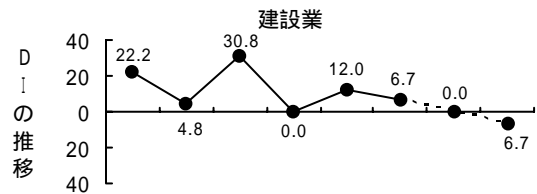
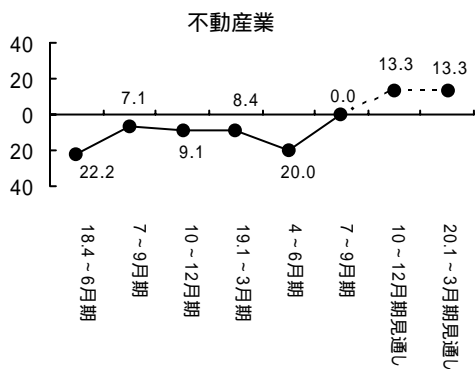
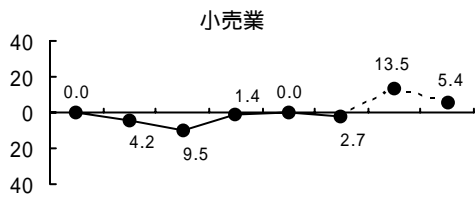
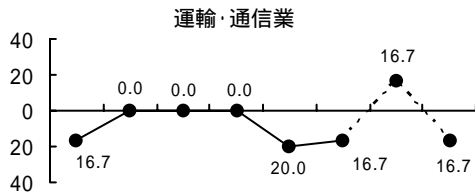
非製造業の内訳



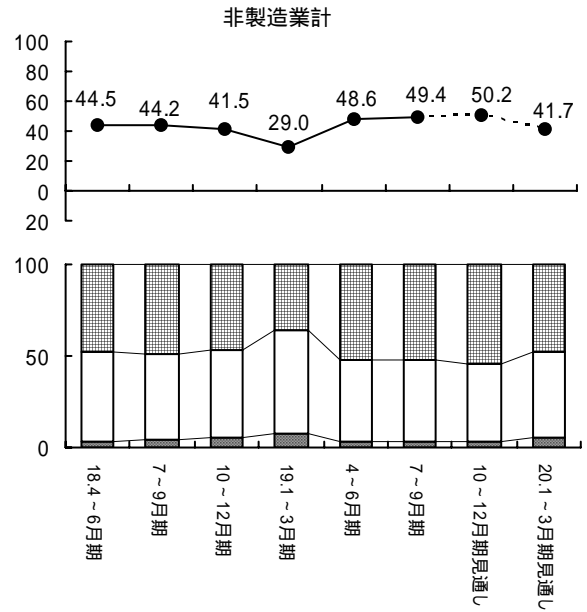
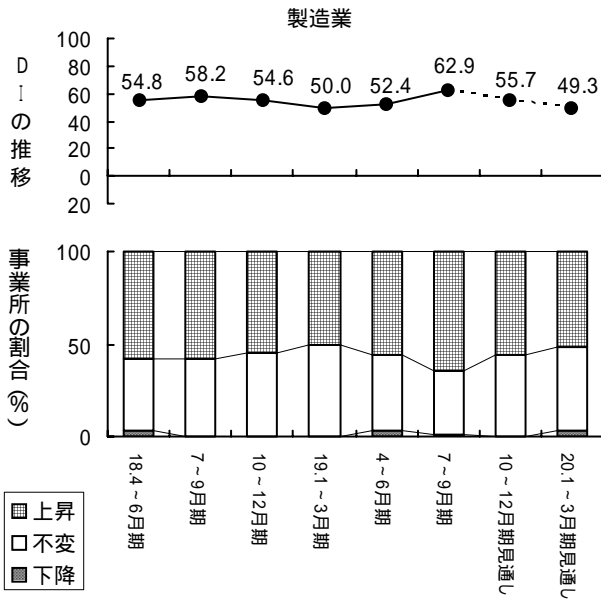
設問4 - 3 製(商)品価格



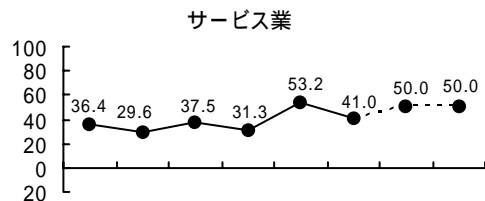
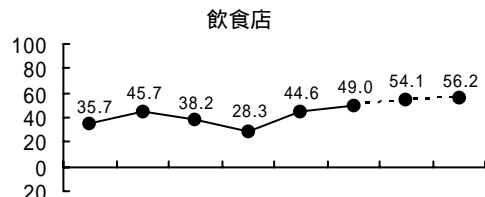
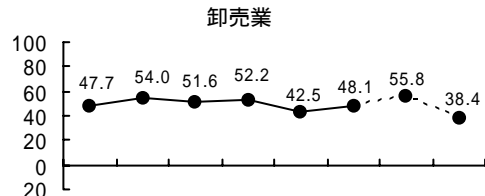
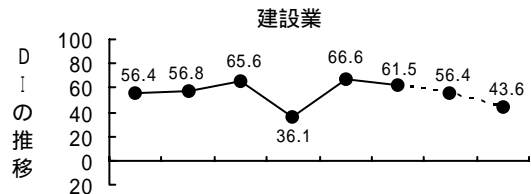
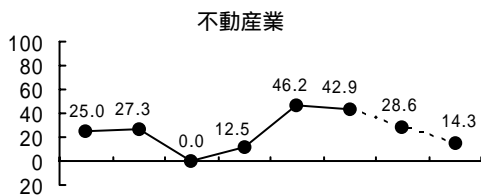
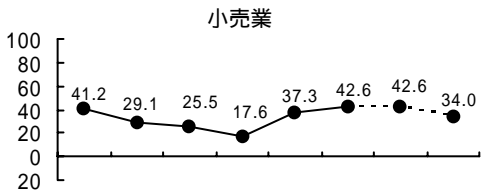
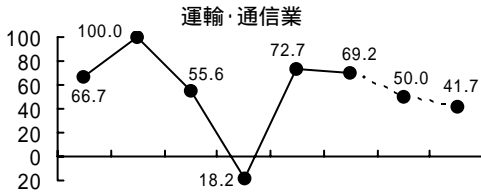
非製造業の内訳



### 設問4 - 4 原材料価格

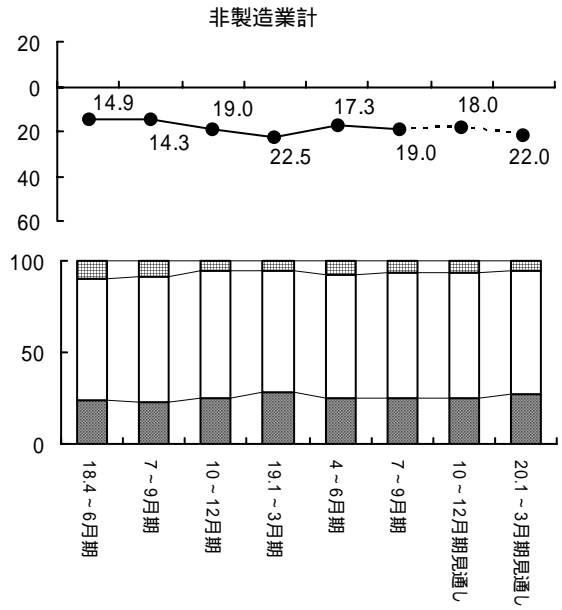
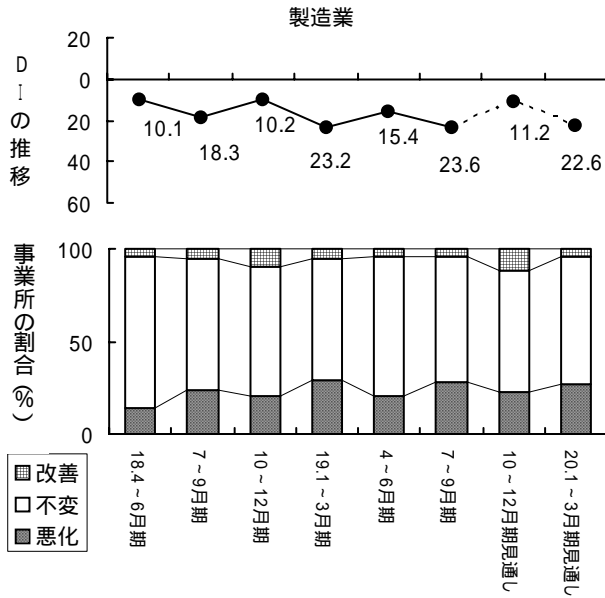


### 非製造業の内訳

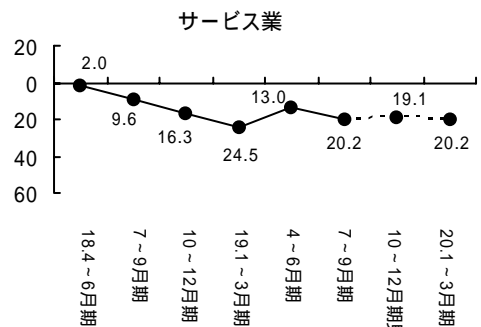
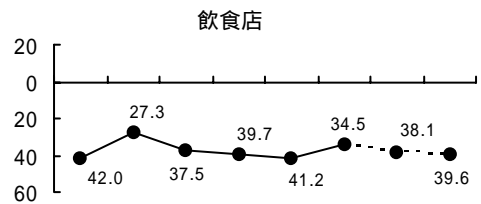
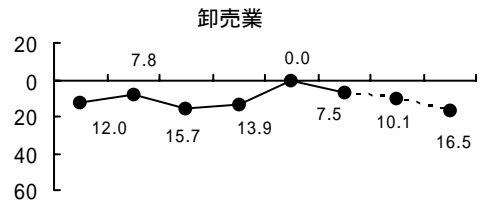
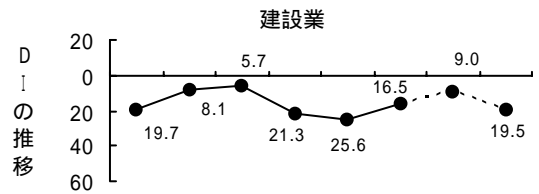
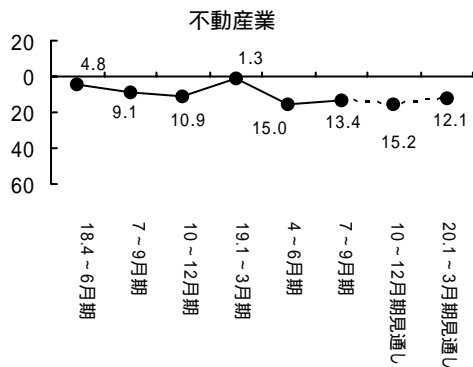
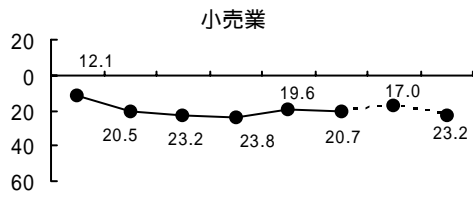
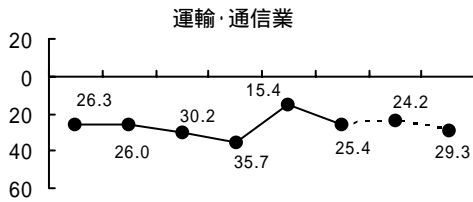




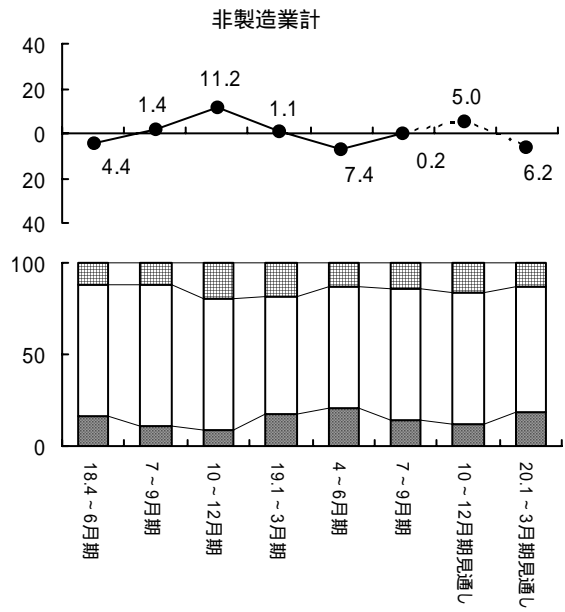
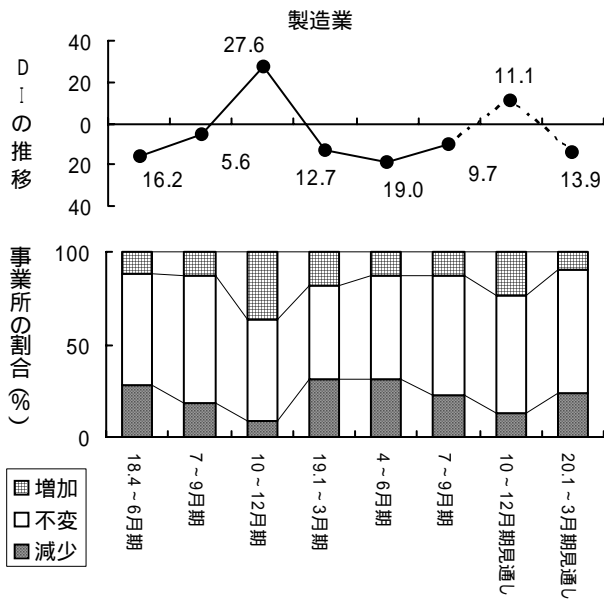
### 設問4 - 5 資金繰り



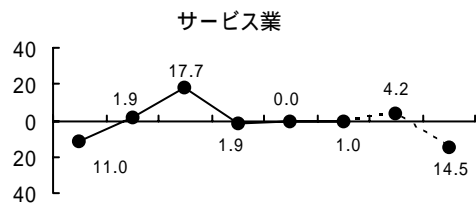
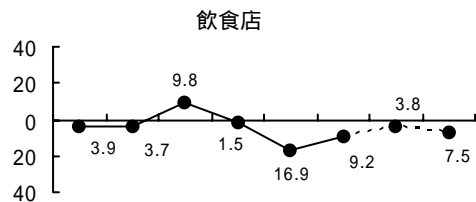
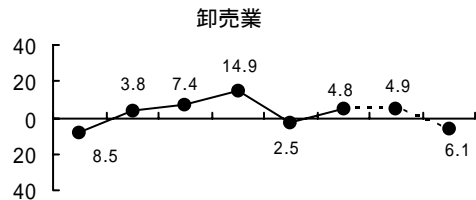
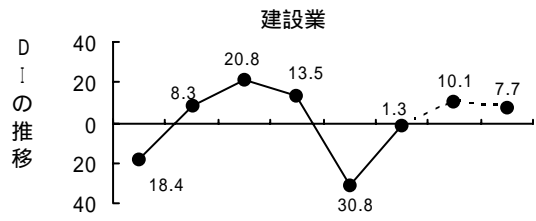
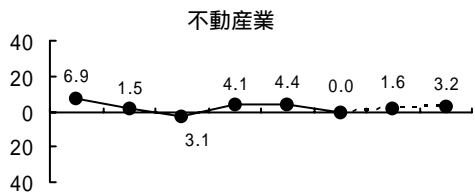
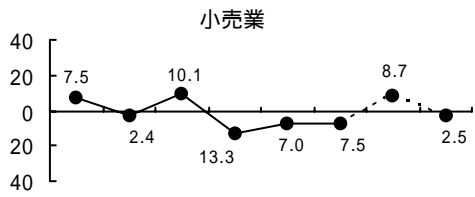
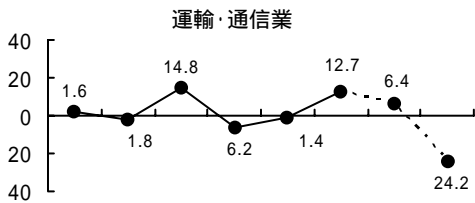
### 非製造業の内訳



**設問4 - 6 労働時間**

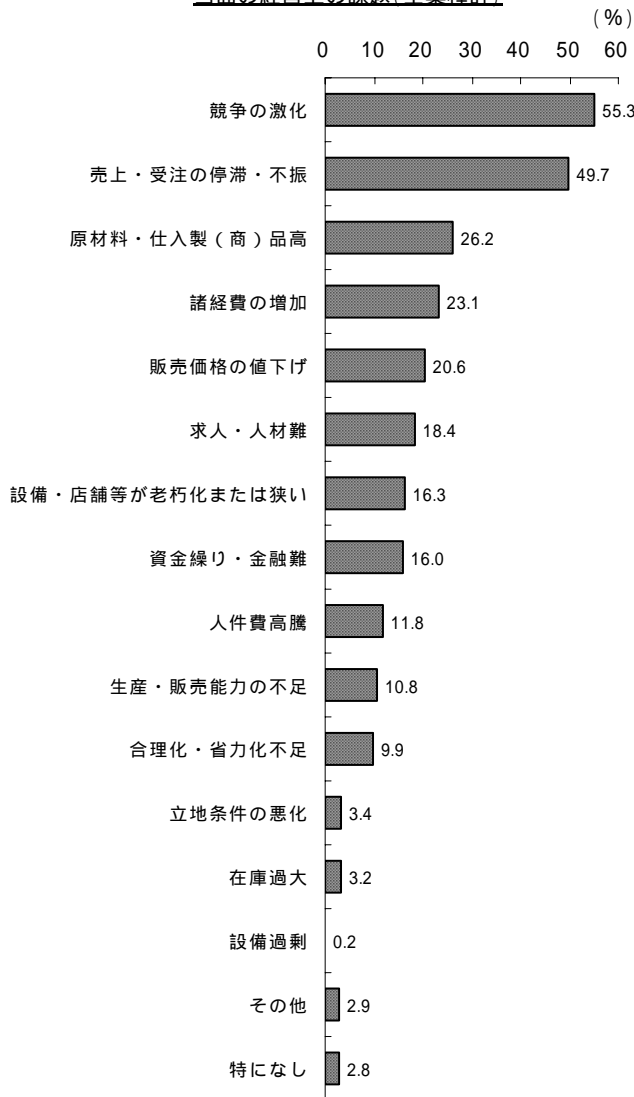


**非製造業の内訳**

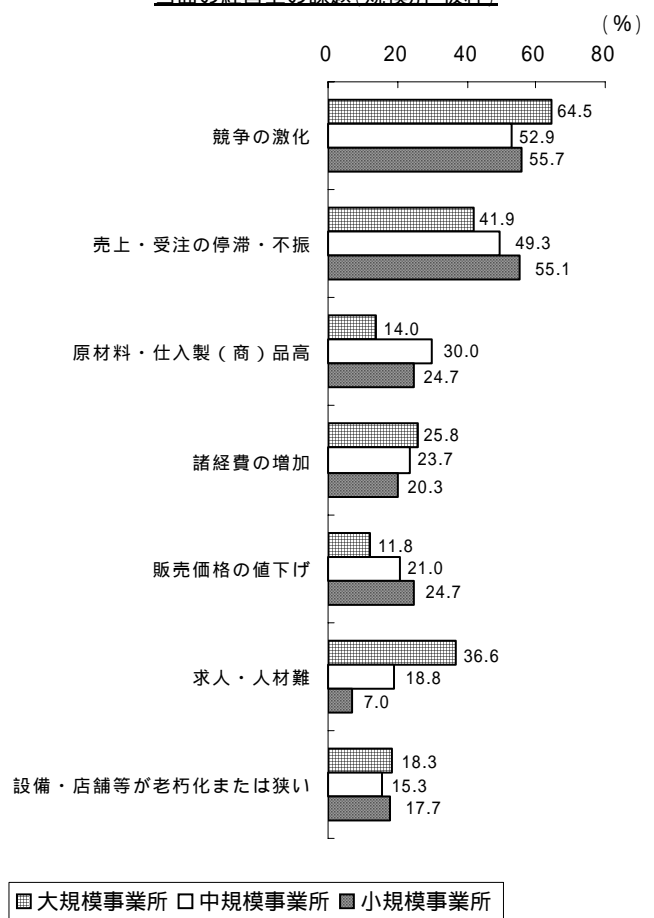


# 経営上の課題

当面の経営上の課題(全業種計)



当面の経営上の課題(規模別・抜粋)



当面の経営上の課題(業種別・抜粋)

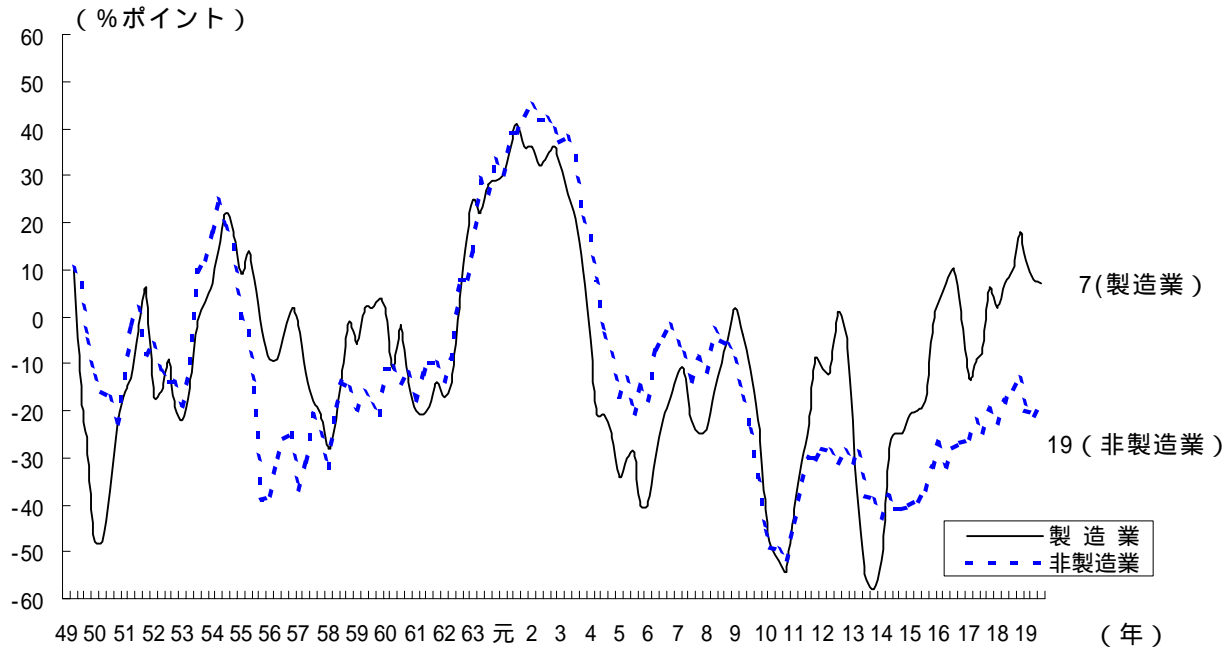
<b>製造業</b> 1 原材料・仕入製(商)品高 (56.6%) 2 売上・受注の停滞・不振 (46.1%) 3 競争の激化 (36.8%)	<b>非製造業計</b> 1 競争の激化 (57.9%) 2 売上・受注の停滞・不振 (50.2%) 3 諸経費の増加 (23.4%)	<b>建設業</b> 1 売上・受注の停滞・不振 (72.5%) 2 競争の激化 (68.8%) 3 販売価格の値下げ (33.8%)
<b>運輸・通信業</b> 1 競争の激化 (54.4%) 2 諸経費の増加 (45.6%) 3 売上・受注の停滞・不振 (38.2%)	<b>卸売業</b> 1 競争の激化 (64.7%) 2 売上・受注の停滞・不振 (57.6%) 3 原材料・仕入製(商)品高 (38.8%)	<b>小売業</b> 1 競争の激化 (54.1%) 2 売上・受注の停滞・不振 (42.4%) 3 求人・人材難 (25.9%)
<b>飲食店</b> 1 売上・受注の停滞・不振 (50.9%) 2 競争の激化 (49.1%) 3 原材料・仕入製(商)品高 (42.1%)	<b>不動産業</b> 1 競争の激化 (45.7%) 2 売上・受注の停滞・不振 (31.4%) 2 諸経費の増加 (31.4%)	<b>サービス業</b> 1 競争の激化 (62.9%) 2 売上・受注の停滞・不振 (53.6%) 3 求人・人材難 (29.9%)

## ( 2 ) 東北、全国の調査結果

### 東北

日本銀行仙台支店「東北地区企業短期経済観測調査」(平成19年10月1日)

東北地区の業況判断D Iの推移(日銀仙台支店「企業短期経済観測調査結果 - 東北地区6県 - 」)



業況判断D I (東北)

		前回(H19.6)調査		今回(H19.9)調査	
		最近	先行き	最近	先行き
製造業	大企業	22	16	35( 13) 1	13( 22) 2
	中堅・中小企業	6	8	3( 3)	4( 1)
	製造業計	8	9	7( 1)	5( 2)
非製造業	大企業	16	8	5( 21)	17( 12)
	中堅・中小企業	21	19	21( 0)	22( 1)
	非製造業計	21	17	19( 2)	20( 1)
全産業・全規模合計		10	7	10( 0)	11( 1)

D I値は、「良い」回答者構成比(%)から「悪い」回答者構成比(%)を差し引いた値。

値が小さいほど、業況判断は悪いということになる。 はマイナスを表す。

( )内は変化幅(差)を表す。 1は前回の「最近」と今回の「最近」との変化幅。  
2は今回の「最近」と今回の「先行き」との変化幅。

日本銀行仙台支店「経済の動き」(平成19年9月10日)

東北地区6県(青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島)

#### 概況

東北地域の景気は、地域差がみられるものの、緩やかながら着実な回復を続けている。

最終需要の動向をみると、住宅投資が弱めの動きとなっているものの、設備投資は製造業を中心に増加しているほか、公共投資も足もと前年を上回っている。また、個人消費は底堅く推移している。こうした中、生産が増加を続けているほか、雇用情勢も改善傾向にある。

#### (1) 個人消費

個人消費は、底堅く推移している。

#### (2) 住宅投資

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

#### (3) 公共投資

公共投資は、足もと前年を上回っている。

#### (4) 生産

生産(鉱工業生産)は、増加を続けている。

#### (5) 雇用・家計所得環境

雇用情勢をみると、労働需給は引き続き改善傾向にある。なお、大型小売店の新規出店が一服していることもあり、有効求人倍率はこのところ横ばい圏内で推移している。

雇用者所得は、製造業が増加傾向にあるほか、非製造業も基調としては前年比マイナス幅が縮小しており、全体として緩やかな改善を続けている。

#### (6) 金融面の動向

預金動向は、法人預金や公金預金が前年を下回っているものの、個人預金が増加していることから、全体では前年を上回っている。

貸出動向は、地公体向けが引き続き増加している一方、法人向けの減少や個人向けの増勢鈍化から、全体では前年を下回っている。この間、貸出金利は、緩やかに上昇している。

日本銀行仙台支店「経済の動き」「企業短期経済観測調査 - 東北地区6県」についての詳しい情報は、日本銀行仙台支店のHP

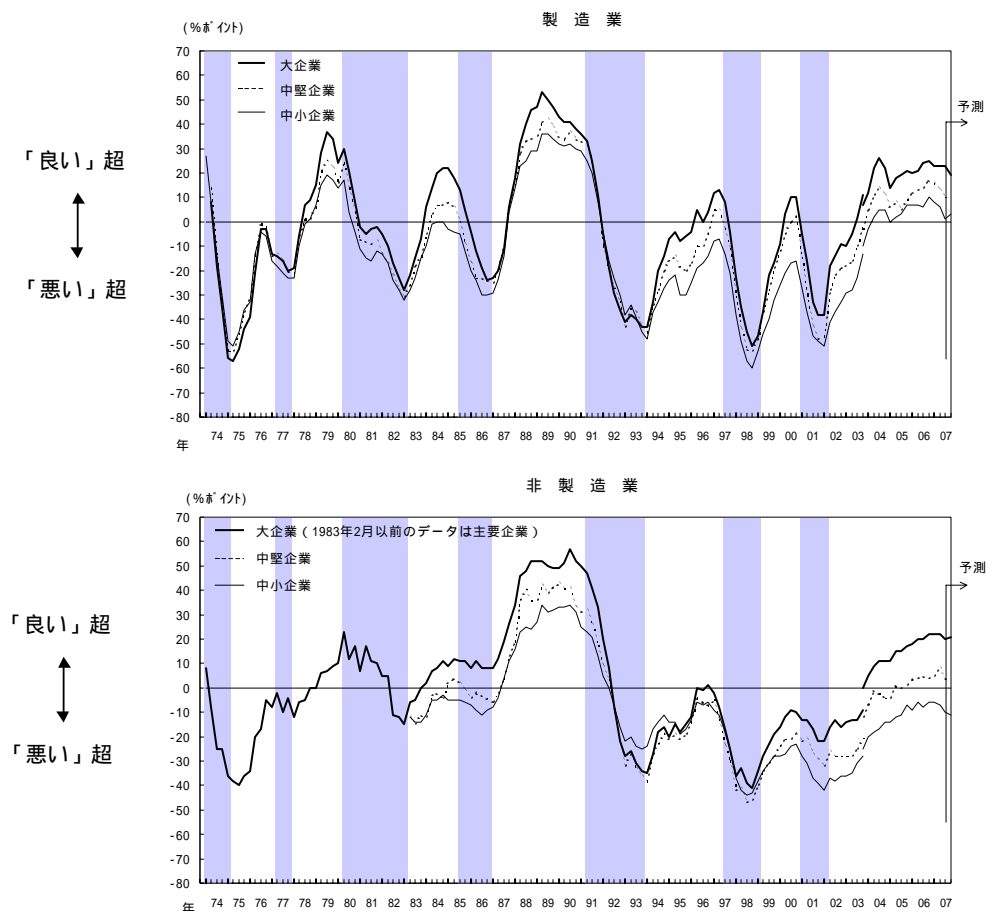
<http://www3.boj.or.jp/sendai/>

を参照してください。

全国

日本銀行「企業短期経済観測調査」(平成19年10月1日)

業況判断の推移(日銀短観 上:製造業 下:非製造業)



(注)グラフ中の網掛けは、景気後退期(内閣府調べ)

業況判断D.I.(日銀短観:全国)

		前回(H19.6)調査		今回(H19.9)調査	
		最近	先行き	最近	先行き
製造業	大企業	23	22	23( 0) 1	19( 4) 2
	中堅企業	13	14	10( 3)	10( 0)
	中小企業	6	4	1( 5)	3( 2)
	製造業計	13	12	9( 4)	9( 0)
非製造業	大企業	22	23	20( 2)	21( 1)
	中堅企業	8	7	4( 4)	3( 1)
	中小企業	7	10	10( 3)	11( 1)
	非製造業計	3	1	1( 4)	2( 1)
全産業・全規模合計		7	6	4( 3)	3( 1)

D.I.値は、「良い」回答者構成比(%)から「悪い」回答者構成比(%)を差し引いた値。

値が小さいほど、業況判断は悪いということになる。 はマイナスを表す。

( )内は変化幅(差)を表す。 1は前回の「最近」と今回の「最近」との変化幅。  
2は今回の「最近」と今回の「先行き」との変化幅。

日本銀行「企業短期経済観測調査」についての詳しい情報は、日本銀行のHP

[http://www.boj.or.jp/type/stat/boj\\_stat/tk/index.htm](http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/tk/index.htm)

を参照してください。



(3) 主要経済指標

主要経済指標グラフ

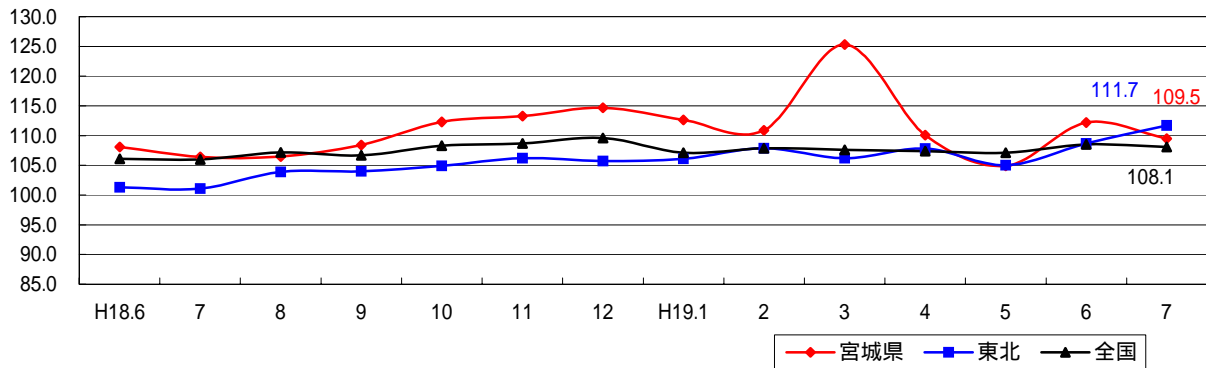
**鉱工業生産指数(宮城)** (資料: 宮城県統計課)

宮城県における7月の鉱工業生産指数は平成12年を100として109.5となり、前月比で2.4%と、2ヶ月ぶりの下降となった。前年同月比では3.0%と2ヶ月連続の上昇となっている。

業種別にみると、前月と比べて上昇した主な業種は「非鉄金属工業(上昇率13.1%)」「電気機械工業(同10.8%)」「窯業・土石製品工業(同9.0%)」、低下した主な業種は「鉄鋼業(低下率28.9%)」「その他製品工業(同15.3%)」「輸送機械工業(同14.1%)」となっている。

(平成12年 = 100.0)

鉱工業生産指数(平成12年 = 100) 季節調整値

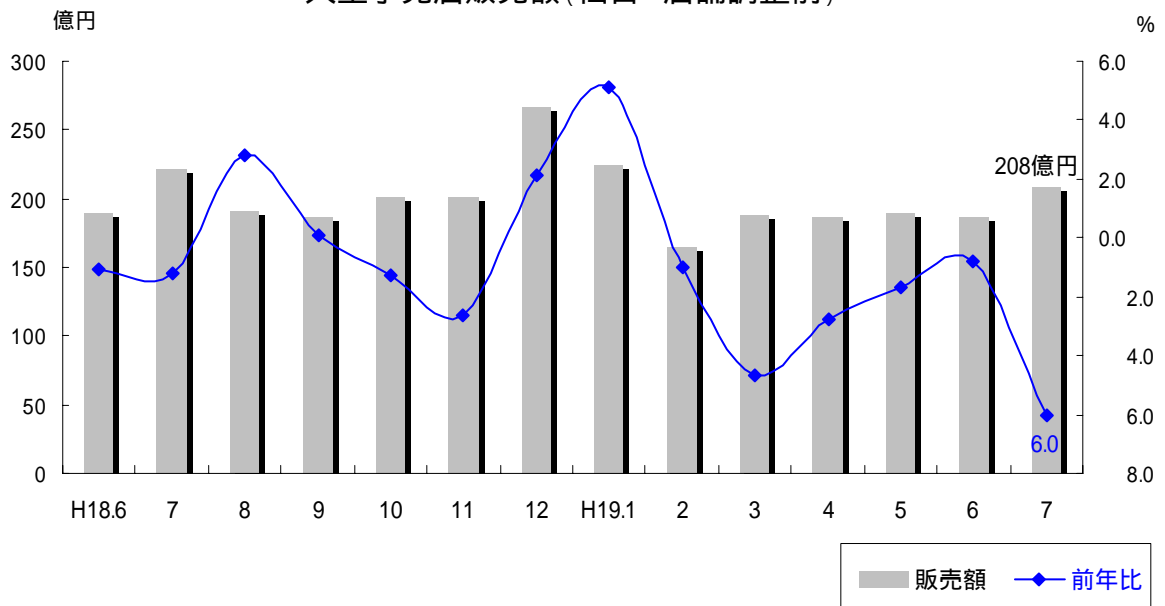


指数	季節調整済指数			原指数		
	19年6月	19年7月	前月比(%)	18年7月	19年7月	前年同月比(%)
宮城県	112.2	109.5	2.4	107.8	111.0	3.0
東北	108.7	111.7	2.8	102.6	114.4	11.5
全国	108.5	108.1	0.4	106.2	109.6	3.2

**大型小売店販売額(仙台)** (資料: 経済産業省)

百貨店+スーパー 7月の、百貨店とスーパーの販売額の合計金額は208億円で、前年同月比で6.0%の減少となった。

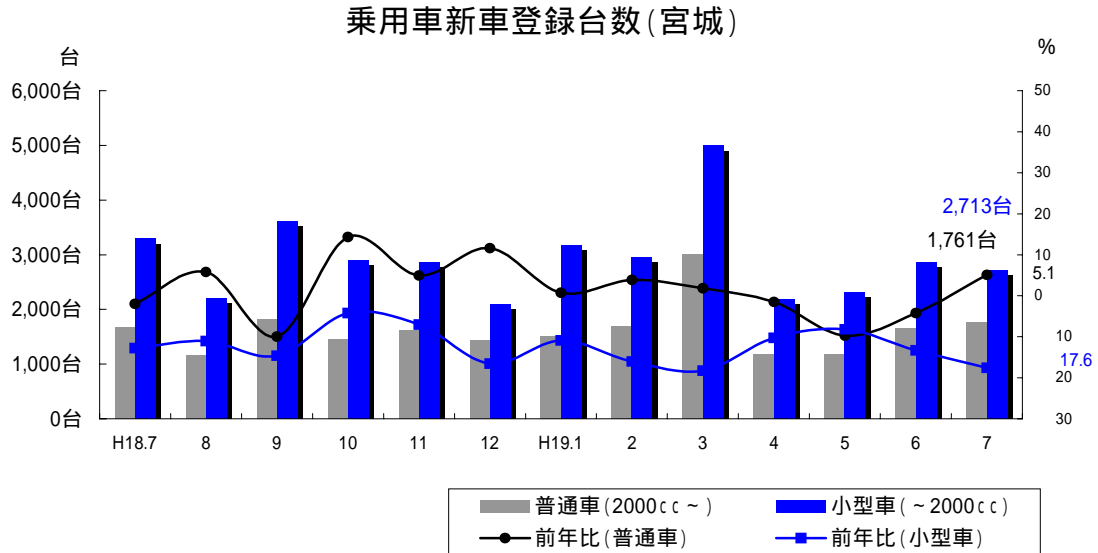
大型小売店販売額(仙台 店舗調整前)





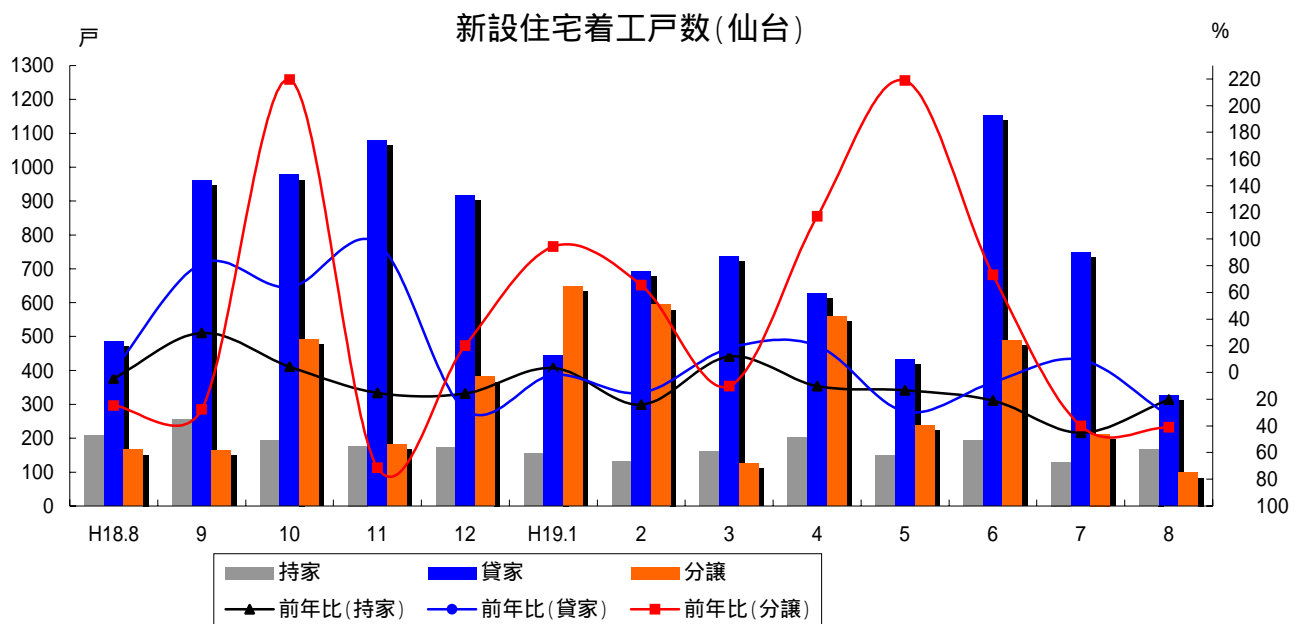
### 乗用車新車登録台数（宮城）（資料：自動車販売協会連合会宮城県支部）

7月の乗用車新車登録台数は4,474台で、前年同月比で9.9%の減少となった。排気量2,000ccを超える普通車は1,761台で前年同月比5.1%の増加、2,000cc以下の小型車は2,713台で前年同月比17.6%の減少となっている。



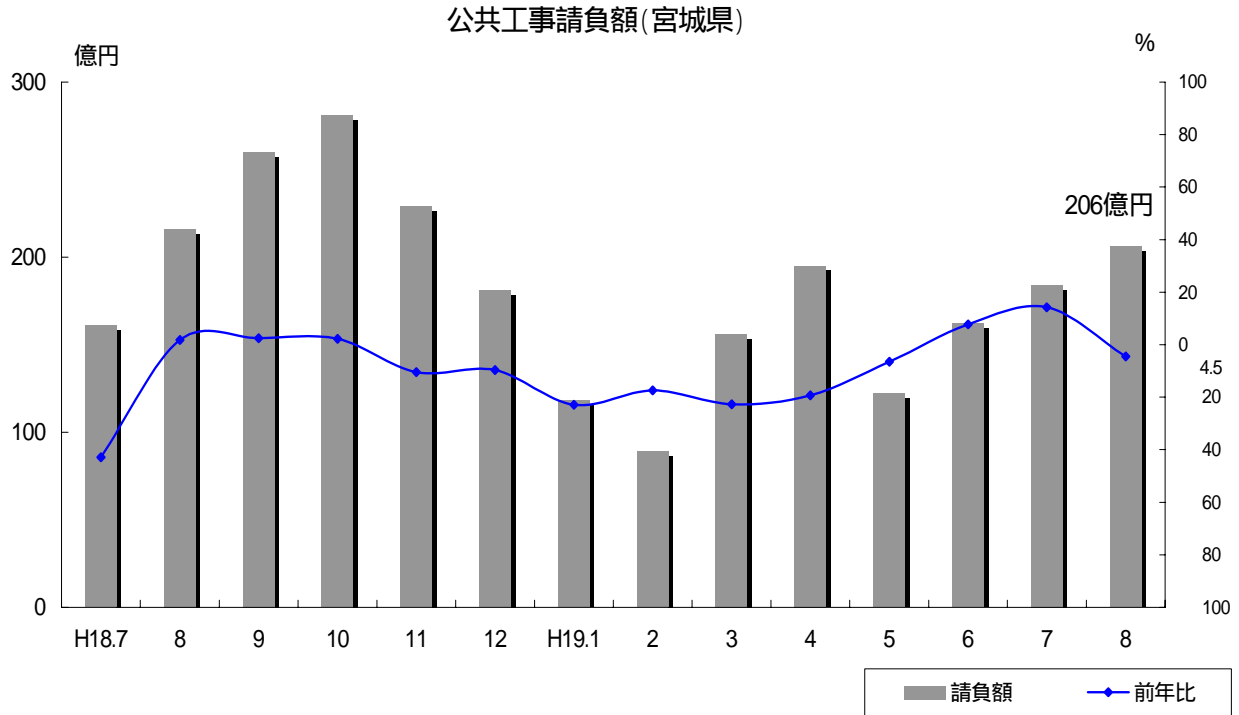
### 新設住宅着工戸数（仙台）（資料：(財)建設物価調査会）

8月の新設住宅着工戸数は590戸で、前年同月比で31.4%の減少となった。主な利用関係別についてみると、「持家」が166戸で前年比20.2%の減少、「貸家」は326戸で前年比32.8%の減少、「分譲」は98戸で前年比41.0%の減少となった。



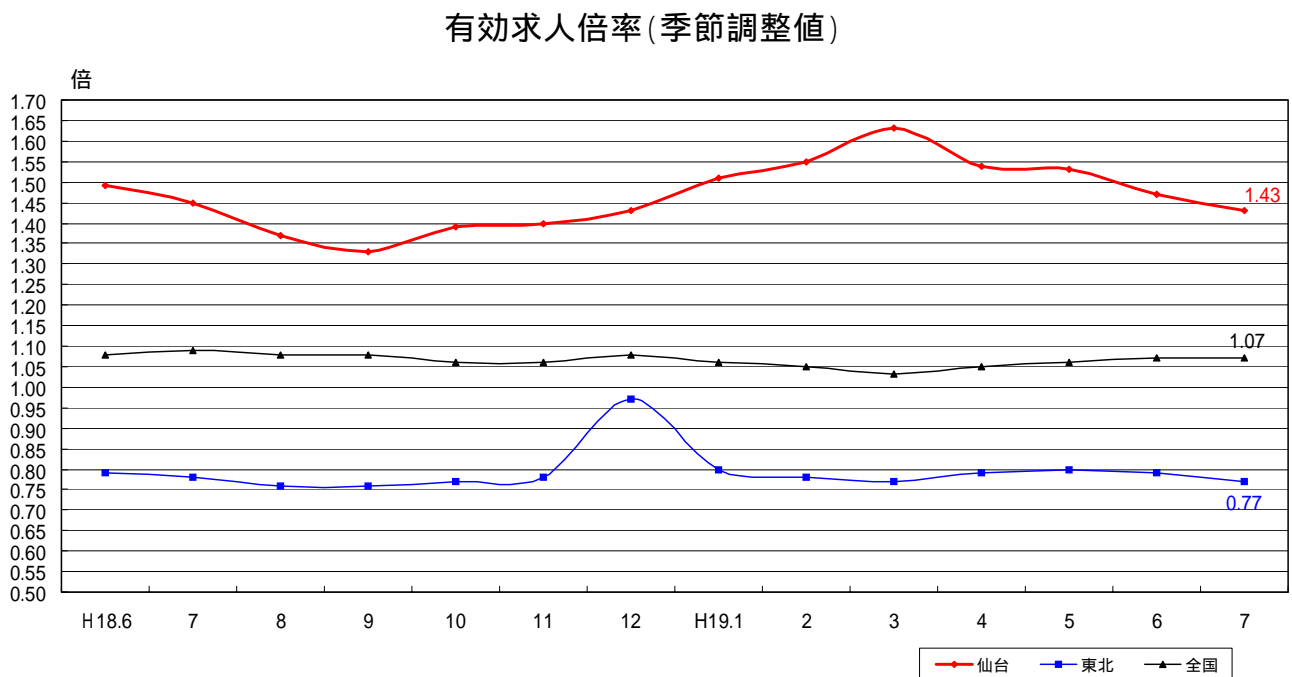
## 公共工事請負額（宮城）（資料：東日本建設業保証（株））

8月の公共工事請負額（宮城県内）は206億円で、前年同月比で4.5%の減少となった。



## 有効求人倍率（仙台及び周辺市町村）（資料：仙台公共職業安定所）

7月の仙台公共職業安定所管内（仙台市、名取市、岩沼市、亶理町、山元町）の有効求人倍率（当課の推計 パートを含む 季節調整値）は1.43倍で、前月比で0.04ポイントの下降となった。

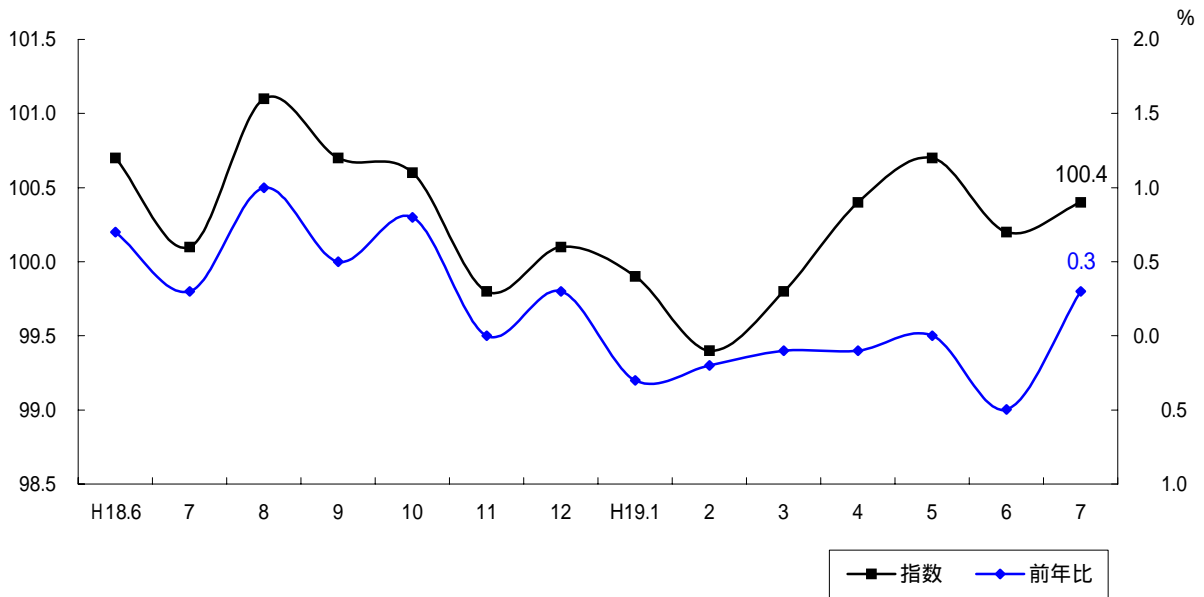


## 消費者物価指数（仙台）（資料：宮城県統計課）

7月の消費者物価総合指数は、平成17年を100として100.4となり、前月と比べ0.2%の上昇となった。また、前年同月比では0.3%の上昇となった。

10大費目別に前年同月比をみると、保健医療、諸雑費などが上昇となり、教養娯楽、被服及び履物などが下落した。

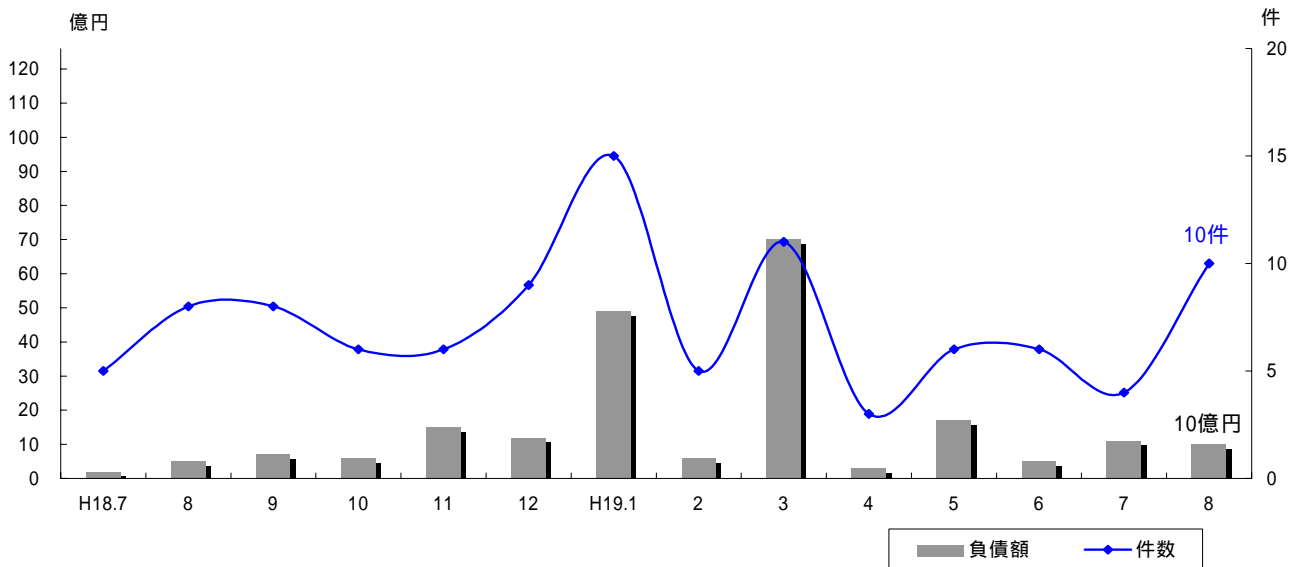
消費者物価指数（仙台）（平成17年 = 100）



## 企業倒産（仙台）（資料：(株)東京商工リサーチ）

8月の負債額1,000万円以上の倒産件数は10件、負債総額は10億円となった。これは前年同月比で、件数では2件の増加、負債総額は約4億円の増加となっている。

企業倒産（仙台）



主要経済指標一覧表

	生 産									個 人 消 費					
	鉱工業生産指数(平成12年 = 100 ) (季節調整済,前年比は原指数)									大型小売店販売額(前年比は店舗調整前) (百貨店)					
	全 国			東 北			宮 城			全 国		東 北		仙 台	
	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	販売額 (億円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)
平成14年	92.0	-	1.3	94.3	-	0.1	94.5	-	0.2	93,652	2.7	365,839	8.3	129,992	5.2
平成15年	95.0	-	3.3	97.4	-	3.3	99.6	-	5.4	91,067	2.8	343,133	6.2	125,081	3.8
平成16年	100.2	-	5.5	102.7	-	5.4	105.7	-	6.1	88,536	2.8	329,872	3.9	122,894	1.7
平成17年	101.3	-	1.1	102.2	-	0.5	105.8	-	0.1	87,629	1.0	320,221	2.9	120,432	2.0
平成18年	106.2	-	4.8	103.1	-	0.9	110.5	-	4.4	86,440	1.4	304,892	4.8	110,282	8.4
18年1月～3月	103.8	0.4	3.0	102.0	1.4	0.7	113.2	5.3	8.6	21,155	0.2	77,498	4.0	27,220	6.8
4月～6月	105.2	1.3	4.7	102.4	0.4	0.1	108.0	4.6	3.0	20,239	1.8	71,274	3.4	25,343	8.6
7月～9月	106.6	1.3	5.6	102.9	0.5	0.2	107.1	0.8	0.8	20,440	0.8	71,391	4.3	26,233	7.3
10月～12月	108.9	2.2	6.0	105.1	2.1	2.2	113.4	5.9	5.4	24,605	2.4	84,729	6.9	31,485	10.6
19年1月～3月	107.5	1.3	3.1	106.9	1.7	4.3	116.3	2.6	2.5	20,845	1.5	72,564	6.4		
4月～6月	107.6	0.1	2.3	107.1	0.2	4.6	109.2	6.1	1.2	20,132	0.5	66,096	7.3		
平成18年4月	104.9	0.6	4.1	103.5	0.1	0.5	109.2	4.5	2.9	6,798	1.6	24,205	3.0	8,768	8.8
5月	104.6	0.3	4.7	102.0	1.4	1.4	106.6	2.4	3.4	6,716	1.8	23,989	2.4	8,647	7.3
6月	106.1	1.4	5.3	101.8	0.2	0.4	108.1	1.4	2.7	6,726	2.0	23,080	5.0	7,928	9.6
7月	106.0	0.1	5.6	101.5	0.3	0.8	106.4	1.6	2.9	8,385	1.5	27,965	4.0	10,973	6.7
8月	107.2	1.1	6.1	103.6	2.1	1.6	106.5	0.1	0.2	5,774	0.9	21,711	4.3	7,469	6.0
9月	106.7	0.5	5.1	103.5	0.1	0.1	108.4	1.8	0.4	6,282	0.3	21,715	4.7	7,792	9.2
10月	108.3	1.5	7.5	103.8	0.3	1.1	112.3	3.6	8.8	7,056	3.1	25,176	9.0	9,024	14.9
11月	108.7	0.4	5.2	105.8	1.9	2.4	113.3	0.9	4.5	7,599	1.2	25,758	8.7	9,101	15.1
12月	109.6	0.8	5.1	105.6	0.2	3.0	114.7	1.2	3.2	9,949	2.8	33,795	3.9	13,360	3.7
平成19年1月	107.1	2.3	4.4	106.0	0.4	5.6	112.6	1.8	1.1	7,657	0.7	27,431	2.6		
2月	107.9	0.7	3.1	108.5	2.4	6.4	110.9	1.5	2.0	5,843	0.1	19,608	6.4		
3月	107.6	0.3	2.0	106.2	2.1	1.4	125.3	13.0	7.9	7,346	3.2	25,525	10.1		
4月	107.4	0.2	2.2	107.8	1.5	4.4	110.1	12.1	1.4	6,598	2.9	21,843	9.8		
5月	107.1	0.3	3.8	105.0	2.6	4.1	104.9	4.7	0.7	6,573	2.1	21,957	8.5		
6月	108.5	1.3	1.0	108.7	3.5	5.3	112.2	7.0	2.3	6,961	3.5	22,295	3.4		
7月	108.1	0.4	3.2	111.7	2.8	11.5	109.5	2.4	3.0	7,906	5.7	24,769	11.4		
8月															
9月															
資 料	経済産業省			東北経済産業局			宮城県			経済産業省					

大型小売店販売額の仙台市の平成19年1月以降の数値は、百貨店・スーパーを合算したものを次項スーパーの欄に記載しています。

個人消費

大型小売店販売額(前年比は店舗調整前) (スーパー)						乗用車新車登録台数									
全国		東北		仙台		全国		東北		宮城					
販売額 (億円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)	販売額 (百万円)	前年比 (%)	総数 (台)	前年比 (%)	総数 (台)	前年比 (%)	総数 (台)	前年比 (%)	普通車 (台)	前年比 (%)	小型車 (台)	前年比 (%)
126,677	0.4	891,672	4.8	126,742	0.2	3,483,057	0.9	245,448	4.4	64,209	4.1	19,022	16.5	45,187	2.2
126,526	0.1	912,149	2.3	127,360	0.5	3,415,821	1.9	242,352	1.3	63,956	0.4	20,154	6.0	43,802	3.1
126,137	0.3	912,078	0.0	126,809	0.4	3,377,465	1.1	235,408	2.9	63,163	1.2	22,516	11.7	40,647	7.2
125,654	0.4	898,239	1.5	124,673	1.7	3,353,586	0.7	229,038	2.7	61,471	2.7	20,013	11.1	41,458	2.0
125,010	0.5	905,903	0.9	131,540	5.5	3,126,236	6.8	213,513	6.8	57,930	5.8	19,498	2.6	38,432	7.3
30,021	2.2	220,451	2.1	30,608	0.4	1,007,291	2.2	71,036	1.6	19,288	1.2	6,089	6.7	13,199	1.6
30,839	0.1	221,848	1.4	32,077	4.0	687,041	10.0	47,483	10.1	12,497	10.2	4,238	6.9	8,259	11.8
31,021	0.6	229,630	2.6	33,547	7.4	755,157	9.4	51,054	10.4	13,767	10.1	4,659	3.6	9,108	13.1
33,129	0.6	233,973	1.5	35,307	10.8	676,747	6.9	43,940	6.6	12,378	2.7	4,512	10.0	7,866	8.8
30,604	1.9	227,899	3.4	57,827	0.0	900,893	10.6	62,361	12.2	17,340	10.1	6,214	2.1	11,126	15.7
31,173	1.1	225,550	1.7	56,380	1.8	629,290	8.4	42,745	10.0	11,380	8.9	4,019	5.2	7,361	10.9
10,242	0.1	73,759	0.5	10,445	1.2	200,773	10.9	14,537	9.6	3,638	11.2	1,205	4.1	2,433	14.3
10,273	0.3	74,581	1.8	10,691	4.5	213,916	10.0	14,427	13.4	3,824	14.6	1,301	14.9	2,523	14.5
10,324	0.4	73,509	2.0	10,942	6.1	272,352	9.2	18,519	7.9	5,035	5.7	1,732	1.9	3,303	7.5
10,708	0.6	75,137	0.9	11,119	4.9	266,944	11.5	18,866	9.3	4,968	9.4	1,676	2.0	3,292	12.8
10,643	1.4	83,535	4.0	11,637	9.4	188,442	7.3	12,312	9.3	3,357	5.9	1,156	5.8	2,201	11.1
9,669	1.2	70,958	2.9	10,791	8.1	299,771	8.8	19,876	12.1	5,442	13.1	1,827	10.0	3,615	14.6
10,128	0.7	72,170	1.9	11,045	13.5	221,218	7.2	15,570	5.9	4,359	1.3	1,460	14.3	2,899	4.2
10,192	0.4	71,942	0.5	11,038	10.8	241,820	6.1	16,174	6.1	4,484	3.0	1,613	4.9	2,871	7.0
12,808	0.6	89,862	1.9	13,224	8.7	213,709	7.4	12,196	8.0	3,535	7.0	1,439	11.6	2,096	16.6
11,279	1.5	85,294	4.0	22,508	5.1	199,870	10.4	14,041	7.6	4,687	7.4	1,514	0.7	3,173	10.9
9,282	2.4	69,375	3.4	16,546	1.0	281,094	7.7	17,308	8.6	4,655	9.8	1,697	3.8	2,958	16.0
10,044	2.0	73,231	2.6	18,774	4.7	419,929	12.4	31,012	15.9	7,998	11.8	3,003	1.8	4,995	18.3
10,308	0.6	75,123	1.8	18,667	2.8	183,562	8.6	13,231	9.0	3,369	7.4	1,187	1.5	2,182	10.3
10,467	1.9	76,147	2.1	19,003	1.7	199,041	7.0	13,181	8.6	3,491	8.7	1,174	9.8	2,317	8.2
10,398	0.7	74,279	1.0	18,710	0.8	246,687	9.4	16,333	11.8	4,520	10.2	1,658	4.3	2,862	13.4
10,707	0.0	74,756	0.5	20,767	6.0	244,239	8.5	16,476	12.7	4,474	9.9	1,761	5.1	2,713	17.6
経済産業省						(社)日本自動車販売協会連合会									

大型小売店販売額の仙台市の平成19年1月以降の数値は、百貨店・スーパーを合算したものです。

	家計消費						住宅投資							
	1世帯あたり消費支出(全世帯) (前年比は名目値)						新設住宅着工戸数							
	全国		東北		仙台		全国		東北		仙台			
	支出額 (円)	前年比 (%)	支出額 (円)	前年比 (%)	支出額 (円)	前年比 (%)	総数		総数		総数		持家	
戸数							前年比 (%)	戸数	前年比 (%)	戸数	前年比 (%)	戸数	前年比 (%)	
平成14年	305,953	0.8	294,310	0.7	321,736	4.3	1,151,016	1.9	70,876	6.4	12,055	3.4	2,342	4.4
平成15年	301,841	1.3	283,595	4.1	280,386	11.8	1,160,083	0.8	64,889	9.4	10,290	14.6	2,290	2.2
平成16年	302,975	0.4	293,172	4.5	303,273	8.8	1,189,049	2.5	64,492	0.5	10,903	6.0	2,422	5.8
平成17年	300,531	0.8	286,825	2.2	319,309	5.3	1,236,122	4.0	64,617	0.2	12,904	18.4	2,293	5.3
平成18年	294,943	1.9	274,927	4.1	289,537	9.3	1,290,391	4.4	67,005	3.7	14,937	15.8	2,353	2.6
18年1月～3月	292,462	1.8	282,596	0.6	304,216	1.6	284,212	4.9	12,573	0.6	3,192	37.7	466	1.7
4月～6月	295,270	1.3	283,782	0.8	292,568	11.4	334,243	8.6	18,741	7.7	3,645	3.5	645	8.6
7月～9月	285,870	3.1	264,096	6.0	269,023	10.9	330,278	0.7	17,658	3.9	3,523	19.9	699	8.9
10月～12月	306,171	1.2	269,235	10.3	292,343	13.0	341,658	5.2	18,033	1.7	4,577	10.9	543	9.3
19年1月～3月	294,266	0.6	284,586	0.7	295,866	2.7	279,067	1.8	12,534	0.3	3,690	15.6	446	4.3
4月～6月	296,660	0.5	293,065	3.3	316,352	8.1	325,480	2.8	16,820	10.3	4,091	12.2	547	15.2
平成18年4月	312,872	1.6	296,469	3.4	292,802	15.6	111,260	15.0	5,861	9.8	1,007	7.8	226	22.2
5月	292,114	1.2	281,740	4.0	306,714	13.2	108,652	6.7	5,553	0.7	859	15.8	172	6.0
6月	280,824	1.1	273,138	2.3	278,188	4.0	114,331	4.7	7,327	13.3	1,779	13.5	247	9.3
7月	292,328	0.8	271,176	3.4	286,491	14.0	106,649	7.5	5,989	3.6	1,280	19.3	237	3.9
8月	292,087	3.3	277,975	6.4	260,561	13.0	111,187	1.8	5,420	6.2	860	6.0	208	4.6
9月	273,194	5.2	243,138	8.4	260,016	4.9	112,442	4.0	6,249	10.0	1,383	45.6	254	29.6
10月	294,693	1.8	263,086	10.5	266,278	19.1	118,360	2.2	6,589	12.4	1,662	77.2	193	4.3
11月	282,860	0.3	242,142	10.4	280,962	9.7	115,392	4.0	5,608	9.6	1,444	3.8	177	15.3
12月	340,959	1.5	302,477	10.2	329,789	10.1	107,906	10.2	5,836	3.2	1,471	18.1	173	15.6
平成19年1月	296,472	0.6	268,544	7.8	321,048	3.6	92,219	0.7	3,883	10.3	1,247	33.2	154	3.4
2月	272,763	1.2	276,298	14.2	262,524	0.4	87,360	9.9	4,194	1.6	1,420	5.3	132	24.1
3月	313,563	0.1	308,916	1.8	304,026	3.8	99,488	5.5	4,457	8.3	1,023	12.8	160	11.9
4月	316,087	1.0	292,651	1.3	320,685	9.5	107,255	3.6	5,654	3.5	1,390	38.0	203	10.2
5月	293,231	0.4	293,233	4.1	274,308	10.6	97,076	10.7	4,601	17.1	820	4.5	149	13.4
6月	280,587	0.1	288,769	5.7	354,580	27.5	121,149	6.0	6,565	10.4	1,881	5.7	195	21.1
7月	291,632	0.2	294,372	8.6	287,572	0.4	81,714	23.4	5,058	15.5	1,141	10.9	130	45.2
8月	296,035	1.4	301,272	8.4	294,802	13.1	63,076	43.3	3,580	33.9	590	31.4	166	20.2
9月														
資料	総務省						国土交通省							

住宅投資				公共投資					雇用							
新設住宅着工戸数				公共工事請負金額					新規求人(パートを含む) (原数値)		有効求人倍率 (パートを含む)			所定外労働時間(製造業) (従業者規模30人以上)		
仙台				全国	東北	宮城		全国	仙台		全国	東北	仙台	全国	宮城	
貸家		分譲		前年(度)比 (%)		請負額 (百万円)	前年 (度)比 (%)	前年比 (%)	求人数 (人)	前年比 (%)	倍(季節調整値)			前年比 (%)	時間	前年比 (%)
戸数	前年比 (%)	戸数	前年比 (%)													
6,580	17.1	3,062	13.5	7.2	11.9	333,361	13.6	0.6	88,508	37.3	0.54	0.44	0.77	7.8	17.3	21.1
5,276	19.8	2,688	12.2	12.4	10.3	313,728	5.9	12.0	102,573	15.9	0.64	0.54	0.95	10.4	17.9	1.1
5,518	4.6	2,824	5.1	14.0	16.2	293,042	6.6	11.7	106,256	3.6	0.83	0.64	1.14	7.5	16.4	5.5
7,429	34.6	3,102	9.8	4.3	6.3	249,963	14.7	10.3	113,225	6.6	0.95	0.68	1.26	0.4	16.0	2.4
9,367	26.1	3,184	2.6	9.2	8.9	231,201	7.5	4.3	124,894	10.3	1.06	0.77	1.37	3.4	17.3	7.7
1,890	58.3	831	36.9	11.8	14.5	46,154	4.8	6.5	31,785	4.0	1.03	0.76	1.27	4.0	16.6	7.8
2,377	11.0	615	21.1	11.7	3.8	52,353	2.5	4.7	30,010	10.3	1.06	0.78	1.43	4.6	17.3	8.1
2,128	27.0	684	11.6	9.7	11.1	63,652	14.9	3.7	30,878	7.4	1.08	0.77	1.38	3.4	17.3	10.2
2,972	22.9	1,054	4.4	3.1	7.3	69,042	5.5	1.9	32,221	20.6	1.07	0.78	1.41	1.6	17.8	5.3
1,871	1.0	1,366	64.4	7.7	6.6	36,214	21.5	4.0	35,032	10.2	1.05	0.78	1.56	0.8	15.7	0.7
2,211	7.0	1,287	109.3	0.7	5.4	47,975	8.4	4.2	29,238	2.6	1.06	0.79	1.51	0.9	16.4	0.3
522	2.8	258	22.9	17.3	13.7	24,221	3.1	2.4	9,717	4.5	1.04	0.76	1.37	5.0	17.8	11.3
612	6.1	75	58.1	0.7	20.1	13,090	4.0	8.4	9,870	23.9	1.07	0.77	1.44	5.5	16.6	0.0
1,243	30.6	282	27.7	13.2	3.1	15,042	0.1	3.5	10,423	4.9	1.08	0.78	1.49	3.5	17.5	14.5
682	1.5	355	112.6	4.3	20.3	16,098	42.9	4.5	10,070	9.8	1.09	0.77	1.45	4.5	17.0	6.3
485	2.1	166	24.9	13.9	13.6	21,586	1.8	4.6	10,137	9.4	1.08	0.76	1.37	2.9	17.3	9.4
961	81.7	163	27.6	10.6	0.2	25,968	2.5	2.2	10,671	3.5	1.08	0.77	1.33	3.3	17.7	15.7
977	63.9	492	219.5	2.0	0.7	28,059	2.2	1.7	11,992	30.2	1.07	0.77	1.39	1.6	16.8	0.0
1,079	96.9	181	71.4	5.6	9.8	22,859	10.4	1.0	11,216	10.8	1.07	0.78	1.40	2.2	17.8	6.0
916	28.1	381	20.2	1.7	15.7	18,125	9.7	3.4	9,013	22.0	1.07	0.79	1.43	1.1	18.8	9.3
443	1.8	647	94.3	0.9	22.1	11,753	22.9	2.8	11,538	24.1	1.06	0.80	1.51	0.7	15.3	3.3
692	15.2	594	65.5	4.6	6.7	8,874	17.4	4.4	11,993	1.1	1.05	0.78	1.55	1.6	16.1	2.8
736	18.1	125	10.1	17.1	3.4	15,587	22.7	4.6	11,501	8.3	1.03	0.77	1.63	0.0	15.8	3.9
627	20.1	560	117.1	1.5	3.6	19,536	19.3	3.3	9,148	5.9	1.05	0.79	1.54	0.5	16.5	1.7
432	29.4	239	218.7	0.4	19.5	12,233	6.5	2.3	10,227	3.6	1.06	0.80	1.53	1.7	16.0	2.2
1,152	7.3	488	73.1	3.0	7.2	16,206	7.7	7.0	9,863	5.4	1.07	0.79	1.47	0.6	16.6	0.5
748	9.7	213	40.0	4.0	8.9	18,380	14.2	4.1	9,625	4.4	1.07	0.77	1.43	0.6	17.0	5.9
326	32.8	98	41.0	5.1	4.5	20,611	4.5	6.7			1.06	0.76				
国土交通省				保証事業 会社協会	東日本建設業保証(株)			厚生 労働省	仙台公共 職業安定所		厚生 労働省	東北 6県 労働局	仙台公 共職業 安定所	厚生 労働省	宮城県	

	物 価						金 融							
	消費者物価指数 (平成17年 = 100)						金融機関預金残高(未残)				金融機関貸出残高(未残)			
	全 国			仙 台			全 国	東 北	仙 台		全 国	東 北	仙 台	
	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	指数	前月比 (%)	前年比 (%)	前年(度)比 (%)		残高 (億円)	前年 (度)比 (%)	前年(度)比 (%)		残高 (億円)	前年 (度)比 (%)
平成14年	100.6	-	0.9	100.9	-	0.7	2.2	0.5	70,997	3.4	3.6	2.9	43,026	5.3
平成15年	100.3	-	0.3	100.9	-	0.0	1.9	0.4	68,154	4.0	3.7	2.2	45,068	4.7
平成16年	100.3	-	0.0	100.6	-	0.3	1.3	0.0	68,411	0.4	2.4	1.8	44,223	1.9
平成17年	100.0	-	0.3	100.0	-	0.6	1.5	0.3	68,741	0.5	1.1	0.4	44,618	0.9
平成18年	100.3	-	0.3	100.3	-	0.3	0.7	0.0	69,231	0.7	1.4	0.1	45,220	1.3
18年1月～3月	99.9	0.1	0.1	99.9	0.1	0.1	1.2	0.6	66,970	0.8	2.0	0.3	44,516	0.7
4月～6月	100.3	0.4	0.2	100.6	0.7	0.4	1.2	0.4	68,226	1.4	3.0	0.7	43,999	1.4
7月～9月	100.6	0.3	0.6	100.6	0.0	0.6	0.2	0.4	68,418	0.1	1.9	0.3	45,067	1.1
10月～12月	100.3	0.3	0.3	100.2	0.4	0.2	0.7	0.0	69,231	0.7	1.4	0.1	45,220	1.3
19年1月～3月	99.8	0.5	0.1	99.7	0.5	0.2	1.2	0.6	68,561	2.4	0.4	0.9	45,119	1.4
4月～6月	100.2	0.4	0.1	100.4	0.7	0.2	2.1	1.5			0.2	0.5		
平成18年4月	100.1	0.2	0.1	100.5	0.6	0.2	1.4	0.4	68,661	1.2	2.1	0.5	44,615	1.8
5月	100.4	0.3	0.1	100.7	0.2	0.4	1.2	0.4	67,705	1.5	2.6	1.0	44,379	1.6
6月	100.4	0.0	0.5	100.7	0.0	0.7	1.2	0.4	68,226	1.4	3.0	0.7	43,999	1.4
7月	100.1	0.3	0.3	100.1	0.6	0.3	0.5	0.7	67,830	1.6	2.3	0.3	44,160	0.9
8月	100.8	0.7	0.9	101.1	1.0	1.0	0.4	0.1	68,296	0.3	2.6	0.8	44,493	1.7
9月	100.8	0.0	0.6	100.7	0.4	0.5	0.2	0.4	68,418	0.1	1.9	0.3	45,067	1.1
10月	100.6	0.2	0.4	100.6	0.1	0.3	0.6	0.1	68,049	0.5	1.5	0.2	45,073	1.6
11月	100.1	0.5	0.3	99.8	0.8	0.0	0.4	0.2	68,271	0.3	1.5	0.3	45,049	2.1
12月	100.2	0.1	0.3	100.1	0.3	0.3	0.7	0.0	69,231	0.7	1.4	0.1	45,220	1.3
平成19年1月	100.0	0.2	0.0	99.9	0.2	0.3	0.8	0.3	68,770	1.7	1.3	0.5	45,131	2.4
2月	99.5	0.5	0.2	99.4	0.5	0.2	1.1	0.3	69,082	1.5	0.8	0.2	44,808	1.9
3月	99.8	0.3	0.1	99.8	0.4	0.1	1.2	0.6	68,561	2.4	0.4	0.9	45,119	1.4
4月	100.1	0.3	0.0	100.4	0.6	0.1	1.5	0.6	70,834	3.1	0.3	0.9	45,234	1.4
5月	100.4	0.3	0.0	100.7	0.3	0.0	1.9	0.8	69,564	2.7	0.1	1.0	45,009	1.4
6月	100.2	0.2	0.2	100.2	0.5	0.5	2.1	1.5			0.2	0.5		
7月	100.1	0.1	0.0	100.4	0.2	0.3								
8月														
9月														
資 料	総務省			宮城県			日本銀行	東北財務局	宮城県銀行協会		日本銀行	東北財務局	宮城県銀行協会	

金融機関預金・貸出残高の全国・東北には、信用組合・農林漁業金融機関・労働金庫分は含まない。



倒産（負債総額1千万円以上）											
倒産件数						負債額					
全国		東北		仙台		全国		東北		仙台	
件数 (件)	前年比 (%)	件数 (件)	前年比 (%)	件数 (件)	前年比 (%)	負債額 (億円)	前年比 (%)	負債額 (億円)	前年比 (%)	負債額 (万円)	前年比 (%)
19,087	0.4	1,271	3.6	180	6.5	137,824	16.6	5,413	3.4	8,808,700	37.3
16,255	14.8	912	28.2	117	35.0	115,818	16.0	3,704	31.6	8,176,800	7.2
13,679	15.8	790	13.4	118	0.9	78,177	32.5	3,239	12.6	6,223,300	23.9
12,998	5.0	810	2.5	125	5.9	67,035	14.3	2,731	15.7	3,095,900	50.3
13,245	1.9	793	2.1	96	23.2	55,006	17.9	2,407	11.9	2,636,600	14.8
3,348	5.4	187	6.5	29	3.3	14,062	29.3	488	11.4	305,800	19.1
3,281	1.7	193	9.0	25	30.6	15,202	1.0	642	28.1	1,862,800	74.2
3,250	2.8	220	6.3	21	30.0	10,103	27.5	681	24.0	136,700	72.0
3,366	2.0	193	1.0	21	27.6	15,639	14.0	596	5.3	331,300	71.5
3,440	2.7	196	4.8	31	6.9	13,518	3.9	639	30.8	1,242,100	306.2
3,616	10.2	200	3.6	15	40.0	13,001	14.5	1,022	59.3	245,900	86.8
1,087	14.9	61	4.7	8	33.3	4,268	7.6	164	59.4	235,500	816.3
1,083	1.0	65	3.0	6	40.0	7,123	17.7	296	105.9	1,252,800	172.5
1,111	8.0	67	17.3	11	45.0	3,811	24.2	182	5.6	374,500	35.9
1,051	2.6	73	7.4	5	44.4	3,100	35.3	279	41.1	18,000	77.2
1,169	1.5	73	5.8	8	27.3	4,075	25.3	299	28.3	52,300	57.0
1,030	4.4	74	5.7	8	20.0	2,928	50.3	103	45.4	66,400	76.9
1,166	0.4	70	10.3	6	60.0	6,168	2.9	359	6.2	57,800	94.0
1,091	2.1	50	2.0	6	40.0	4,416	45.4	109	22.9	149,600	5.9
1,109	3.5	73	17.7	9	125.0	5,055	35.0	128	8.2	123,900	157.6
1,091	4.0	65	58.5	15	275.0	5,736	5.1	152	6.4	487,300	1354.6
1,102	5.6	69	4.5	5	61.5	2,895	0.4	258	58.8	58,600	9.4
1,247	0.6	62	22.5	11	8.3	4,887	4.8	229	39.8	696,200	235.4
1,121	3.1	60	1.6	3	62.5	6,163	44.4	742	353.7	25,200	89.3
1,310	21.0	66	1.5	6	0.0	3,686	48.3	152	48.7	171,100	86.3
1,185	6.7	74	10.4	6	45.5	3,152	17.3	128	29.6	49,600	86.8
1,215	15.6	56	23.3	4	20.0	3,498	12.8	183	34.7	107,500	497.2
1,203	2.9	79	8.2	10	25.0	8,705	113.6	129	56.9	96,300	84.1

(株)東京商工リサーチ

(4) 調査票

**秘**

仙台市企業経営動向調査票 (平成19年 9月調査)

仙台市経済局

お手数ですが、最初に「ご記入者」「電話番号」欄をご記入ください。  
 なお、貴事業所の「名称」「所在地」に誤りがございましたら、恐縮ですが、訂正願います。

名称		所在地		
ご記入者	部課名	役職	ご芳名	Tel

それぞれの設問について以下の要領でお答えください。

貴社が本店・本社の場合は全事業所を通じての判断を、支店・支社の場合は貴事業所関係分  
のみの判断を記入してください。

	上昇	不変	下降
実績 平成19年7月～9月期(平成19年4月～6月期実績との比較)・・・			
見通し 平成19年10月～12月期(平成19年7月～9月期実績との比較)・・・			
見通し 平成20年1月～3月期(平成19年10月～12月期見通しとの比較)・・・			

該当する欄1つに を記入してください

**設問1** 仙台市内、貴業界、貴事業所の景気についてお伺いします。  
 実績及び先行きの見通しについて、( )内の時期と比較し、該当する欄に を記入してください。

--- 設問1-1 仙台市内の景気について

	上昇	不変	下降
実績 平成19年7月～9月期(平成19年4月～6月期実績との比較)・・・			
見通し 平成19年10月～12月期(平成19年7月～9月期実績との比較)・・・			
見通し 平成20年1月～3月期(平成19年10月～12月期見通しとの比較)・・・			

--- 設問1-2 貴社の属する業界の景気について

	上昇	不変	下降
実績 平成19年7月～9月期(平成19年4月～6月期実績との比較)・・・			
見通し 平成19年10月～12月期(平成19年7月～9月期実績との比較)・・・			
見通し 平成20年1月～3月期(平成19年10月～12月期見通しとの比較)・・・			

--- 設問1-3 貴事業所の景気について

	上昇	不変	下降
実績 平成19年7月～9月期(平成19年4月～6月期実績との比較)・・・			
見通し 平成19年10月～12月期(平成19年7月～9月期実績との比較)・・・			
見通し 平成20年1月～3月期(平成19年10月～12月期見通しとの比較)・・・			

**設問2** 貴社(事業所)の生産・売上高、経常利益についてお伺いします。  
 実績及び先行きの見通しについて、( )内の時期と比較し、該当する欄に を記入してください。

--- 設問2-1 生産・売上について

	増加	不変	減少
実績 平成19年7月～9月期(平成19年4月～6月期実績との比較)・・・			
見通し 平成19年10月～12月期(平成19年7月～9月期実績との比較)・・・			
見通し 平成20年1月～3月期(平成19年10月～12月期見通しとの比較)・・・			

--- 設問2-2 経常利益について

	増加	不変	減少
実績 平成19年7月～9月期(平成19年4月～6月期実績との比較)・・・			
見通し 平成19年10月～12月期(平成19年7月～9月期実績との比較)・・・			
見通し 平成20年1月～3月期(平成19年10月～12月期見通しとの比較)・・・			

**設問 3**

貴社の設備投資動向についてお伺いします（設備を持たない業種の場合は未記入で結構です）。実績及び先行きの見通しについて、該当する欄に を記入してください。

--- 設問 3 - 1 設備投資について

実績 平成19年7月～9月期(平成19年4月～6月期実績との比較)・・・  
 見通し 平成19年10月～12月期(平成19年7月～9月期実績との比較)・・・  
 見通し 平成20年1月～3月期(平成19年10月～12月期見通しとの比較)・・・

実施(計画)している	実施(計画)していない

**設問 4**

貴社における雇用人員、在庫状況、価格水準、資金繰り、労働時間についてお伺いします。実績及び先行きの見通しについて、( )内の時期と比較し、該当する欄に を記入してください。

--- 設問 4 - 1 雇用人員について

実績 平成19年7月～9月期(平成19年4月～6月期実績との比較)・・・  
 見通し 平成19年10月～12月期(平成19年7月～9月期実績との比較)・・・  
 見通し 平成20年1月～3月期(平成19年10月～12月期見通しとの比較)・・・

過 剰	適 正	不 足

--- 設問 4 - 2 製(商)品在庫について(在庫を持たない業種の場合は未記入で結構です)

実績 平成19年7月～9月期(平成19年4月～6月期実績との比較)・・・  
 見通し 平成19年10月～12月期(平成19年7月～9月期実績との比較)・・・  
 見通し 平成20年1月～3月期(平成19年10月～12月期見通しとの比較)・・・

過 剰	適 正	不 足

--- 設問 4 - 3 製(商)品価格について(製(商)品を持たない業種の場合は未記入で結構です)

実績 平成19年7月～9月期(平成19年4月～6月期実績との比較)・・・  
 見通し 平成19年10月～12月期(平成19年7月～9月期実績との比較)・・・  
 見通し 平成20年1月～3月期(平成19年10月～12月期見通しとの比較)・・・

上 昇	不 変	下 降

--- 設問 4 - 4 原材料(仕入)価格について(原材料等を持たない業種の場合は未記入で結構です)

実績 平成19年7月～9月期(平成19年4月～6月期実績との比較)・・・  
 見通し 平成19年10月～12月期(平成19年7月～9月期実績との比較)・・・  
 見通し 平成20年1月～3月期(平成19年10月～12月期見通しとの比較)・・・

上 昇	不 変	下 降

--- 設問 4 - 5 資金繰りについて

実績 平成19年7月～9月期(平成19年4月～6月期実績との比較)・・・  
 見通し 平成19年10月～12月期(平成19年7月～9月期実績との比較)・・・  
 見通し 平成20年1月～3月期(平成19年10月～12月期見通しとの比較)・・・

改 善	不 変	悪 化

--- 設問 4 - 6 労働時間について(パート等を含む)

実績 平成19年7月～9月期(平成19年4月～6月期実績との比較)・・・  
 見通し 平成19年10月～12月期(平成19年7月～9月期実績との比較)・・・  
 見通し 平成20年1月～3月期(平成19年10月～12月期見通しとの比較)・・・

増 加	不 変	減 少

**設問 5**

貴社において、当面の経営上の課題と考えているものを下の ~ の中から3つまで選び、番号を回答欄に記入してください。

- 合理化・省力化不足
- 設備・店舗等が老朽化または狭い
- 原材料・仕入製(商)品高
- 設備過剰
- 売上・受注の停滞・不振
- 資金繰り・金融難

- 求人・人材難
- 人件費高騰
- 在庫過大
- 販売価格の値下げ
- 競争の激化
- 生産・販売能力の不足

- 諸経費の増加
- 立地条件の悪化
- その他( )
- 特になし

--	--	--

発行

仙台市経済局産業政策部経済企画課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町3 - 7 - 1

電話 022-214-8275

FAX 022-267-6292

E-mail kei008010@city.sendai.jp

URL <http://www.city.sendai.jp/keizai/kikaku/>